

平成23年度
島根県在住外国人
実態調査 報告書

島根県



はじめに

平成 2 (1990) 年 12 月末現在の島根県内の外国人登録者数は 2,000 人で、そのうち、3 分の 2 が韓国・朝鮮籍の方であり、またそのほとんどが戦前から日本に住んでいた、あるいはその子孫の方々でした。

そして現在、平成 23 (2011) 年 12 月末現在の外国人登録者数は 5,425 人となり、ここ 20 年余の間に 2.5 倍以上に増加しました。そして国籍も、中国・ブラジル・フィリピンを始め 58 ヶ国を数え、国籍の多様化が進んできました。

このような県内の外国人住民の急増・多国籍化に伴い、地域で暮らす外国人の皆さまを対象に県では平成 12 (2000) 年度と平成 17 (2005) 年度に島根県在住外国人実態調査を実施しました。

そしてこれらの調査結果をもとに、日本語教室の開設・運営支援や外国人相談業務など、外国人住民の生活に対する不安を解消するため、様々な事業を展開してきました。

さらに近年、県内在住外国人の長期滞在化が進んでいることなどから、外国人を一時的な滞在者としてではなく、地域における生活者としてとらえ、外国人住民の生活全般にかかる支援を行うことで地域の構成員として社会参加を促す仕組みづくりを進めていくことが必要となっています。

また、東日本大震災では多くの外国人も被災者となったこともあり、災害時要援護者としての外国人に対する配慮の必要性も高まっています。

こうした状況を踏まえ、県内に在住する外国人住民のニーズや意見を把握し、生活支援や災害時の対策に役立てるため、今回 3 回目となる在住外国人実態調査を実施しました。

またこのたびの調査は、県内全市町村にご協力いただき、県と市町村の共同事業として実施しました。市町村を通じ県内で外国人登録をしておられる 20 歳以上の 2,000 人の方に調査票を送付し、399 人の方からご回答をいただきました。

県としましては、今回の調査で得られた貴重なご意見を今後の外国人支援施策に積極的に反映していくとともに、県内で暮らす外国人と地域住民がお互いに理解し、助け合いながら生活できる多文化共生の地域づくりの実現に向けさらに努力していきたいと考えております。

最後に、ご回答をお寄せいただいた皆さま、並びにご協力いただいた県内市町村及び関係者の皆さまに深く感謝しお礼申し上げます。

平成 24 (2012) 年 3 月

島根県環境生活部文化国際課長 荒本 弘美

目 次

1. 島根県在住の外国人	1
(1) 国籍別外国人登録者数	1
(2) 市町村別外国人登録者数	1
2. 調査の概要	2
3. 調査の結果	4
(1) 回答者の属性	4
① 国籍	4
② 性別	5
③ 年齢	6
④ 滞在期間	7
⑤ 滞在予定	8
(2) 言葉について	9
① 聞く	9
② 話す	10
③ 読む	11
(3) 日本語学習について	12
① 現在日本語を学んでいるかどうか	12
② 学習の目的	13
③ 学習方法	14
④ 教材	15
⑤ 学習していない理由（1）	16
⑥ 学習していない理由（2）	17
⑦ 日本語教室に望むこと	18
(4) 日常生活	19
① 困りごとの相談先	19
② 困っていること	21
③ 病気になって困ったこと	23
④ 健康保険について	24
(5) 子どもについて	25
① 子どもの有無	25
② 子どもの状況と人数	25
③ 子どもに関する悩み	26
(6) 日本人とのつきあい	28
① 日本人とのつきあいの程度	28
② 日本人との交流希望	29

(7) 差別や人権侵害	30
① 差別や人権侵害の経験	30
② 差別の内容	31
③ 差別・人権侵害への対応	32
(8) 行政からの情報やサービス	33
① 必要な情報	33
② 情報の入手方法の希望	35
③ 情報を得やすい場所	36
④ インターネットの利用	37
⑤ 希望する行政サービス	38
(9) 防災について	39
① 災害の経験	39
② 災害への備えをしているか	40
③ 災害への備えの内容	40
④ 備えをしていない理由	41
⑤ 多言語メールマガジン	42
4. 資料	
I 集計結果表 前回との比較	43
II 集計結果表 クロス集計	51
III 自由意見	58
IV 調査票	65

報告書の見方

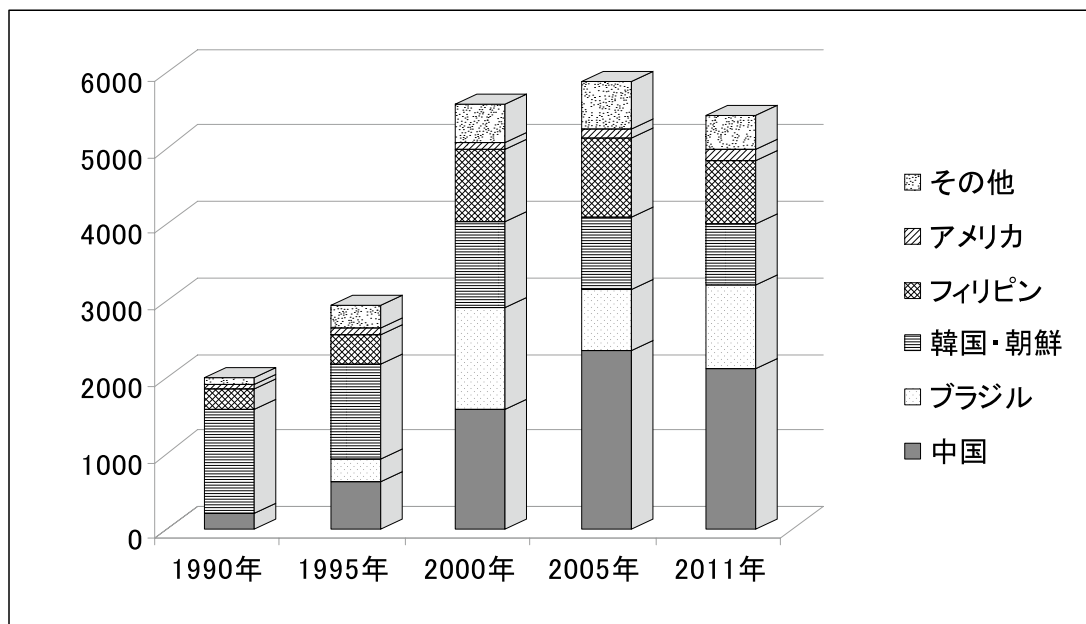
- ・集計図表は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合もある。
- ・回答比率は、その設問の回答数を母数として算出した。
- ・集計表の<国籍別>については、回答者数が多い「中国」「ブラジル」「フィリピン」「韓国・朝鮮」「アメリカ」までを国籍表示し、他の国は「その他」として表示した。
- ・図に記入されている比率のうち、低比率のものについては、スペースの関係上、表示しない場合もある。

1. 島根県在住の外国人

(1) 国籍別外国人登録者数

島根県の外国人登録者数は、1990年の2,000人から1995年には2,930人、2000年には5,563人、2005年には5,869人（いずれも12月末現在）と大幅な伸びを示した後、ほぼ横ばいの状態が続き、2011年には5,425人となっている。

国籍別に見ると、1990年には1,339人で最多数であった韓国・朝鮮は減少傾向が続き、1998年以降中国が最多となり、2011年には中国2,096人、ブラジル1,112人、フィリピン828人となっている。



(2) 市町村別外国人登録者数

2011年12月末現在、全ての市町村で外国人登録が行われている。登録者数が最も多いのは出雲市で、松江市が続く。登録者数100人以下の自治体は11町村ある。

市町村名	人数	市町村名	人数
松江市	1,210	川本町	20
浜田市	657	美郷町	19
出雲市	1,903	邑南町	72
益田市	302	津和野町	46
大田市	310	吉賀町	64
安来市	134	海士町	5
江津市	266	西ノ島町	8
雲南市	213	知夫村	2
奥出雲町	97	隠岐の島町	64
飯南町	33	合計	5,425

2. 調査の概要

(1) 調査の目的

増加する県内の外国人住民のニーズや意見を把握し、県や市町村の外国人住民支援施策に反映させるため本調査を実施した。

(2) 調査の実施主体

島根県・県内市町村の共同事業として実施

事業実施にあたっては（財）しまね国際センターへ委託

(3) 調査の対象者

県内で外国人登録（2010年12月末現在）をしている20才以上の外国人住民のうち2,000人

（各市町村の外国人登録者数により按分して抽出数を設定後、無作為抽出
市町村・言語ごとの抽出数は下表のとおり）

市町村名	登録者数	按分数	抽出数	国籍（言語）別			
				英語	中国語	韓国語	ポルトガル語
松江市	1,222	429	425	175	160	83	7
浜田市	679	238	240	63	128	36	13
出雲市	2,029	713	710	88	206	58	358
益田市	290	102	100	31	35	32	2
大田市	335	118	120	24	34	14	48
安来市	144	51	50	16	22	11	1
江津市	282	99	100	16	68	16	0
雲南市	268	94	90	20	60	10	0
奥出雲町	111	39	40	16	23	1	0
飯南町	28	10	10	4	5	1	0
川本町	21	7	7	1	5	1	0
美郷町	21	7	7	2	1	4	0
邑南町	78	27	30	5	22	3	0
津和野町	51	18	20	9	9	2	0
吉賀町	56	20	20	5	13	2	0
海士町	6	2	2	2	0	0	0
西ノ島町	8	3	3	2	0	1	0
知夫村	2	1	1	1	0	0	0
隠岐の島町	64	22	25	20	1	4	0
合計	5,695	2,000	2,000	500	792	279	429

(4) 調査項目

- ① 回答者の属性（国籍、性別、年齢、滞在期間・予定）
- ② 言葉について（日本語能力、日本語学習）
- ③ 日常生活について（相談先、困っていること、医療、健康保険、子供について、日本人とのつきあい・交流）
- ④ 差別や人権侵害（差別等を受けた経験、内容、対応）
- ⑤ 行政からの情報やサービス（必要な情報、入手方法、得やすい場所、行政サービスの希望）
- ⑥ 防災について（災害の経験、備え、メールマガジン）

(5) 調査方法

郵便による送付・回収

（調査票は英語版、中国語版、韓国語版、ポルトガル語版のうちいずれかとふりがな付き日本語版の2通を送付した。いずれかに無記名で記入し、（財）しまね国際センターへ返送してもらった。）

調査票の郵送にあたっては、県内全市町村の協力をいただいた。また、調査項目についても市町村の意見を聞いて決定した。

(6) 調査実施期間

平成 23(2011)年 9 月～10 月に郵送

平成 23(2011)年 12 月 5 日までに到着したものをもって集計

(7) 回収結果

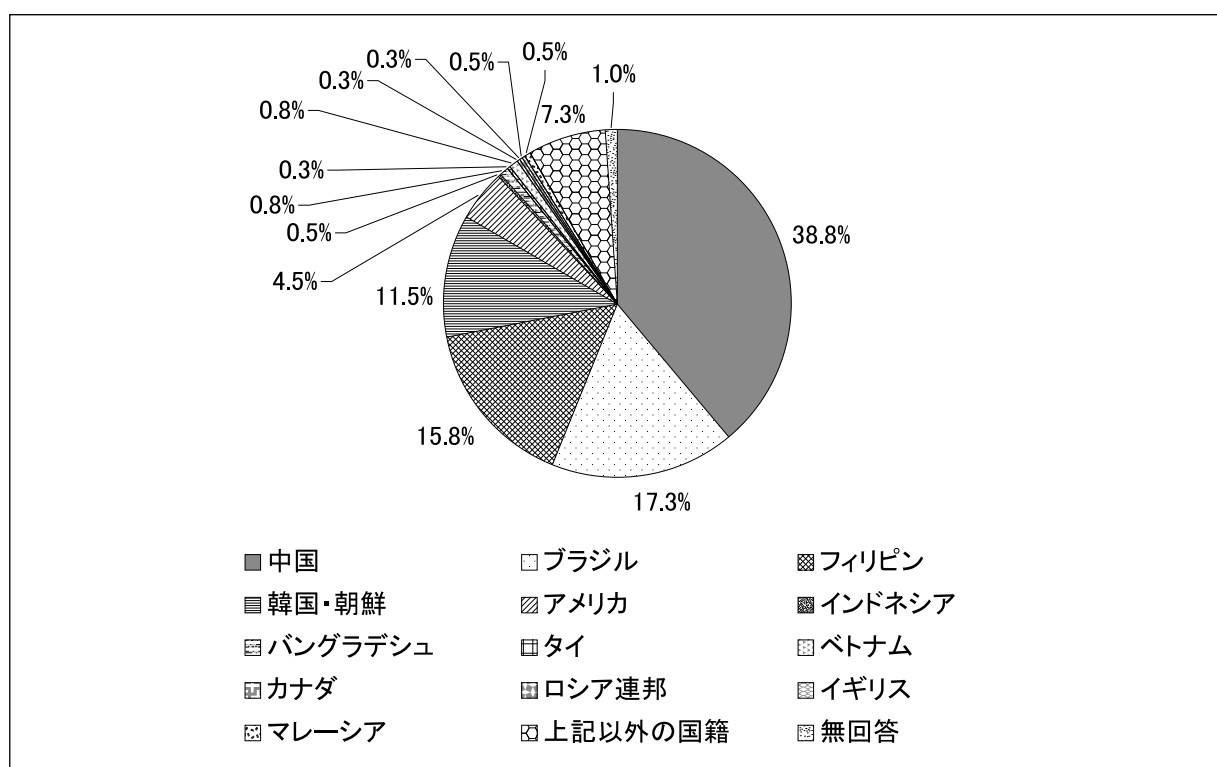
有効回答数 399 件

3. 調査の結果

(1) 回答者の属性

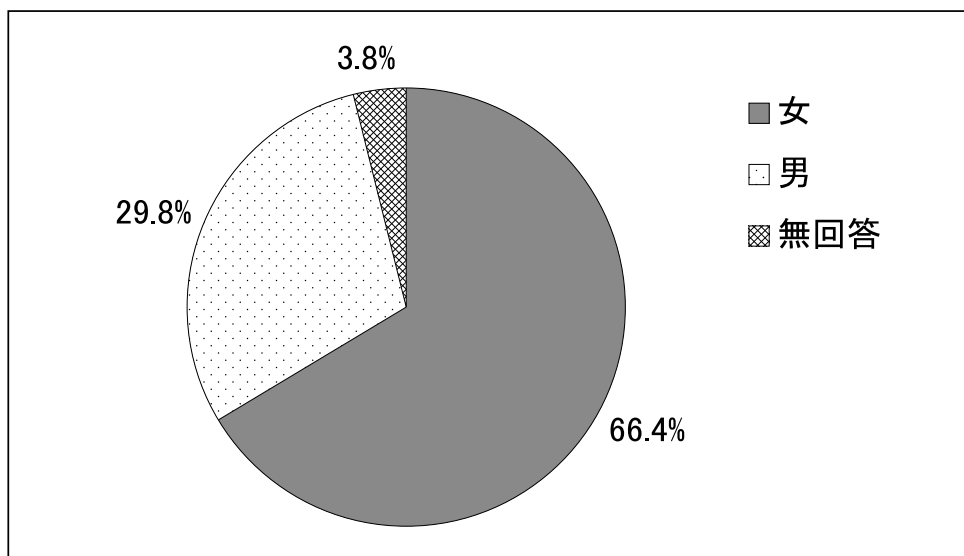
①国籍

回答者の国籍は中国が最も多く 38.8%、次いでブラジル、フィリピン、韓国・朝鮮、アメリカの順となっている。

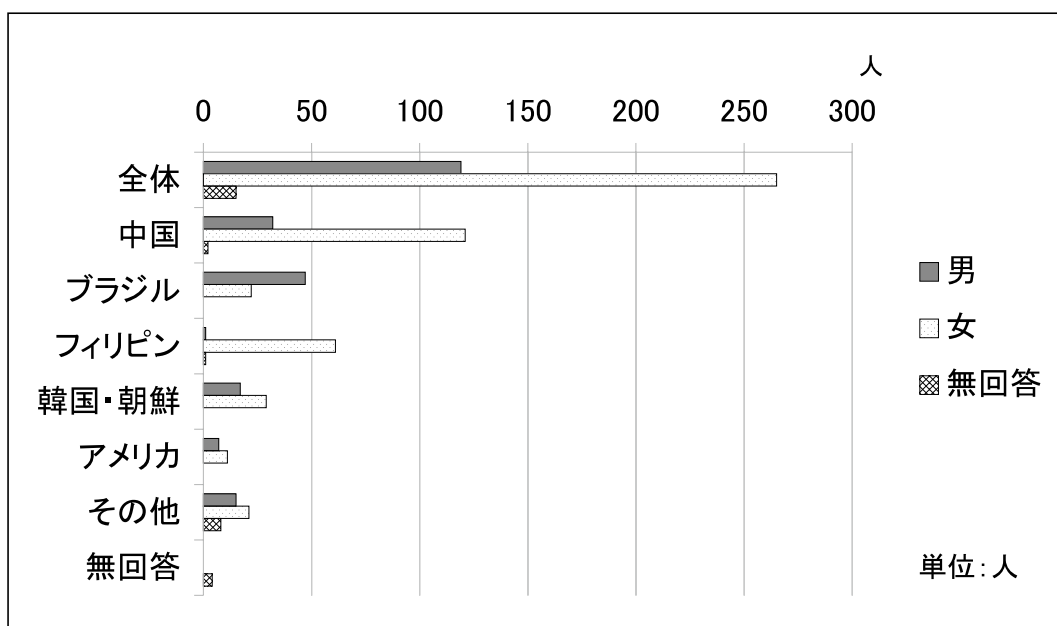


②性別

性別は女性 66.4%、男性 29.8%で女性の割合が高い。国籍別に見ると、中国とフィリピンでは女性の割合が高いが、ブラジルでは男性の割合が高い。

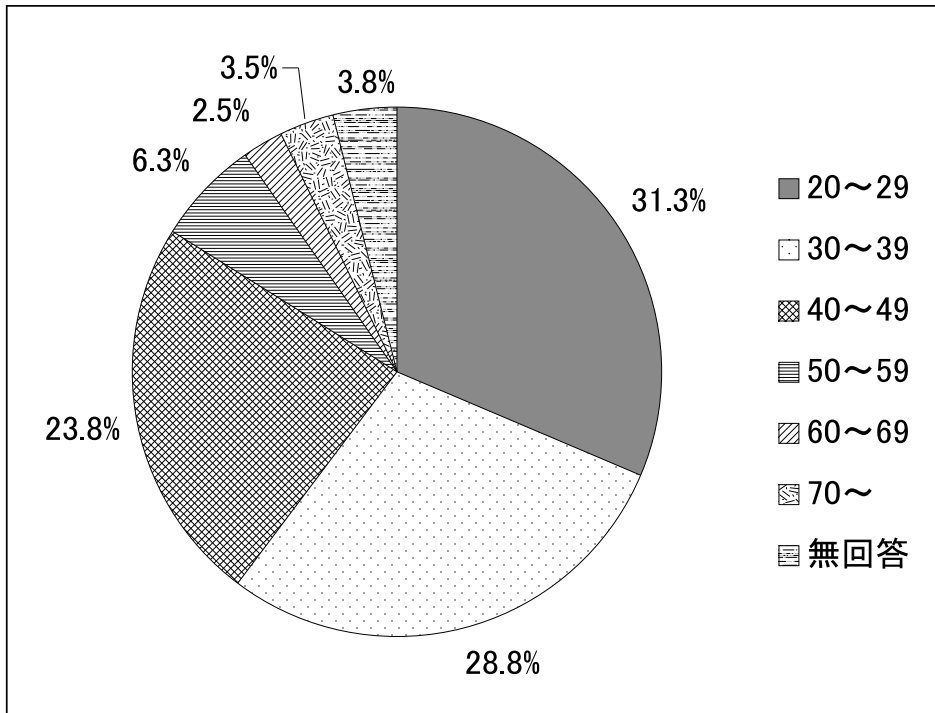


<国籍別>

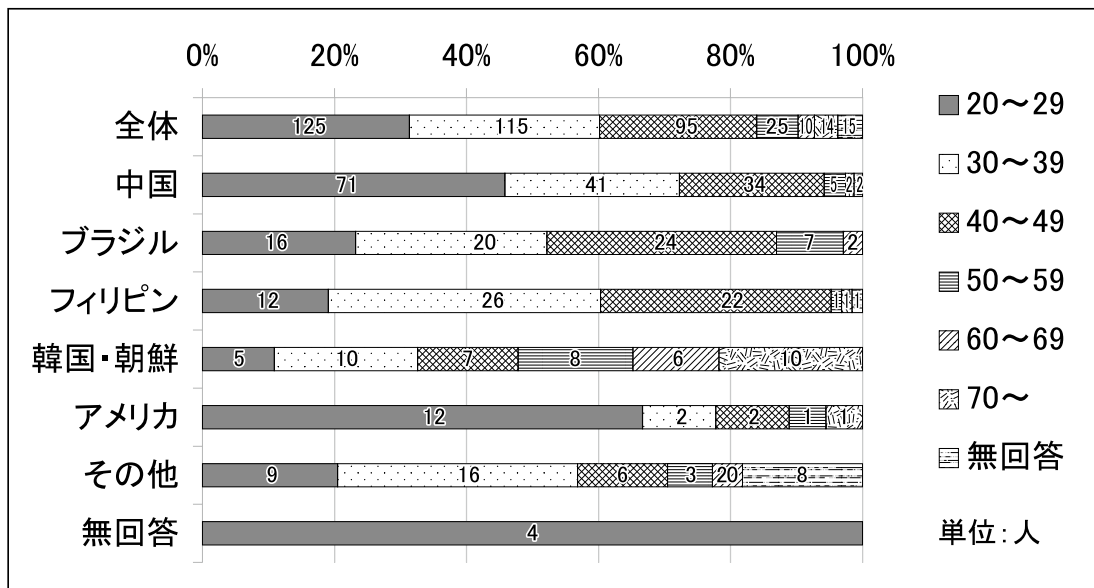


③年齢

年齢は、20歳代が31.3%、30歳代が28.8%、40歳代が23.8%で、20歳代から40歳代までが83.9%を占める。国籍別に見ると、中国とアメリカは20歳代が最も多く、ブラジルは40歳代、フィリピンは30歳代が最も多い。韓国・朝鮮は各年代にわたるが70歳代の割合が高い。

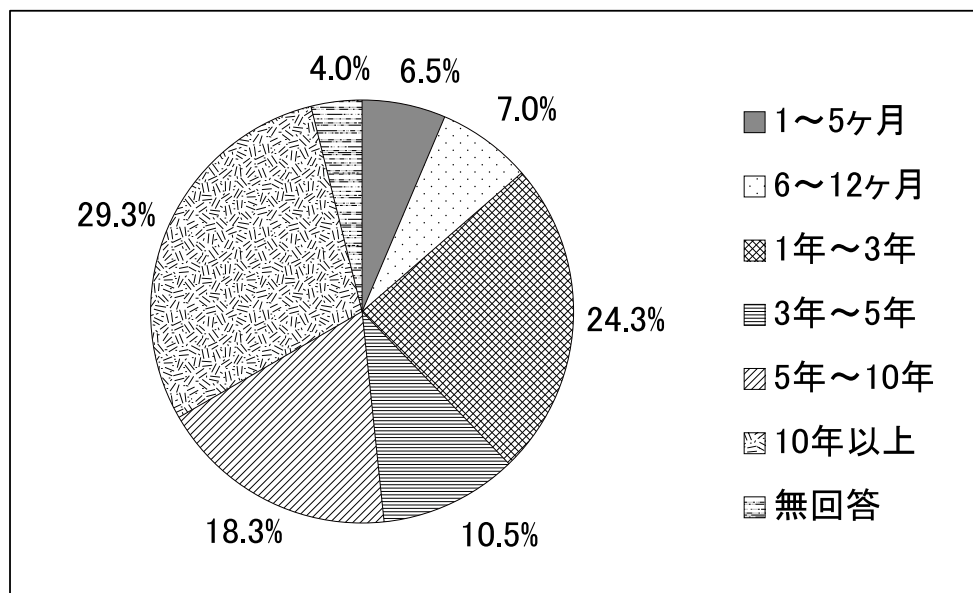


〈国籍別〉

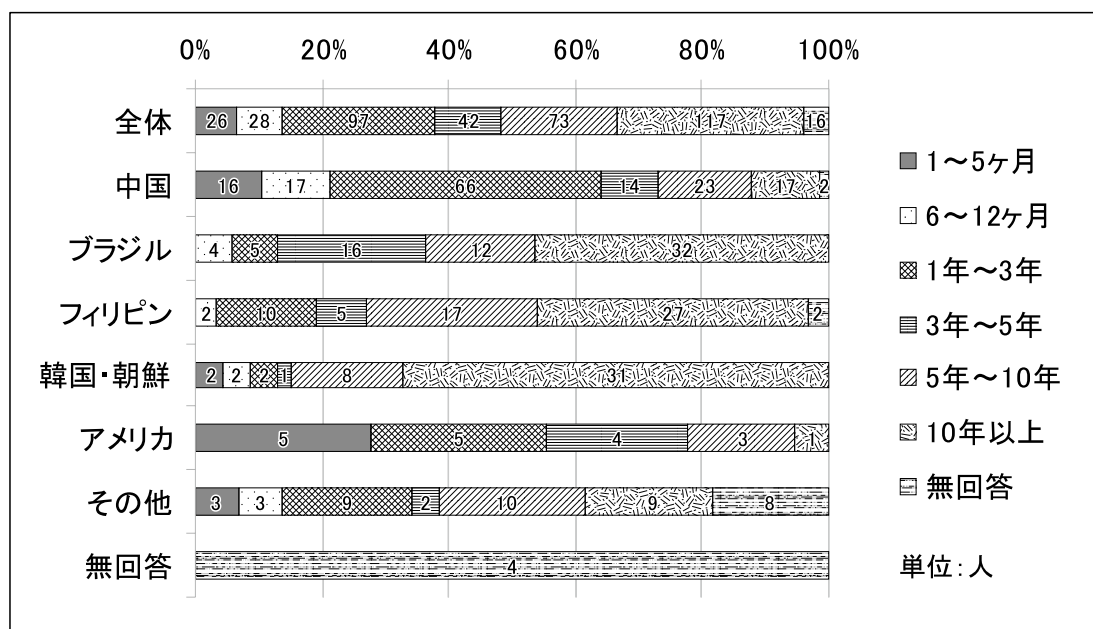


④滞在期間

これまでの滞在期間は、「10年以上」が29.3%で最も多く、次いで「1年～3年」が24.3%であった。国籍別に見ると中国は「1年～3年」が最も多いが、ブラジル、フィリピンと韓国・朝鮮では「10年以上」が最も多い。

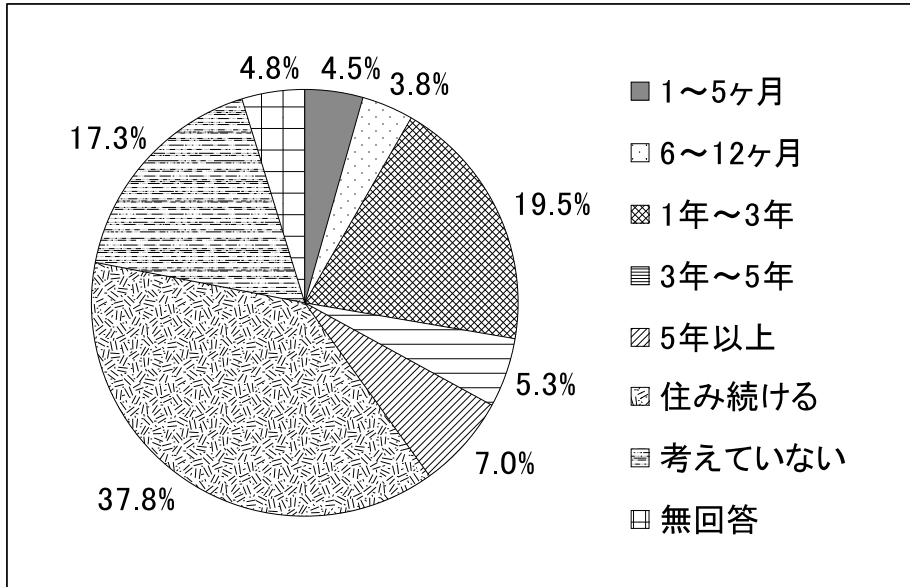


<国籍別>

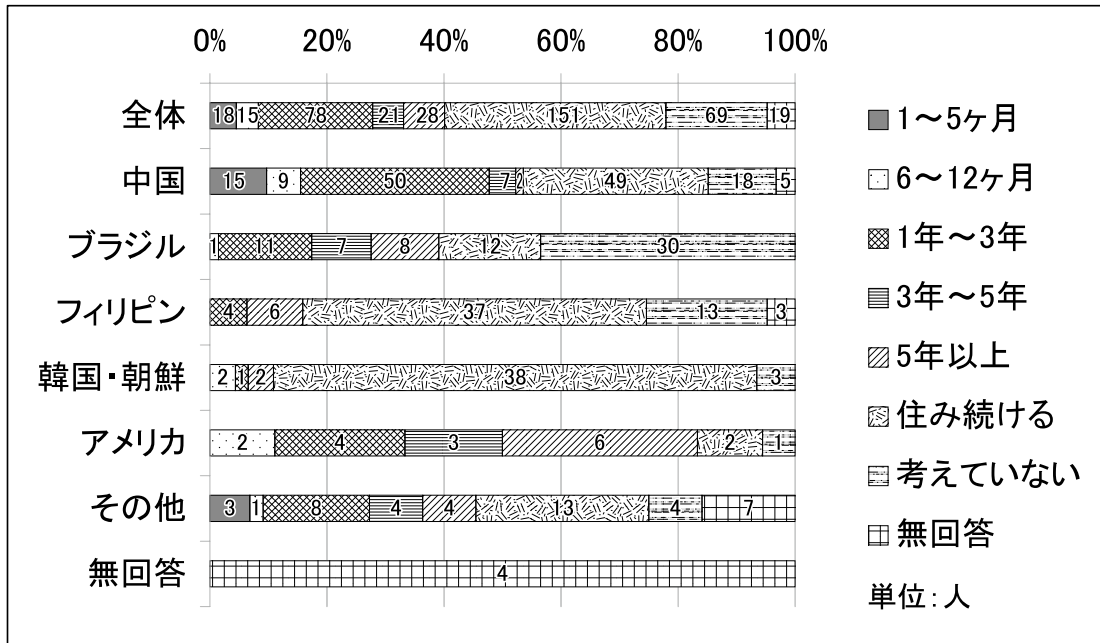


⑤滞在予定

今後の滞在予定は、「住み続ける」が37.8%で最も多く、次いで「1年～3年未満」が19.5%であった。国籍別に見ると、フィリピンと韓国・朝鮮はおよそ8割が「住み続ける」と回答している。ブラジルでは「考えていない」が4割強に上る。



<国籍別>



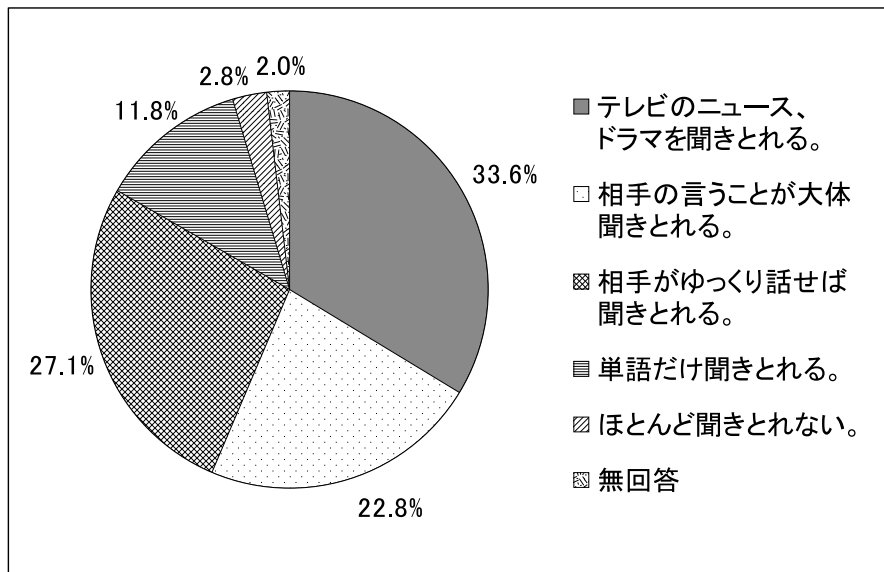
(2) 言葉について

問6 あなたは日本語がどのくらいできますか。(単一回答)

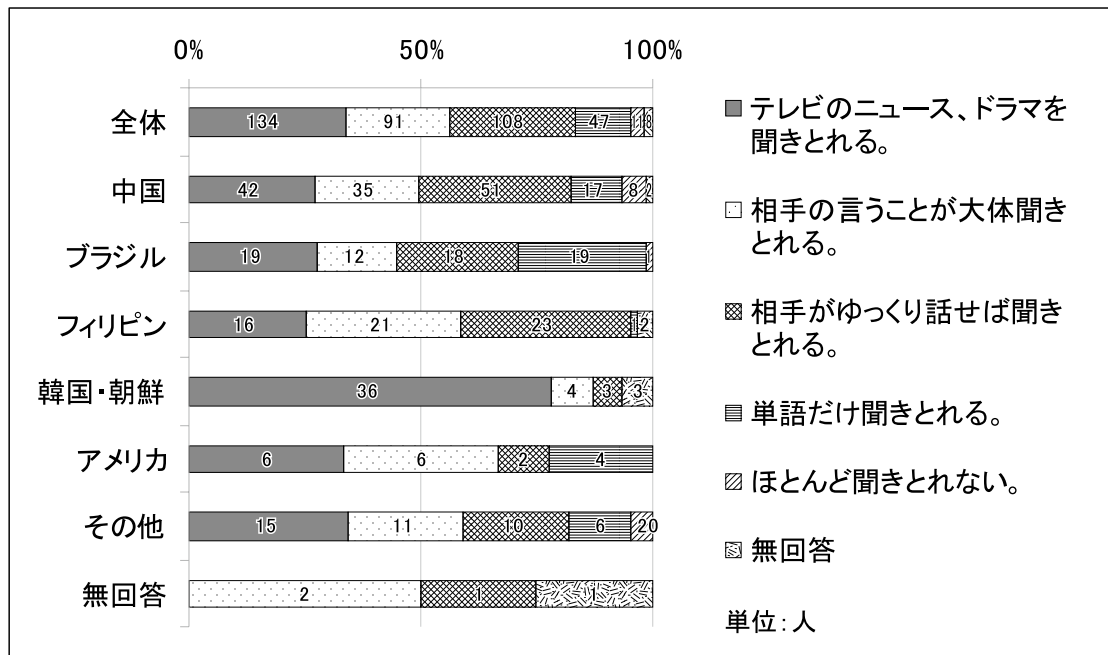
① 聞く

「テレビのニュース、ドラマを聞きとれる」が33.6%と最も多く、「相手がゆっくり話せば聞きとれる」が27.1%、「相手の言うことが大体聞きとれる」が22.8%で続いている。

国籍別に見ると「単語だけ聞きとれる」と「ほとんど聞きとれない」をあわせた回答者が、ブラジルでは約3割、中国では2割弱となっている。



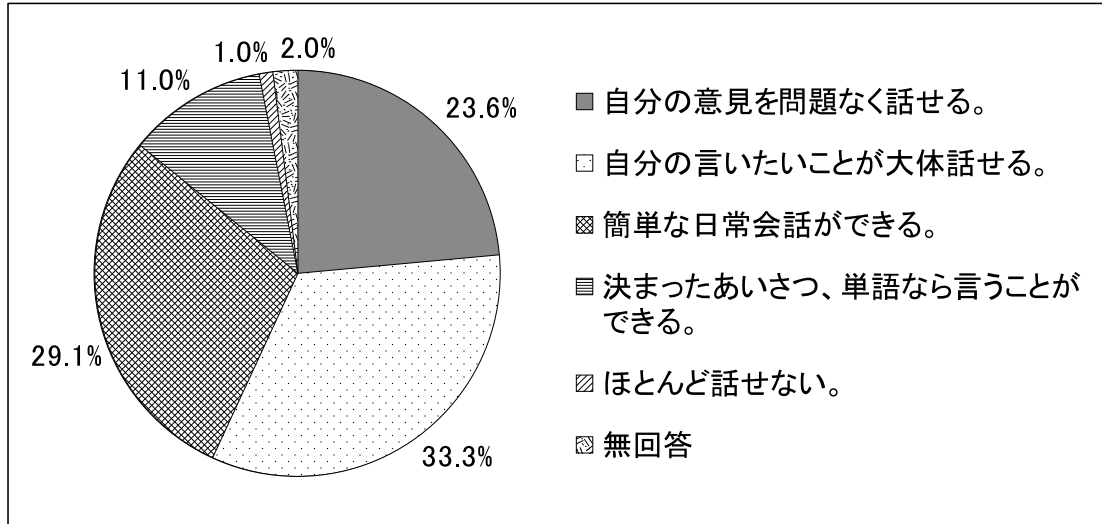
<国籍別>



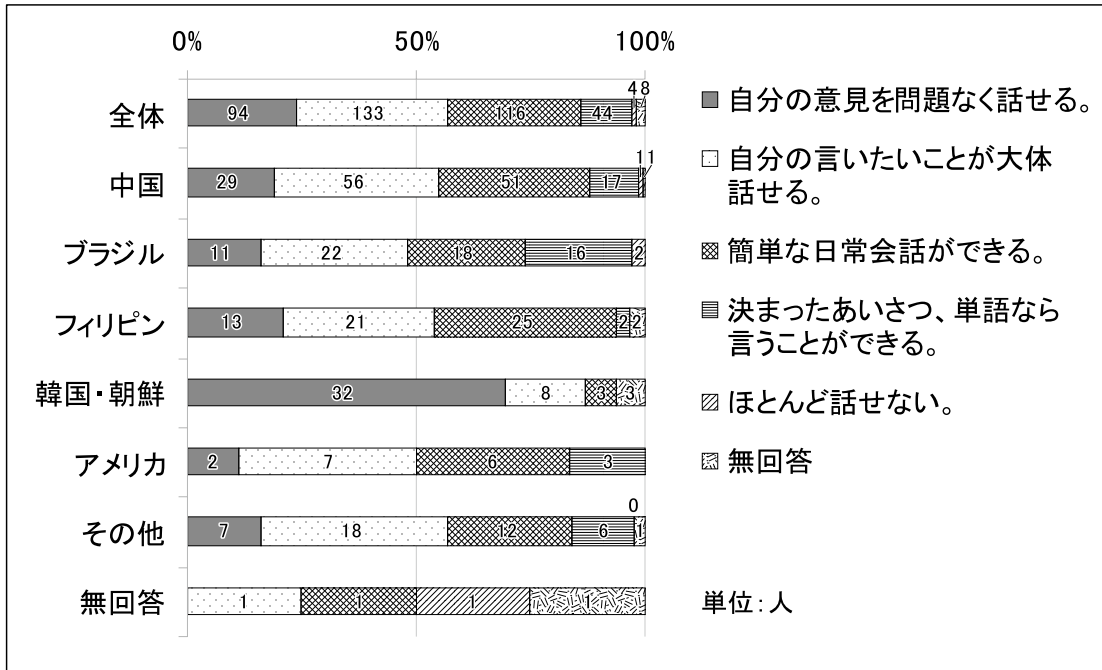
②話す

「自分の意見を問題なく話せる」と「自分の言いたいことが大体話せる」を合わせると半数以上に達する一方、「決まったあいさつ、単語なら言うことができる」「ほとんど話せない」という回答も12%にのぼる。

国籍別に見ると、ブラジルでは「決まったあいさつ、単語なら言うことができる」と「ほとんど話せない」を合わせた回答者数は3割近くになっている。



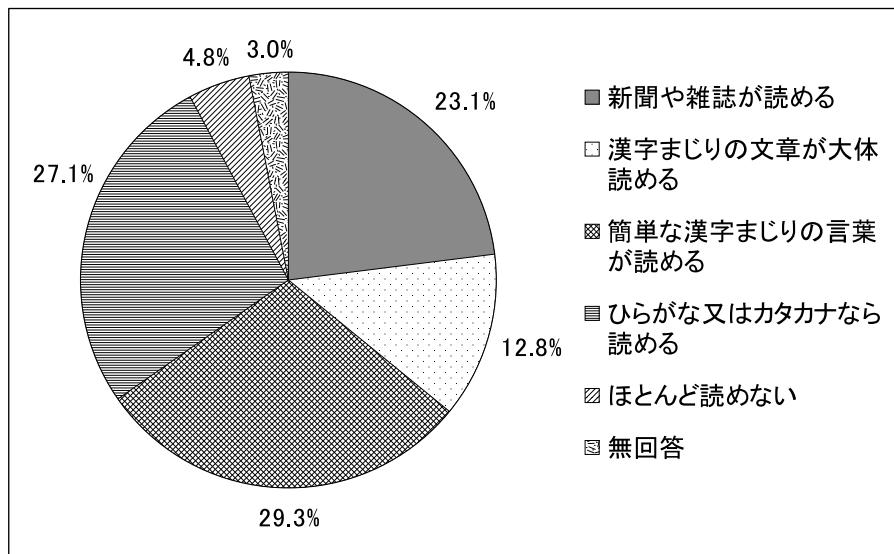
<国籍別>



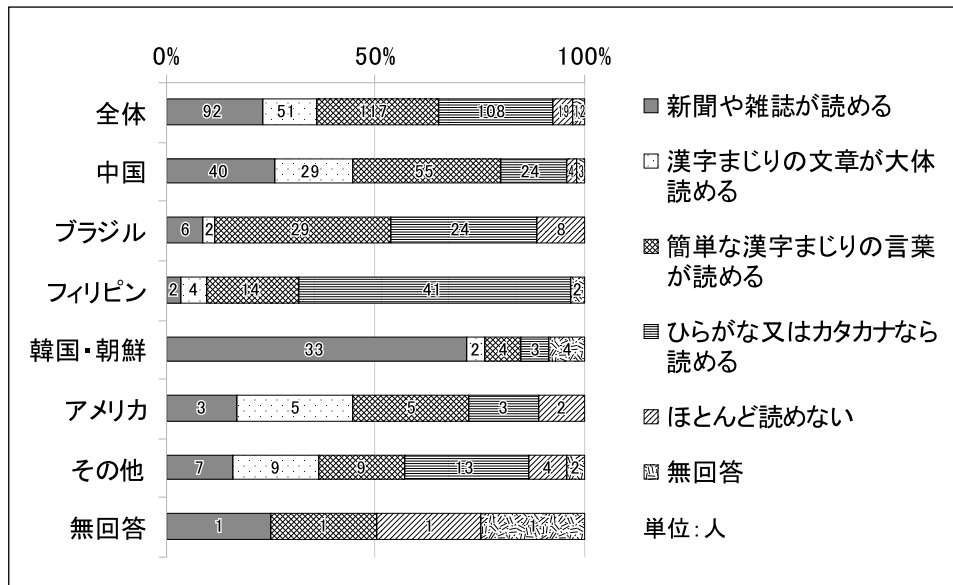
③読む

「簡単な漢字まじりの言葉が読める」が最も多く 29.3%、そして「ひらがな又はカタカナなら読める」が 27.1%、「新聞や雑誌が読める」が 23.1%で続く。

国籍別に見ると、フィリピンでは「ひらがな又はカタカナなら読める」が 60%と大多数を占める。ブラジルでは「ひらがな又はカタカナなら読める」と「ほとんど読めない」を合わせると半数近い割合となった。



<国籍別>

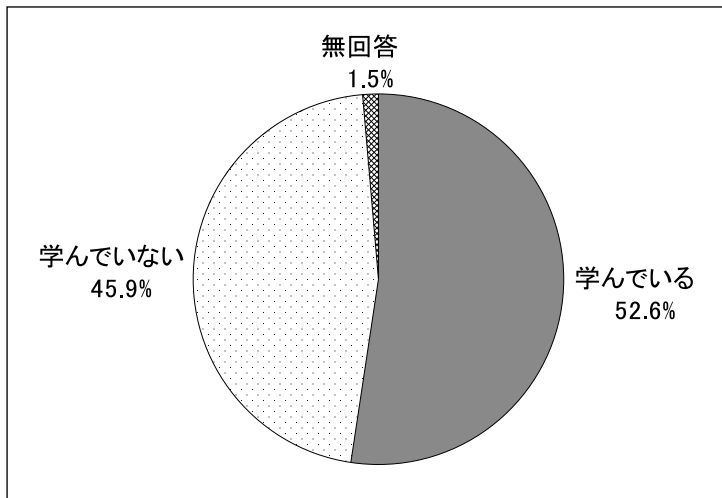


(3) 日本語学習について

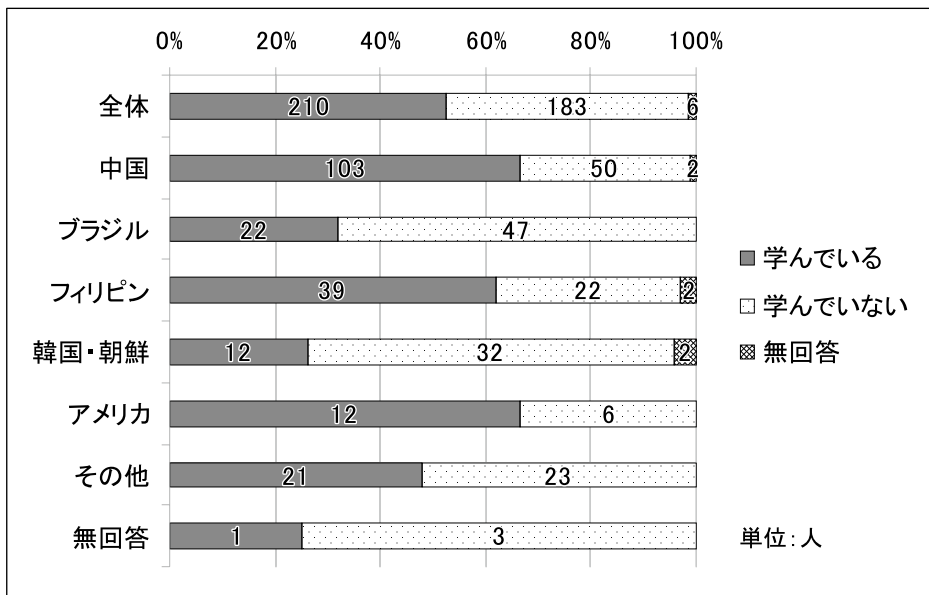
問7 あなたは今日本語を学んでいますか。(単一回答)

① 現在日本語を学んでいるかどうか

「学んでいる」が 52.6%、「学んでいない」が 45.9%であった。国籍別に見ると、中国、フィリピン、アメリカでは「学んでいる」が 60%程度と高いが、ブラジル、韓国・朝鮮では 20~30%と二極化傾向が見られる。



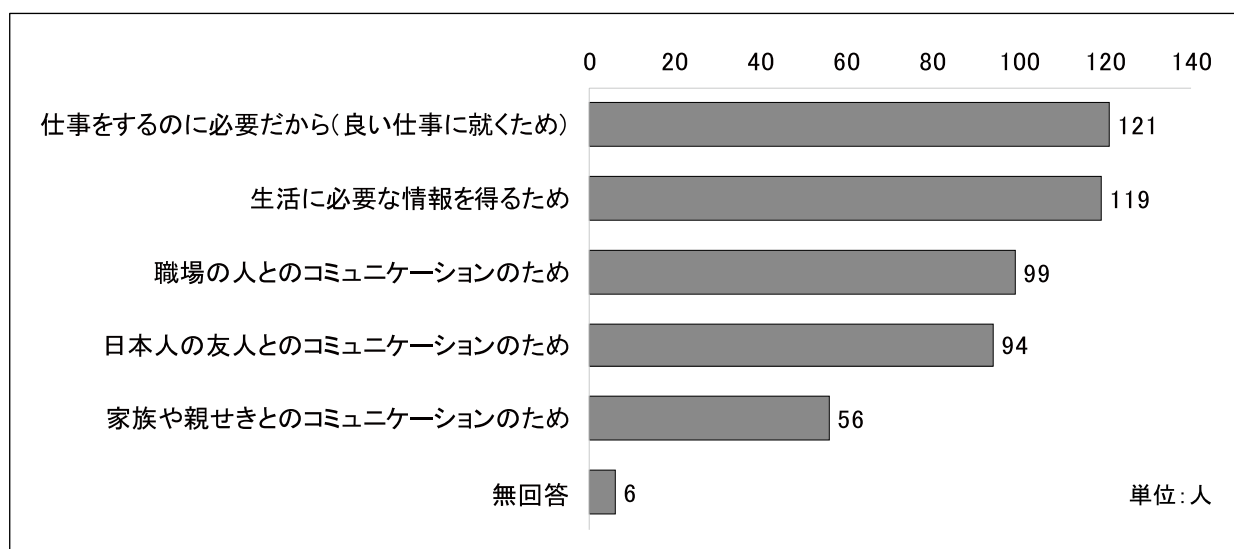
<国籍別>



②学習の目的

問8-A あなたは何のために日本語を学んでいますか。(複数回答)

「仕事をするのに必要だから(良い仕事に就くため)」と「生活に必要な情報を得るため」が最も多く、「職場の人とのコミュニケーションのため」、「日本人の友人とのコミュニケーションのため」が続いた。

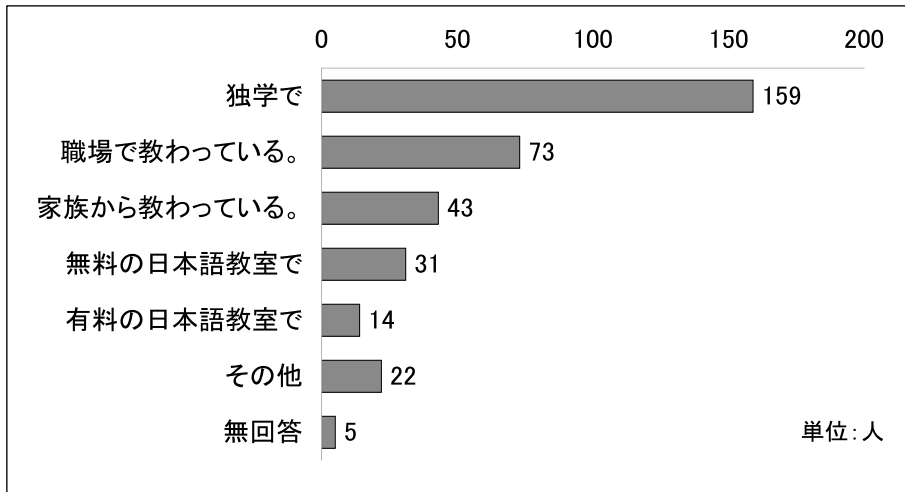


③学習方法

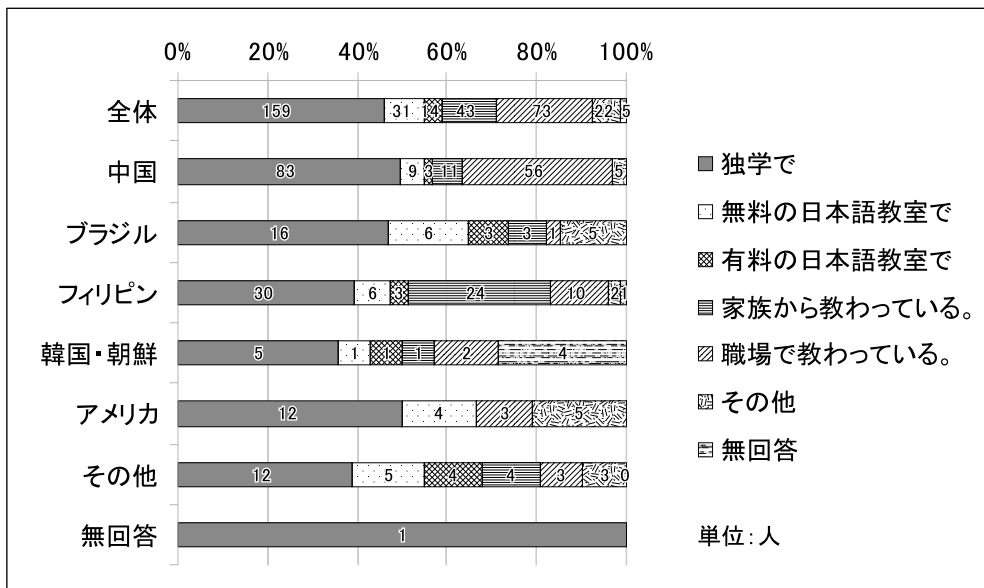
問 8-B どのような方法で学んでいますか。(複数回答)

「独学」が最も多く159人、「職場」が73人、「家族から」が43人と続く。「無料の日本語教室」と「有料の日本語教室」を合わせると45人にのぼる。

国籍別に見ると、圧倒的に多い「独学」の他には中国では「職場」が3割程度、フィリピンでは「家族から」が3割程度となっている。



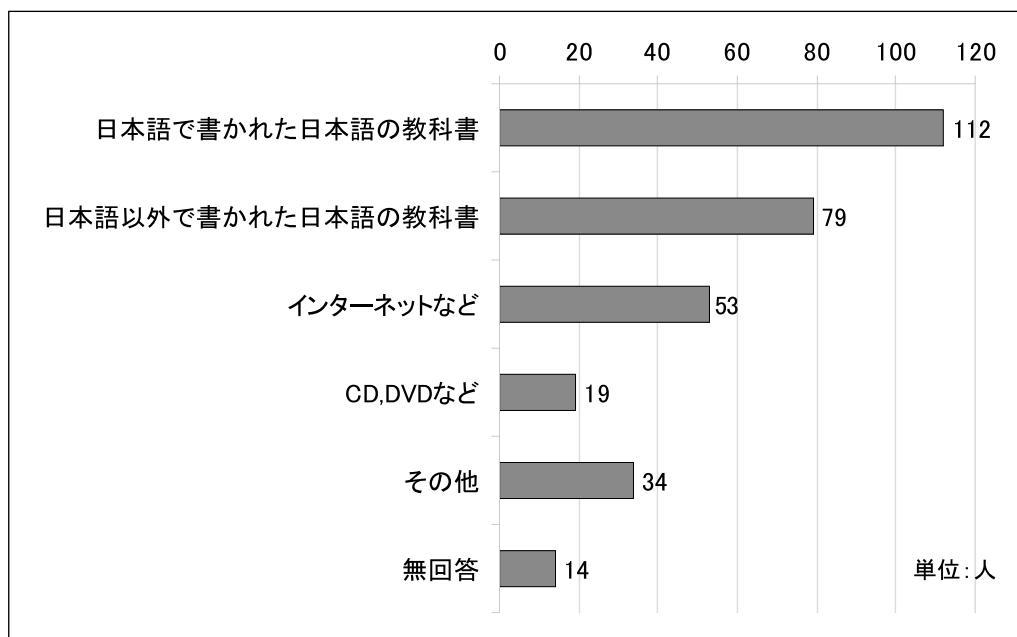
<国籍別>



④教材

問 8-C どのような教材を使っていますか。(複数回答)

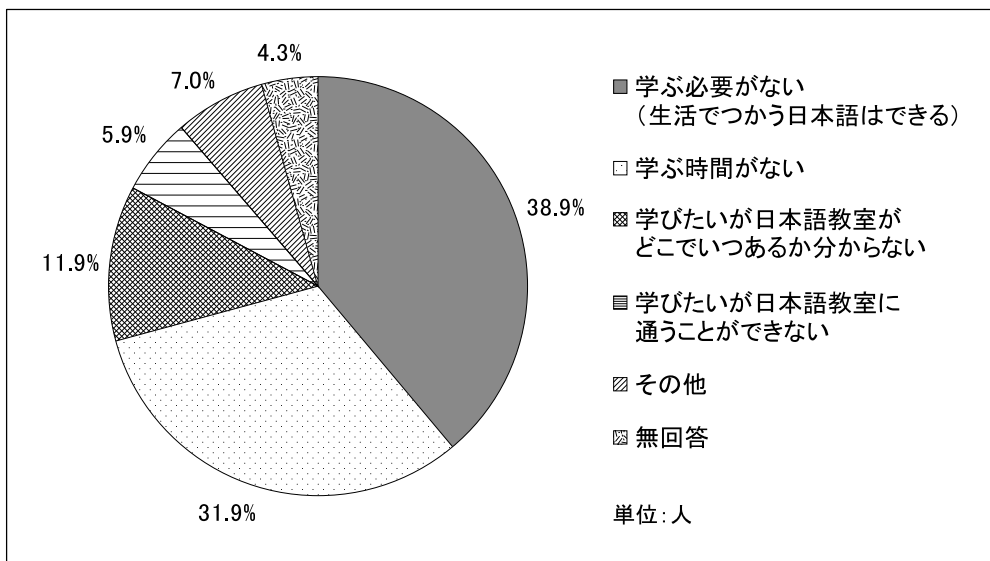
日本語を学習する際に使用する教材は、「日本語で書かれた日本語の教科書」が 112 人、「日本語以外で書かれた教科書」が 79 人であった。



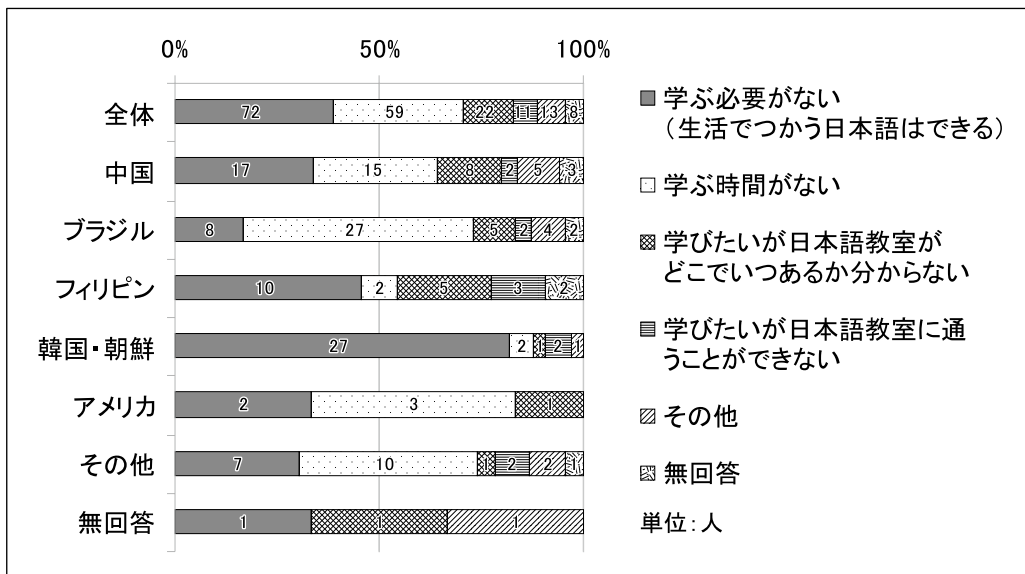
⑤学習していない理由（1:学んでいない方全員）

問9 今日日本語を学んでいないのはなぜですか。（単一回答）

「学ぶ必要がない」が4割弱に対し、「学ぶ時間がない」が31.9%、学びたいが日本語教室の「情報が分からない」と「通うことができない」を合わせると18%以上にのぼる。国籍別に見ると、「学ぶ必要がない」は韓国・朝鮮で8割以上、次いでフィリピンで半数弱、中国で35%程度である。他方、ブラジルでは「学ぶ時間がない」が半数以上を占める。



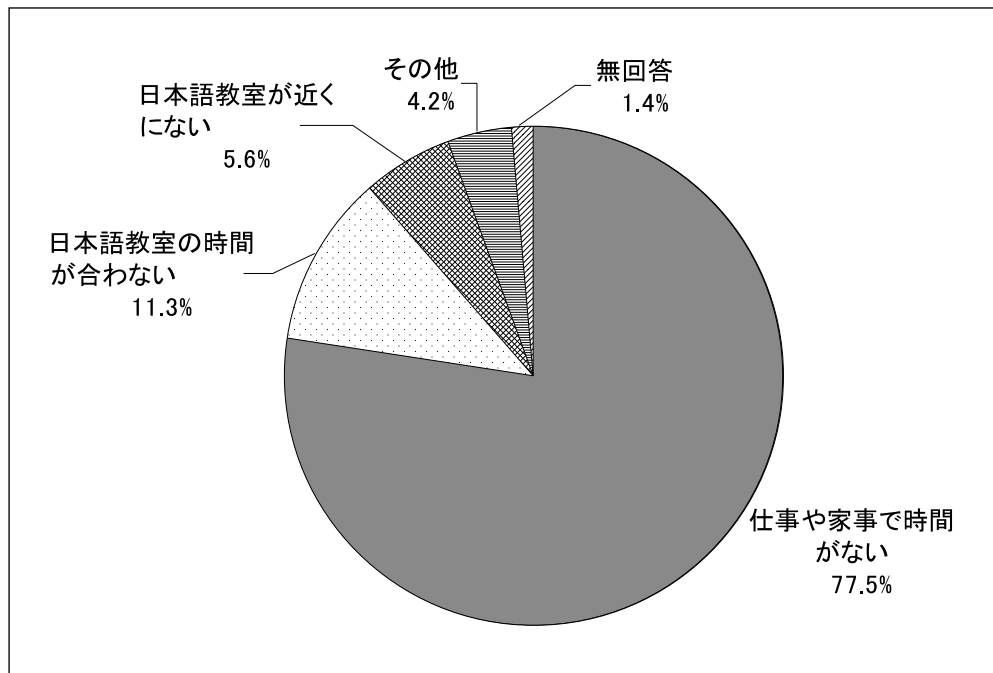
<国籍別>



⑥学習していない理由 (2:学んでいない方の内、日本語を学ぶ需要のある方)

問10 日本語を学ぶ時間がない、または日本語教室に通うことができないのはなぜですか。(単一回答)

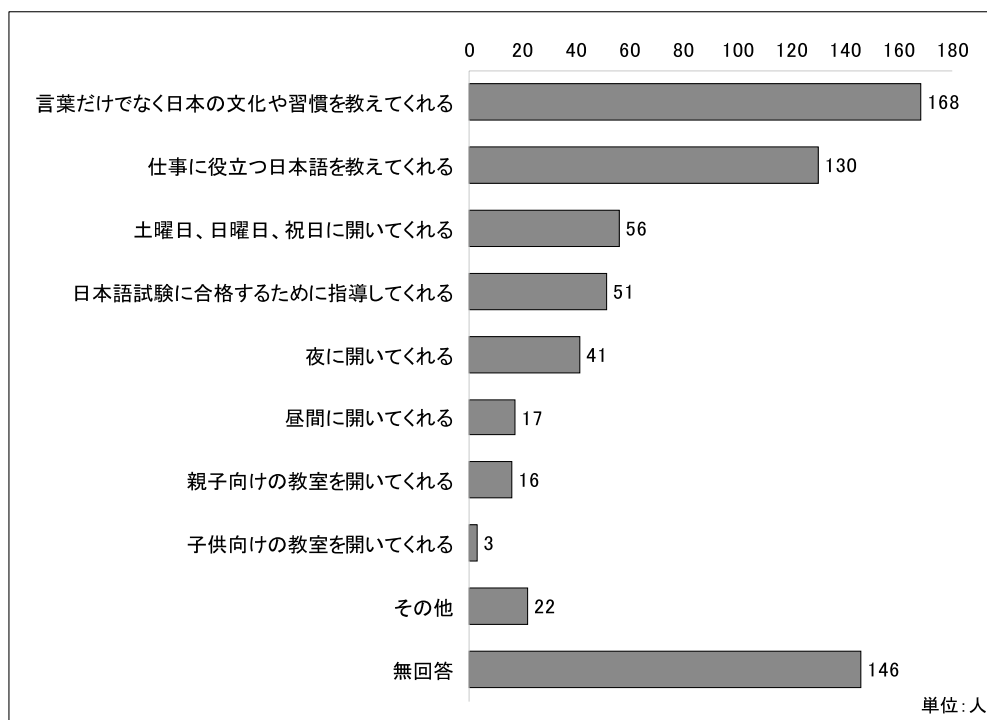
「仕事や家事で時間がない」が77.5%で最も多く、次いで日本語教室の「時間が合わない」が11.3%、「近くにない」が5.6%だった。



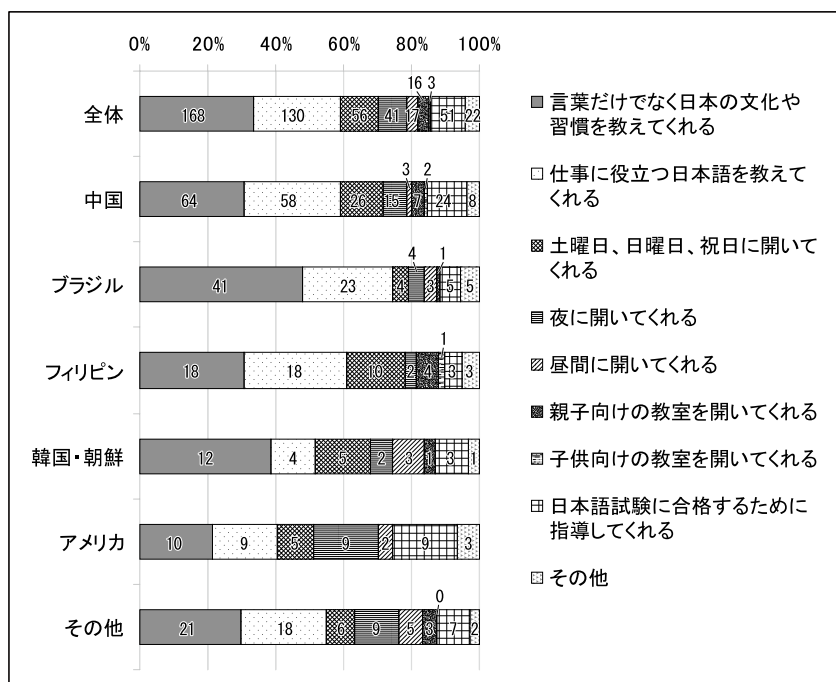
⑦日本語教室に望むこと

問 1 1 あなたが今後日本語教室に望むことは何ですか。(複数回答)

「言葉だけでなく日本の文化や習慣を教えてくれる」が最も多く 168 人、次いで「仕事に役立つ日本語を教えてくれる」が 130 人であった。国籍別に見ると、「言葉だけでなく日本の文化や習慣を教えてくれる」はブラジルで最も割合が高く、4 割近かった。



<国籍別>



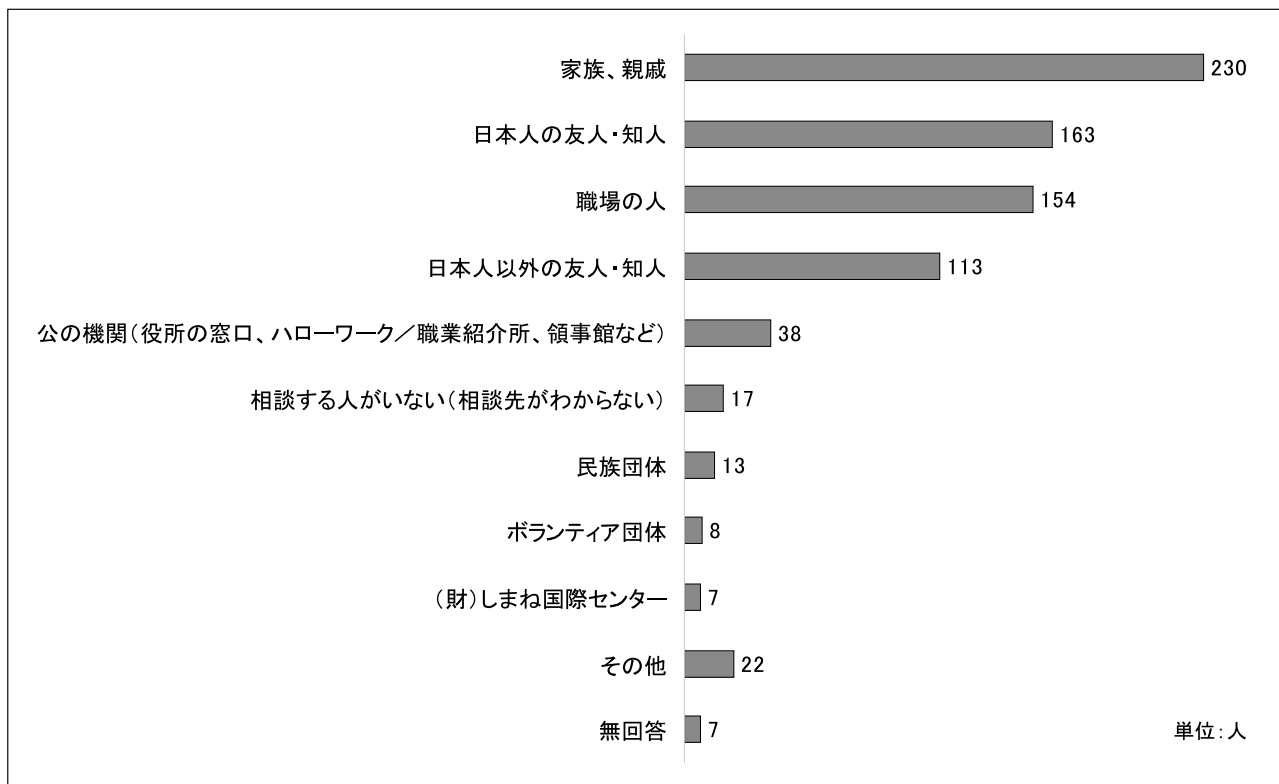
(4) 日常生活

①困りごとの相談先

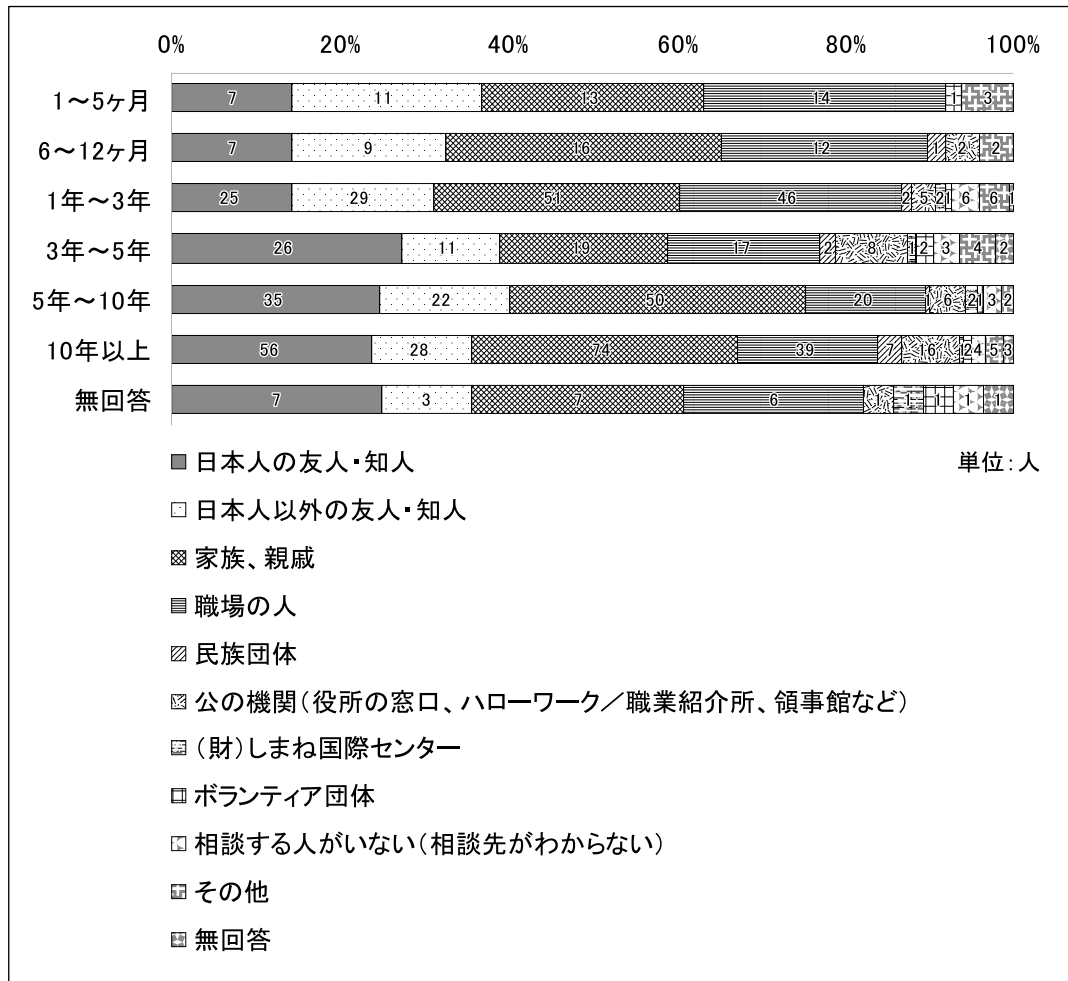
問 1 2 あなたは日常生活や仕事で困ったときは誰に相談しますか。(複数回答)

困ったときの相談先は、「家族、親戚」が最も多く 230 人、「日本人の友人・知人」が 163 人、「職場の人」が 154 人と続く。

滞在期間別に見ると、期間が短いほど職場の人に相談する割合が高く、期間が長くなるにつれて日本人の友人・知人に相談する割合が増える。総じて滞在期間の長短に関わらず、身近な人に相談する傾向にあり、公の機関や各種団体に相談する人は少ない。



<滞在期間別>

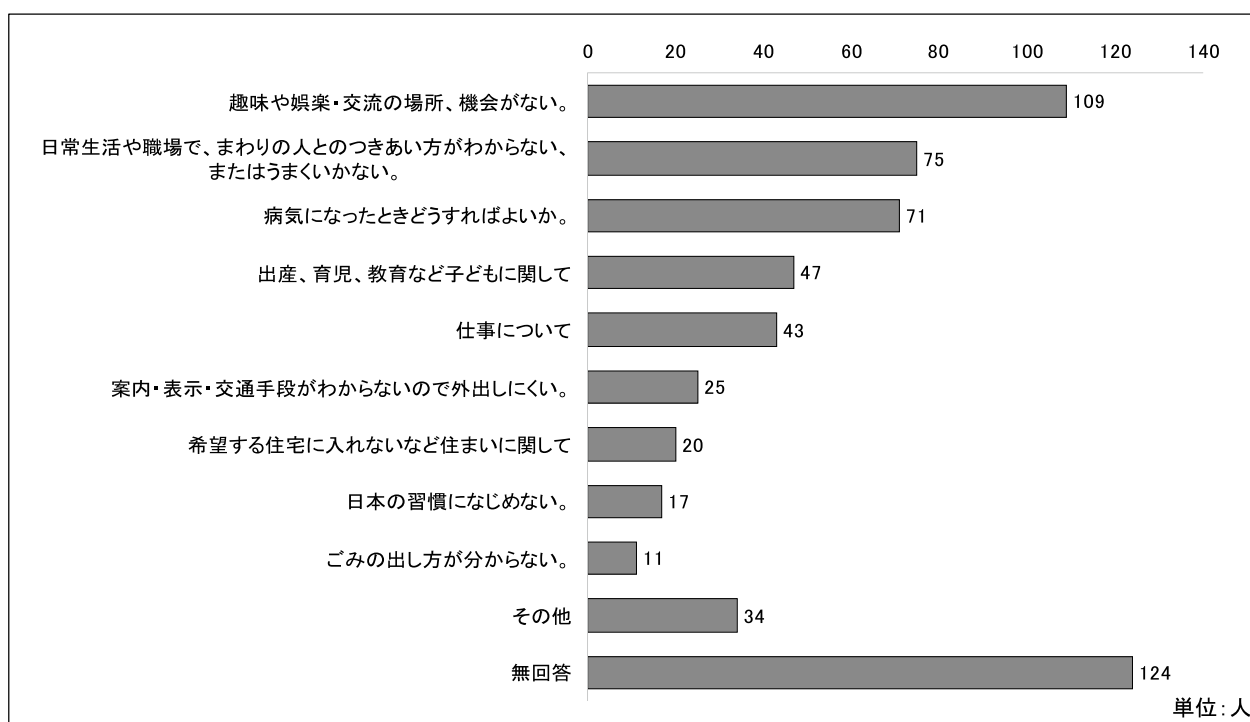


②困っていること

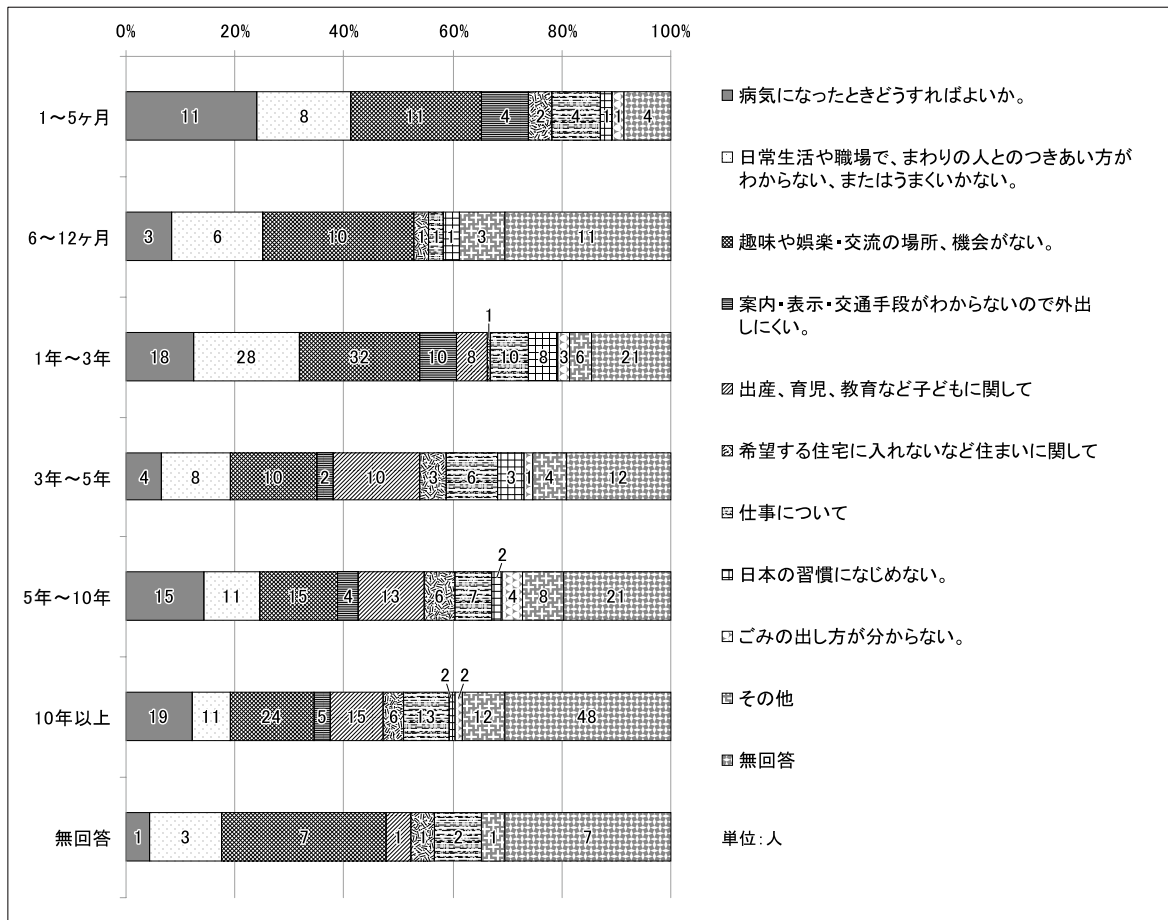
問13 現在の生活や仕事で特に困っていること、相談したいことは何ですか。
(3つまでの複数回答)

「趣味や娯楽・交流の場所、機会がない」が最も多く109人、「日常生活や職場で、まわりの人とのつきあい方がわからない、またはうまくいかない」(75人)、「病気になったときどうすればよいか」(71人)が続いた。

滞在期間別に見ると、「趣味や娯楽・交流の場所・機会がない」は滞在期間が長くなるにつれて減少する傾向がみられる。それに対し、「病気への対応」や「仕事について」は割合こそ低いが高滞在期間を通じて困りごととなっていることが分かる。



<滞在期間別>

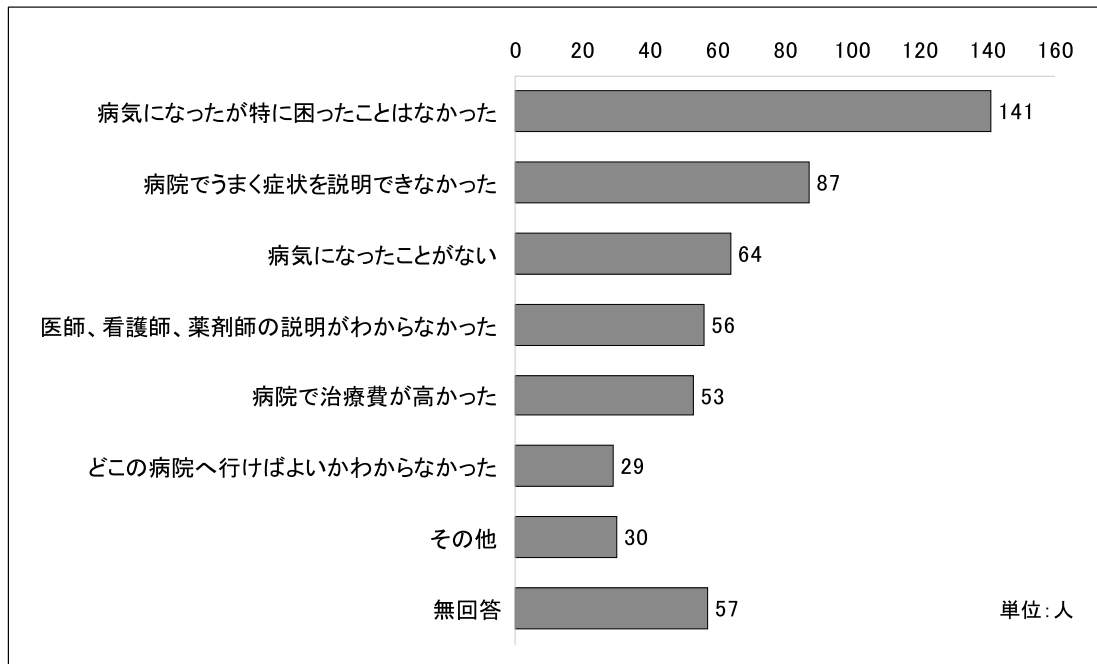


③病気になって困ったこと

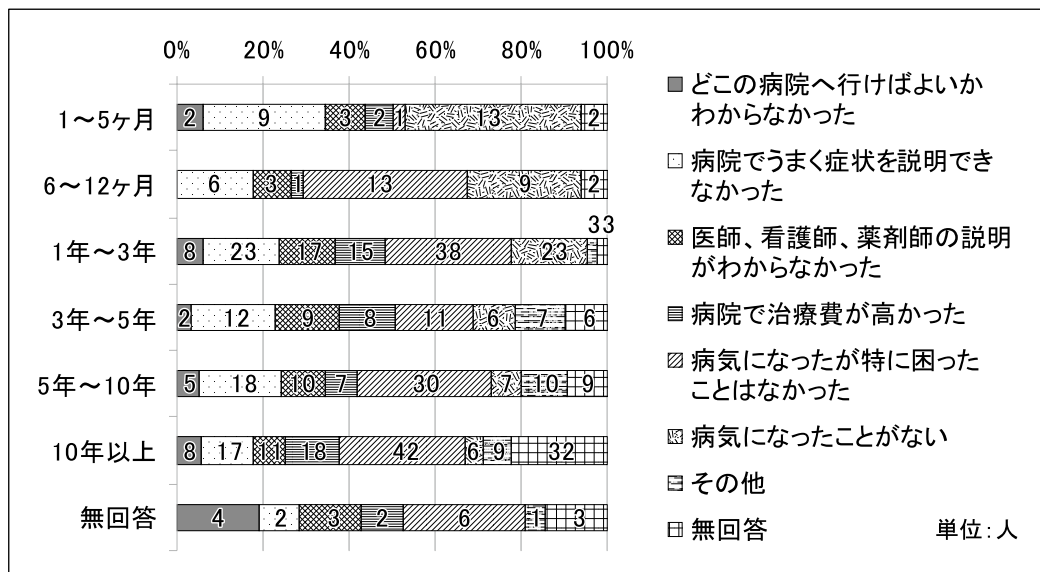
問14 病気になったとき、困ったことがありますか。それはどんなことですか。
(複数回答)

「病気になったが特に困ったことはなかった」「病気になったことがない」を除いた回答で最も多かったのが、「病院でうまく症状を説明できなかった」で87人だった。

滞在期間別に見ると、「病院でうまく症状を説明できなかった」という回答は1～5カ月の滞在期間者に最も多かった。



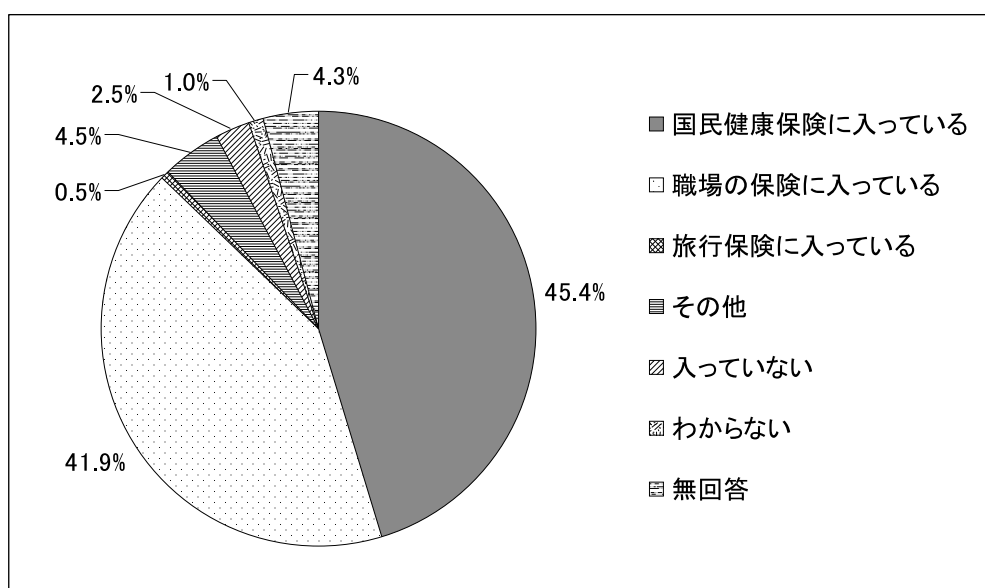
<滞在期間別>



④健康保険について

問 1 5 健康保険に入っていますか。(単一回答)

「国民健康保険」45.4%、「職場の保険」41.9%、「旅行保険」0.5%、「その他」4.5%と、回答者の92.3%が何らかの保険に加入しており、「入っていない」は2.5%であった。



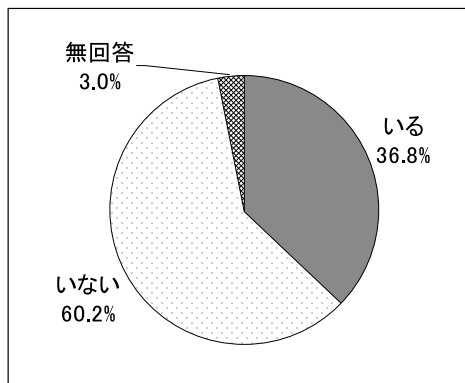
(5) 子どもについて

問16 あなたには今、日本に18歳までのお子さんがいますか。(単一回答)

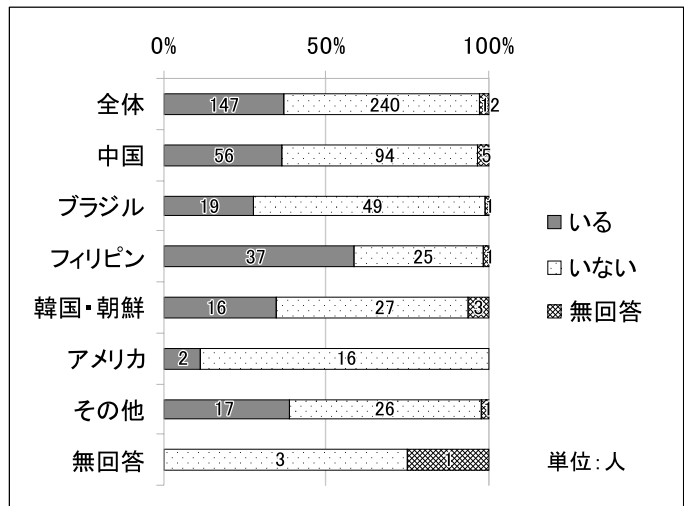
問17 問16で「いる」とお答えの方にお聞きします。お子さんの状況を聞かせて下さい。

子どもがいるという回答者は36.8%であった。国籍別に見ると、フィリピンが最も多く、6割近い方が子どもがいると回答している。子どもの状況は、「小学校在学中」が最も多く25.0%、次いで「家庭で育児中」24.2%、「保育所在所中」19.7%であった。

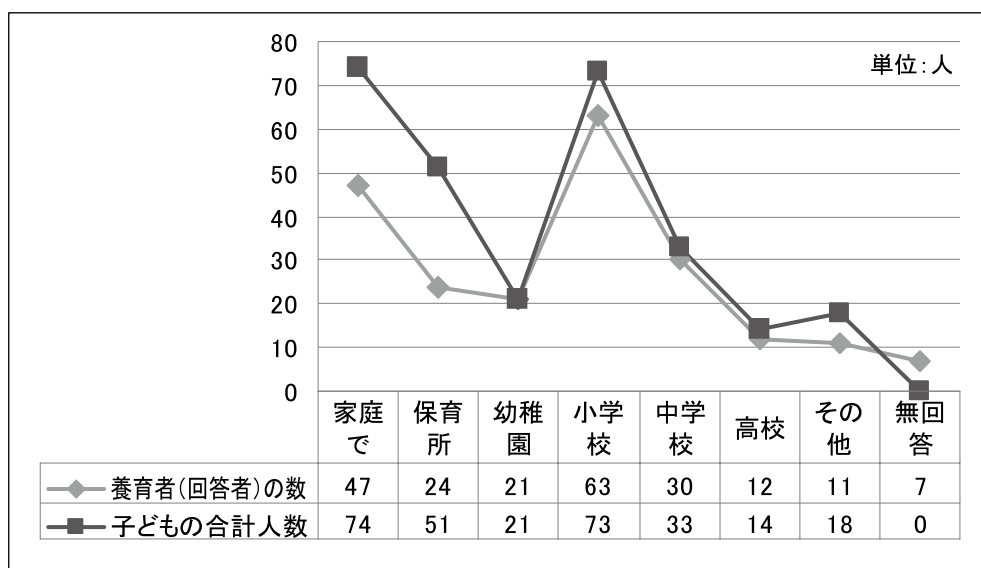
①子どもの有無



<国籍別>



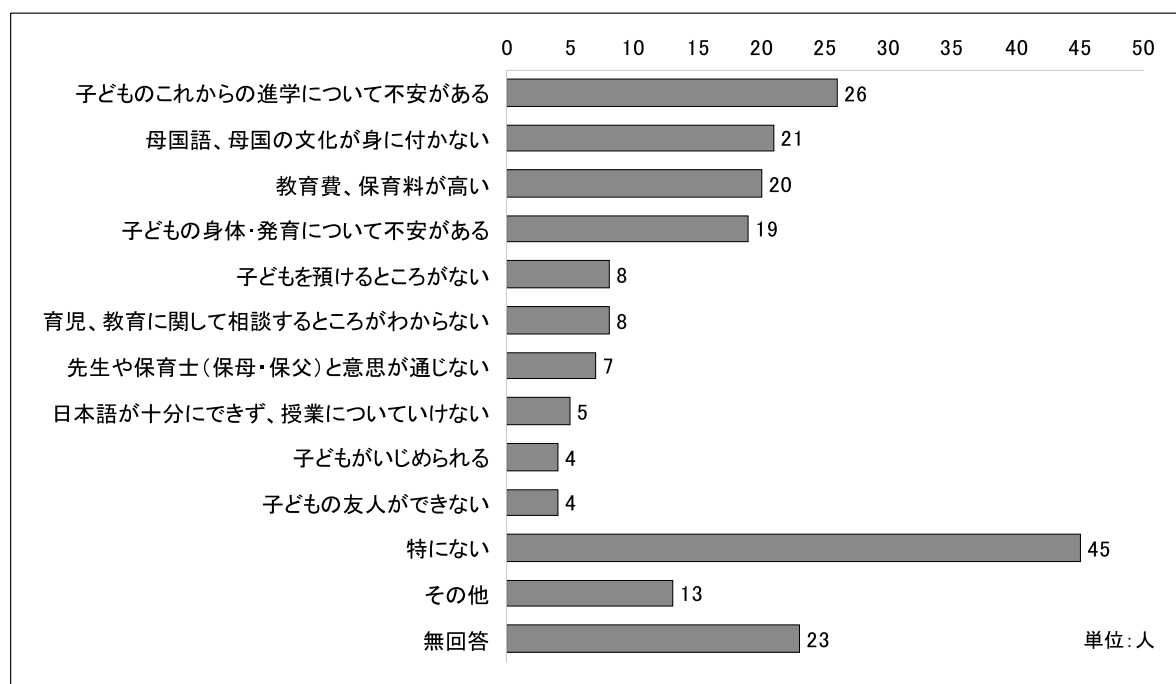
②子どもの状況と人数



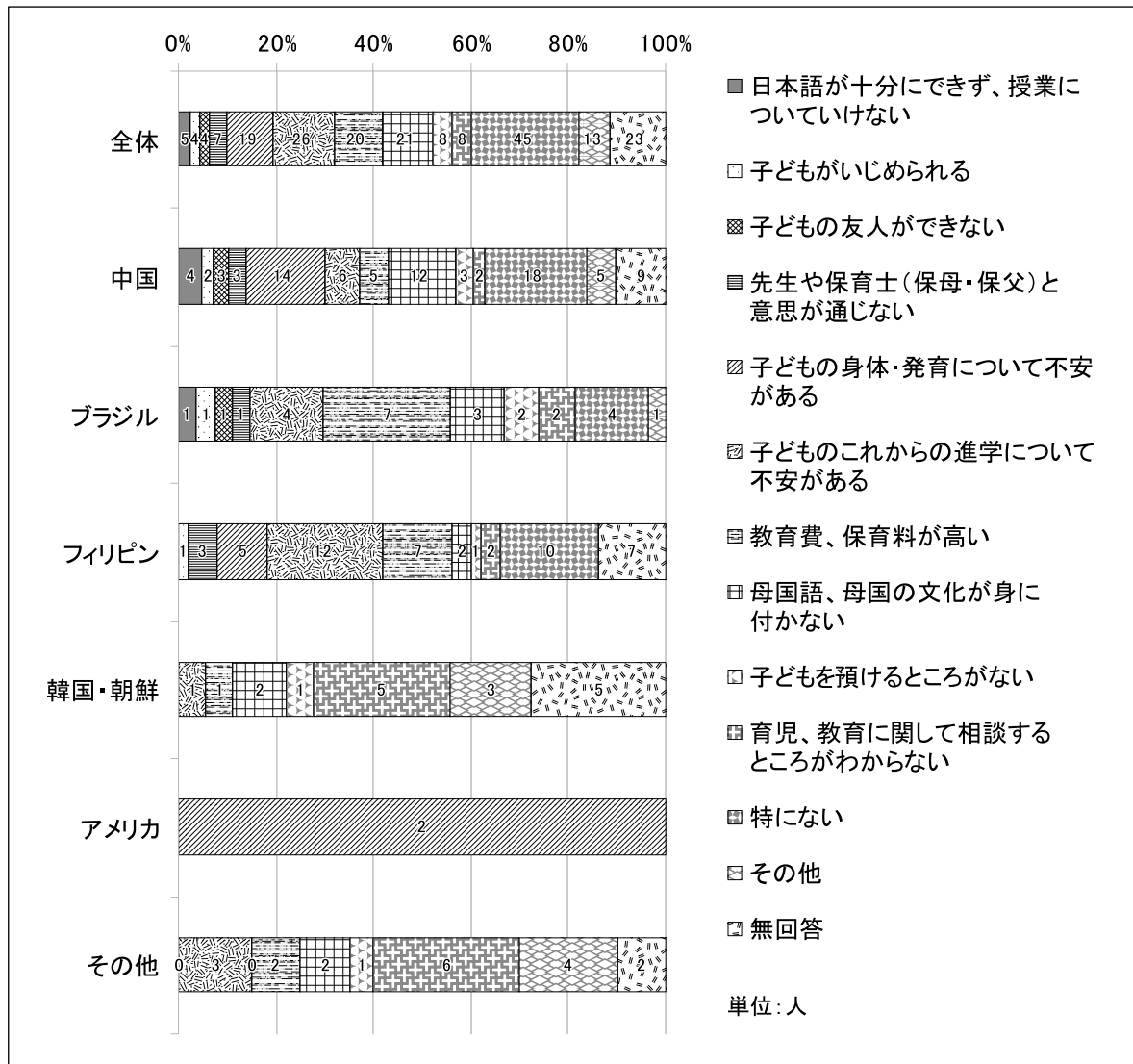
③子どもに関する悩み

問18 お子さんについて困っていることがありますか。
それはどのようなことですか。(複数回答)

「特にない」を除くと、「子どものこれからの進学について不安がある」が26人で最多であった。国籍別に見ると、フィリピンでは「これからの進学について不安がある」、ブラジルでは「教育費、保育料が高い」という回答の割合が高かった。



<国籍別>



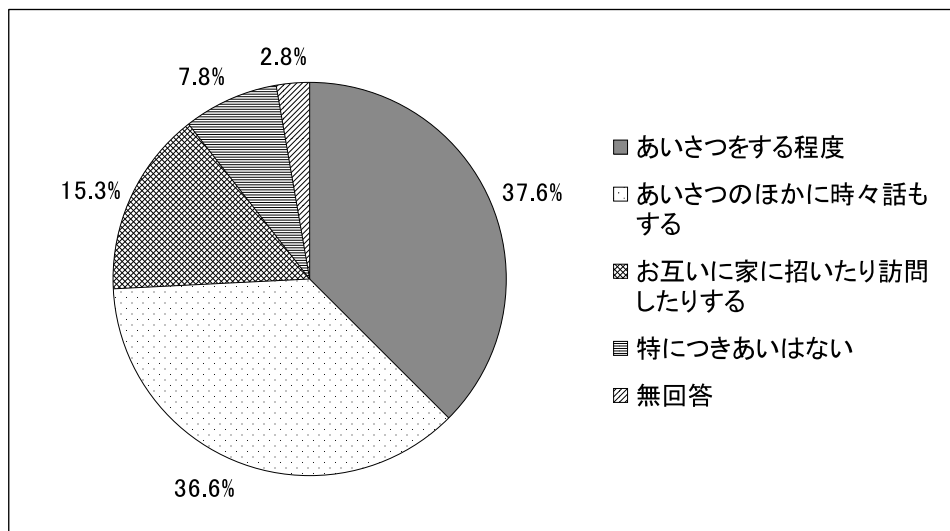
(6) 日本人とのつきあい

①日本人とのつきあいの程度

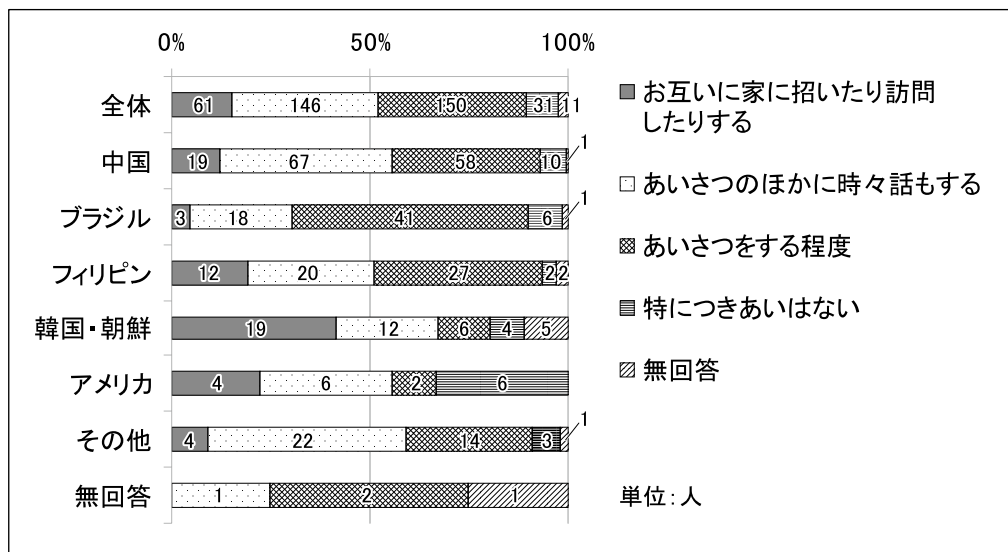
問19 あなたは、あなたのまわりに住んでいる日本人とどのくらい付き合いがありますか。(単一回答)

日本人とのつきあいの程度は、「あいさつをする程度」が37.6%、「あいさつのほかに時々話もする」が36.6%であった。

国籍別に見ると、中国では「あいさつのほかに時々話もする」の割合が高い一方、ブラジル、フィリピンでは「あいさつをする程度」が最も多い結果となった。



<国籍別>

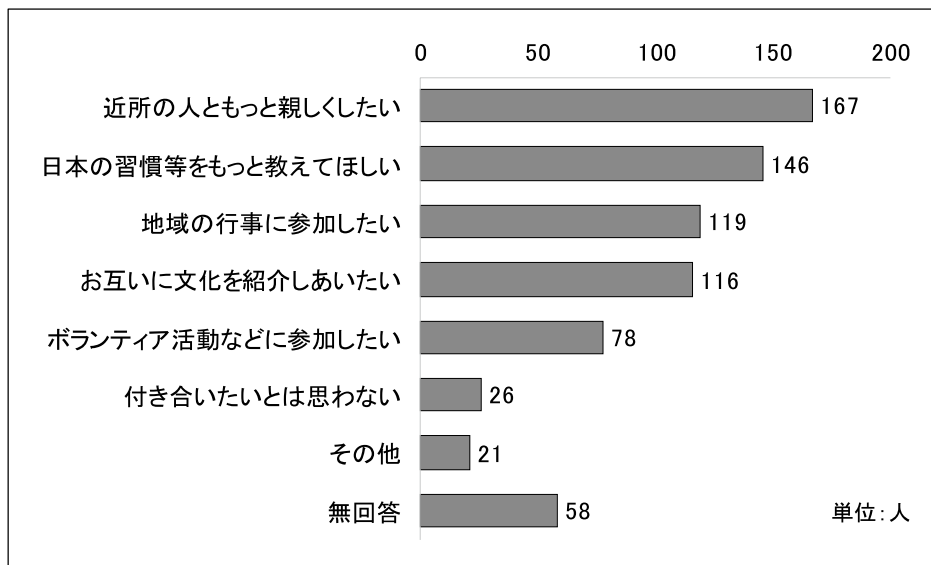


②日本人との交流希望

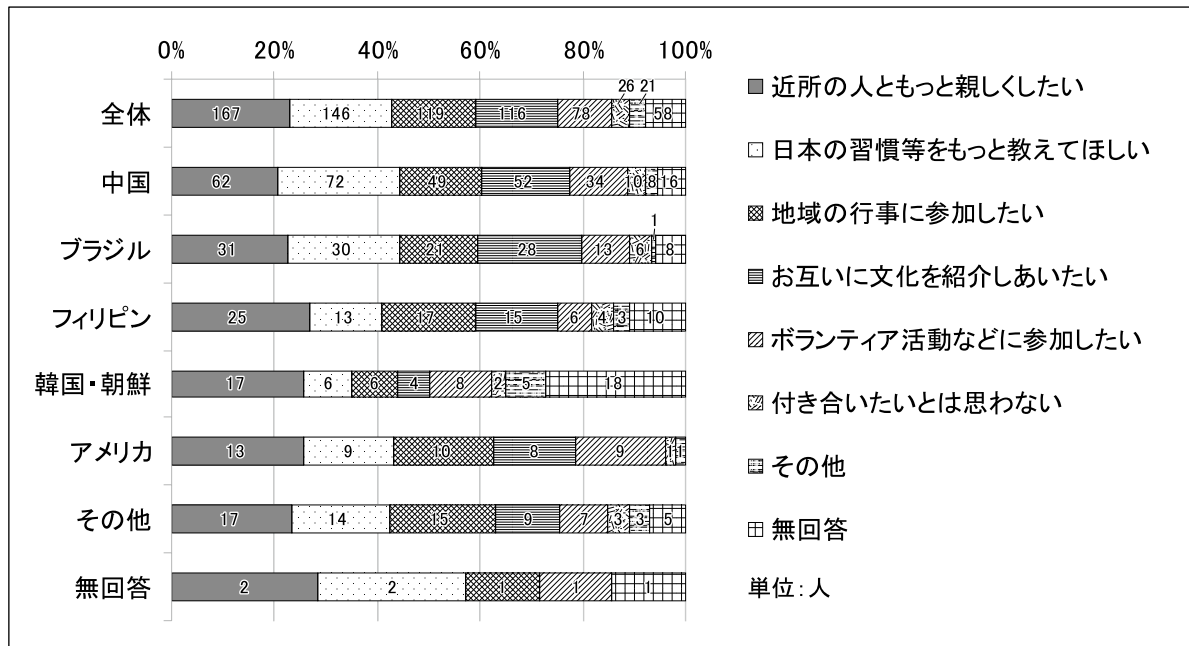
問20 あなたのまわりに住んでいる日本人とどのような付き合いをしたいですか。
(複数回答)

「近所の人ともっと親しくしたい」が最も多く167人、次いで「日本の習慣等をもっと教えてほしい」(146人)が多かった。

国籍別に見ると、中国では「日本の習慣等をもっと教えてほしい」が最も多く、フィリピン、韓国・朝鮮、アメリカでは「近所の人ともっと親しくしたい」が最も多かった。国籍にかかわらず、日本人との付き合いを望む回答は多かった。



<国籍別>

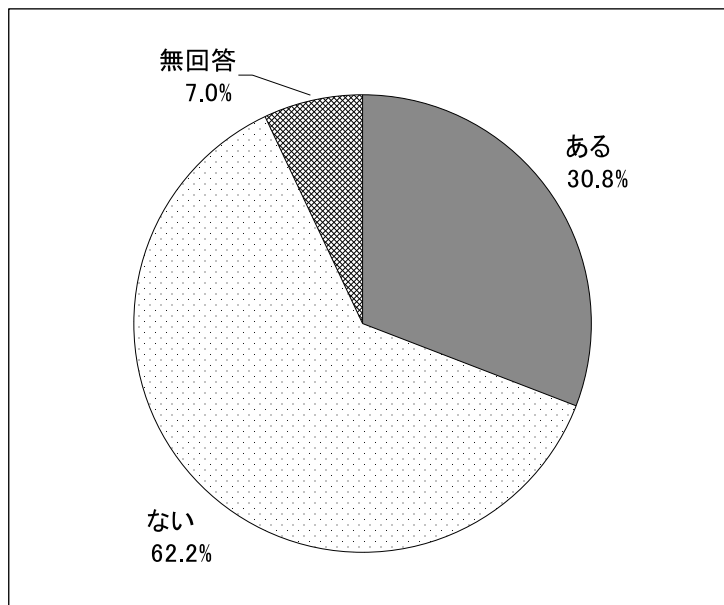


(7) 差別や人権侵害

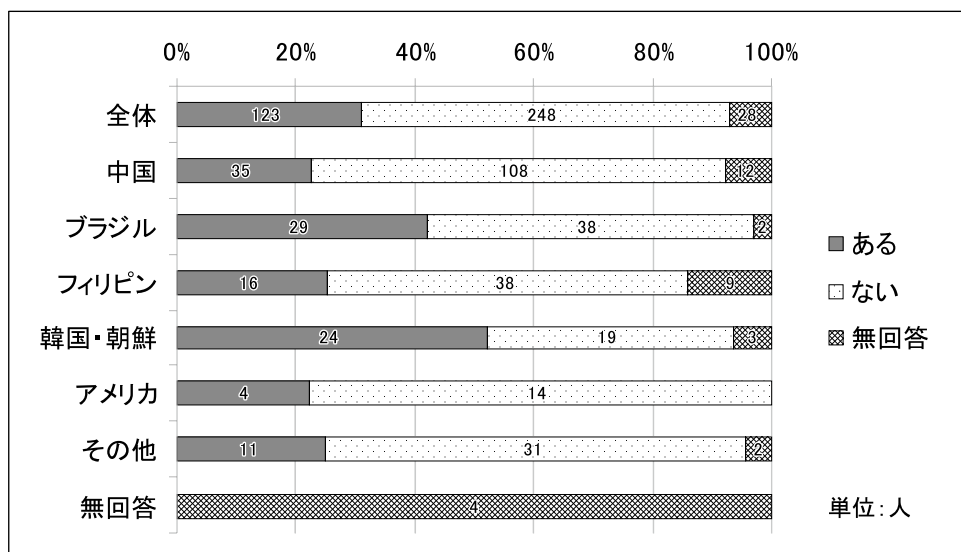
①差別や人権侵害の経験

問 2 1 日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。(単一回答)

回答者の約3割が経験があるとしている。国籍別で見ると、韓国・朝鮮で半数以上、ブラジルで4割以上が経験ありと回答した。



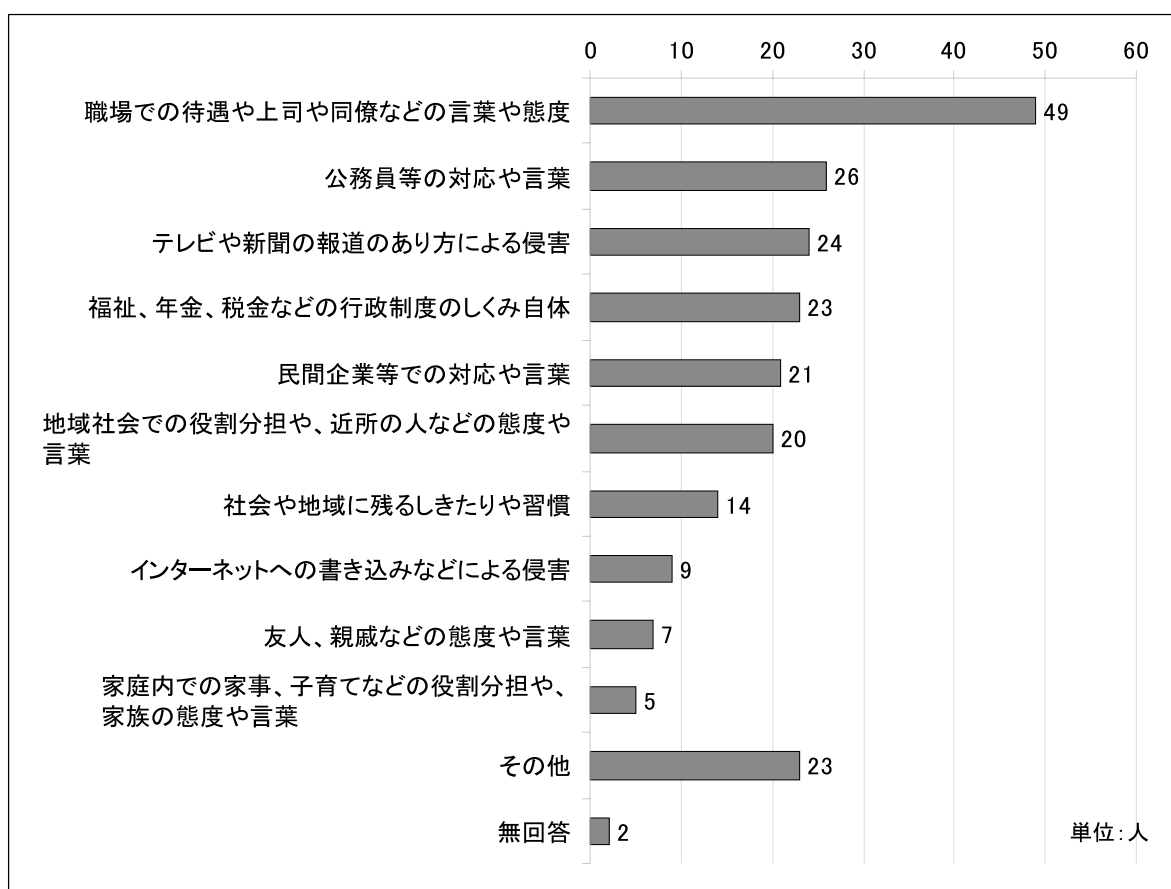
<国籍別>



②差別の内容

問21-A どのようなことで差別や人権侵害を受けたと感じましたか。(複数回答)

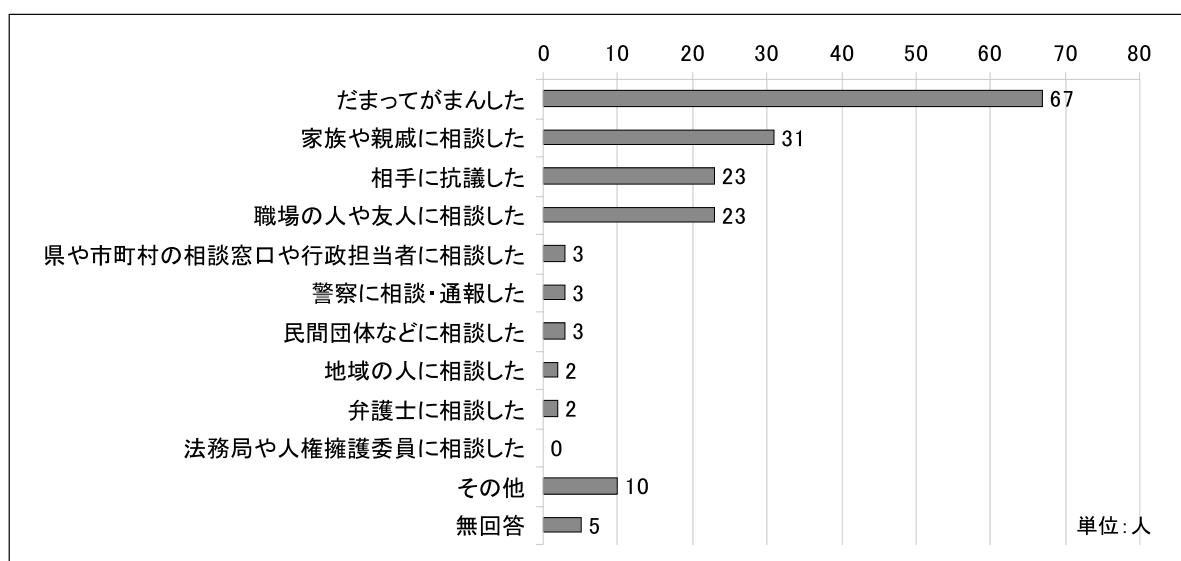
差別・人権侵害の内容としては、「職場での待遇や上司や同僚などの言葉や態度」が最も多く49人となった。



③差別・人権侵害への対応

問 2 1 -B そのとき、あなたはどうしましたか。(複数回答)

対応としては「だまっでがまんした」が圧倒的に多く 67 人、家族や友人などに相談したという回答よりも公的機関に相談したという回答が少なかった。



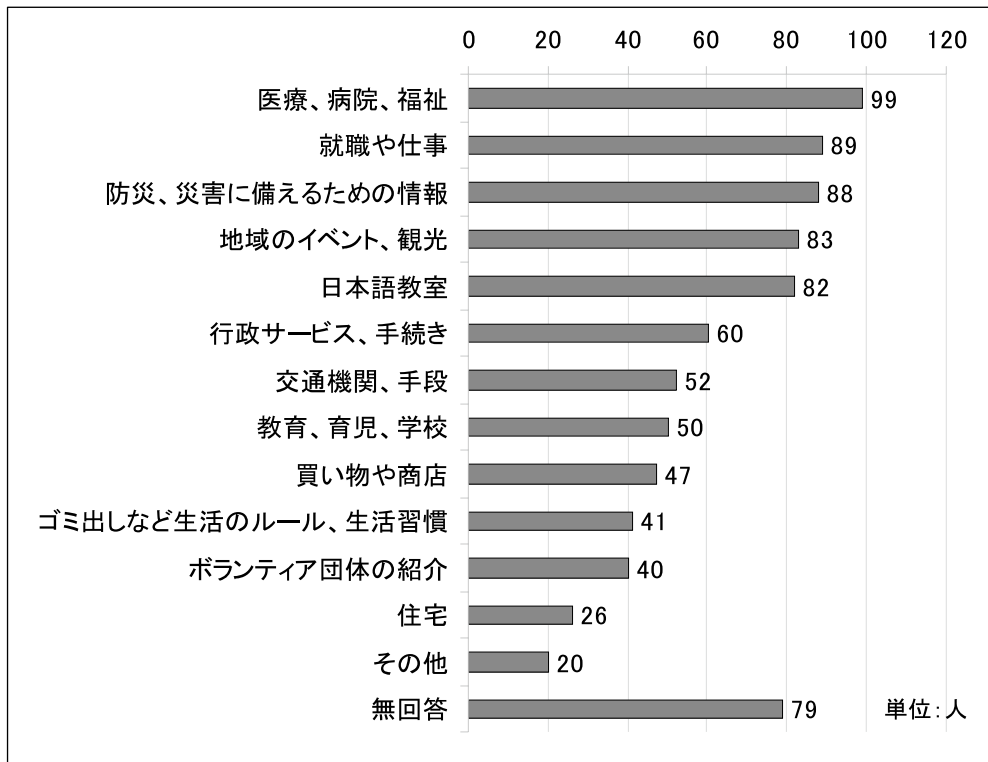
(8) 行政からの情報やサービス

①必要な情報

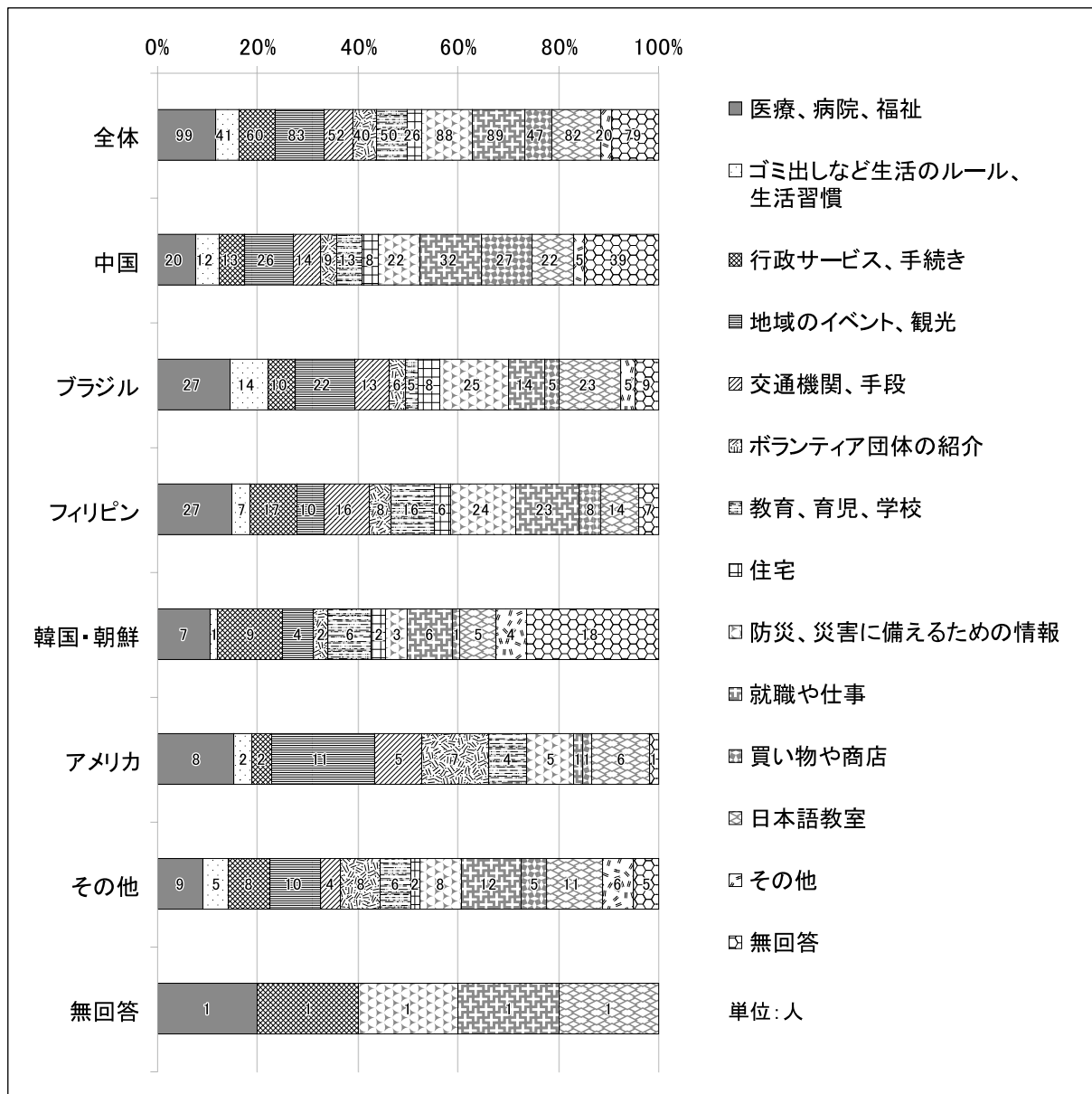
問 2 2 あなたは今どのような情報が特に必要ですか。(複数回答)

最多の「医療、病院、福祉」(99人)に「就職や仕事」(89人)、「防災、災害に備えるための情報」(88人)、「地域のイベント、観光」(83人)、「日本語教室」(82人)が続く。

国籍別に見ると、ブラジルとフィリピンでは「医療、病院、福祉」が、中国では「就職や仕事」が最も多かった。



<国籍別>

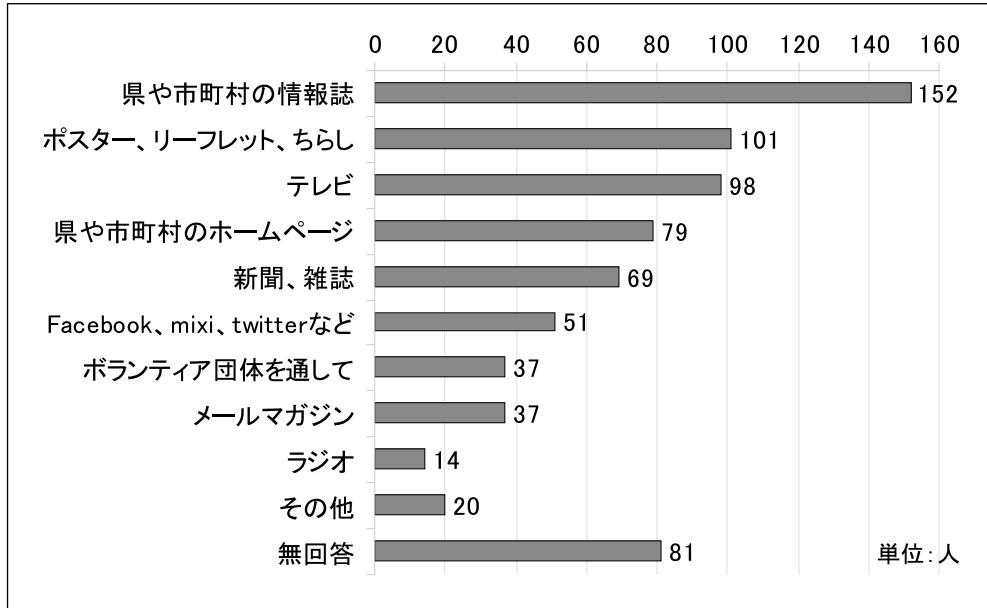


②情報の入手方法の希望

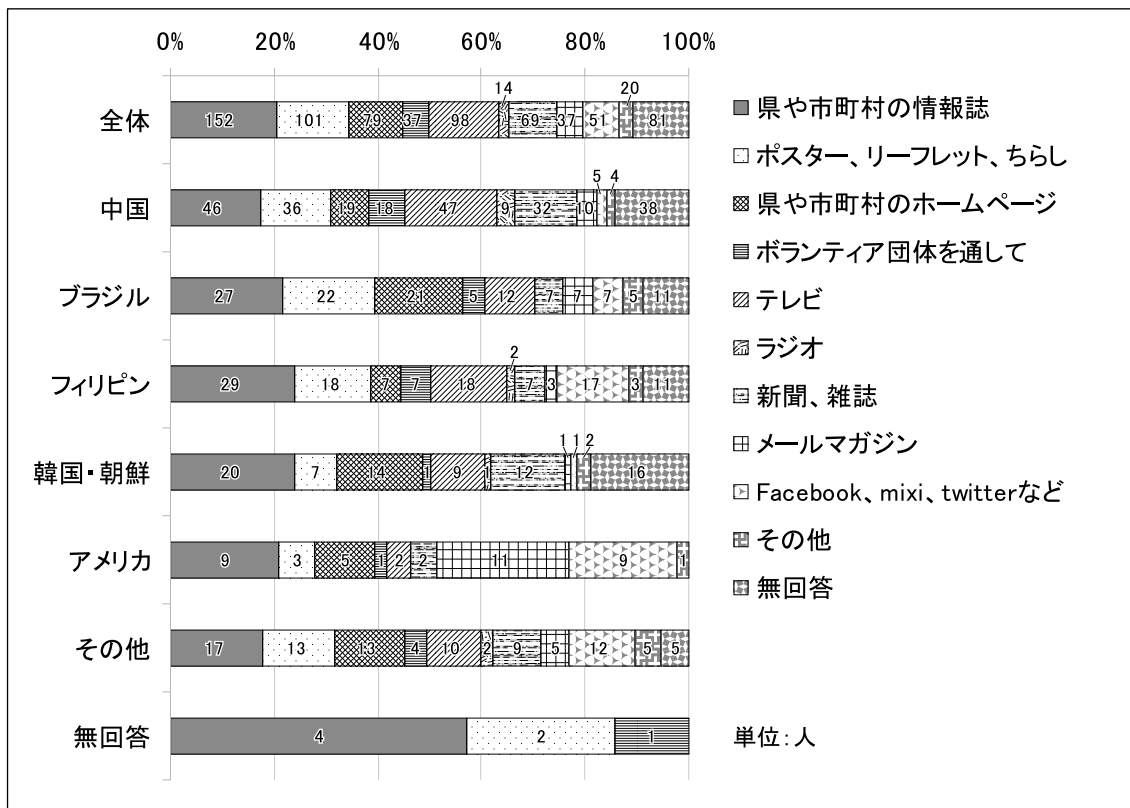
問23A 問22で答えた情報に関しておたずねします。

どのような方法で情報を得たいですか。(3つまでの複数回答)

情報の入手方法として「県や市町村の情報誌」を希望する回答が最も多く152人であった。国籍別に見ると、中国では「テレビ」が最も多かった。ブラジルでは「県や市町村の情報誌」に続いて「ポスター、リーフレット、ちらし」と「県や市町村のホームページ」が多かった。



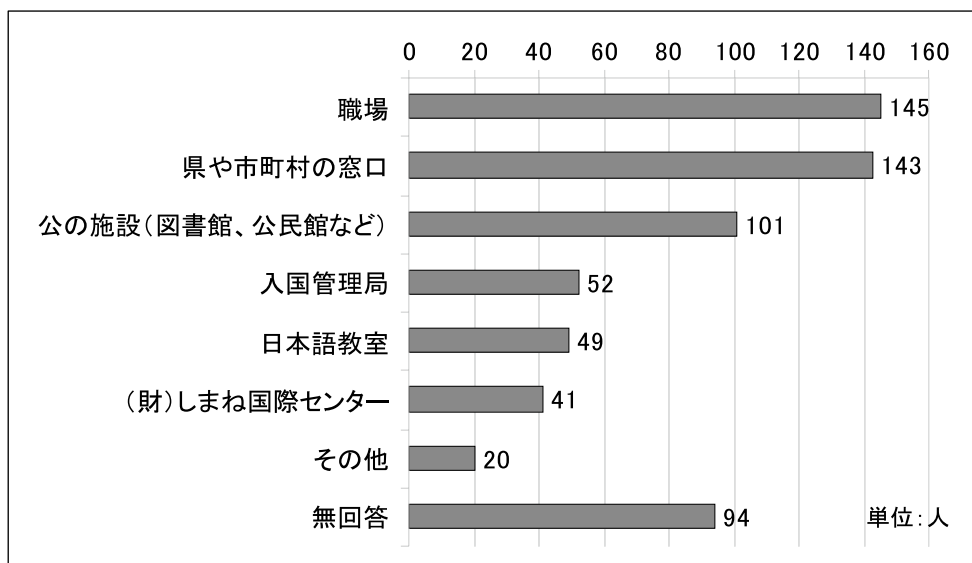
<国籍別>



③情報を得やすい場所

問 2 3 B どのような場所なら情報を得やすいでしょうか。(複数回答)

「職場で」の情報提供を求める回答が最も多く 145 人で、次いで「県や市町村の窓口」143 人、「公の施設（図書館、公民館など）」が 101 人で全体の 6 割を占める。

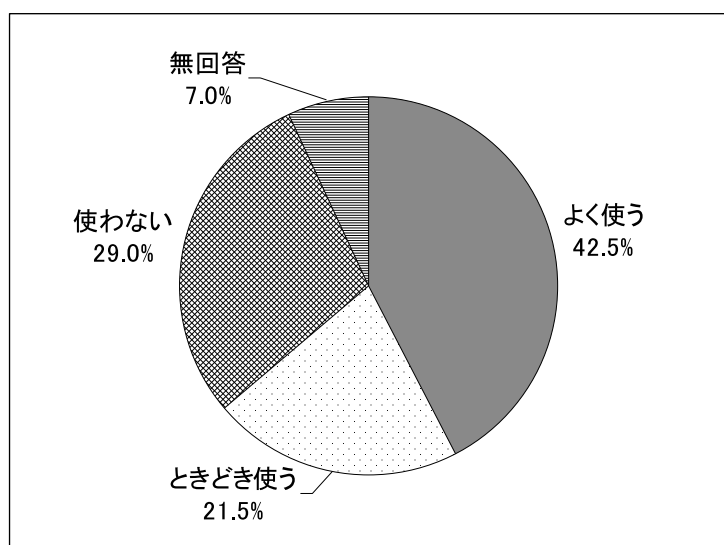


④インターネットの利用

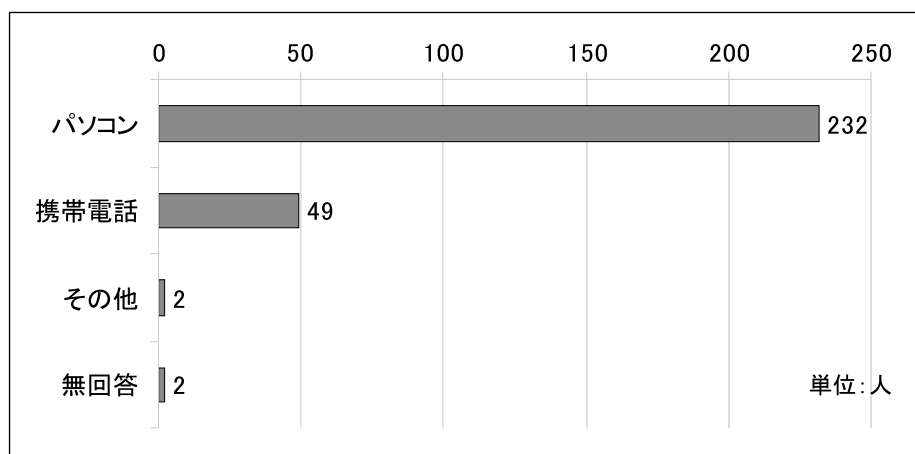
問24 あなたは普段情報を得るためにインターネットを使いますか。

問25 問24で「よく使う」または「ときどき使う」とお答えの方にお聞きします。主にどうやってインターネットを使いますか。

「よく使う」が42.5%、「ときどき使う」が21.5%に対して「使わない」は29.0%であった。使用方法については、「パソコン」が最も多く232人、「携帯電話」も49人あった。回答者の7割がパソコンもしくは携帯電話によりインターネットを利用していた。



<利用方法>

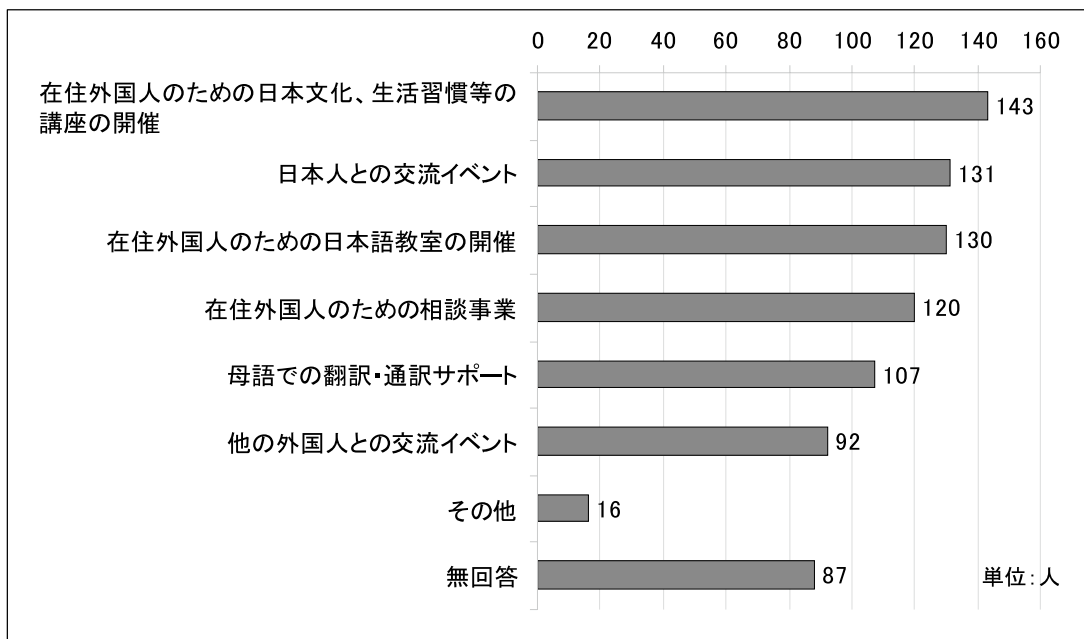


⑤希望する行政サービス

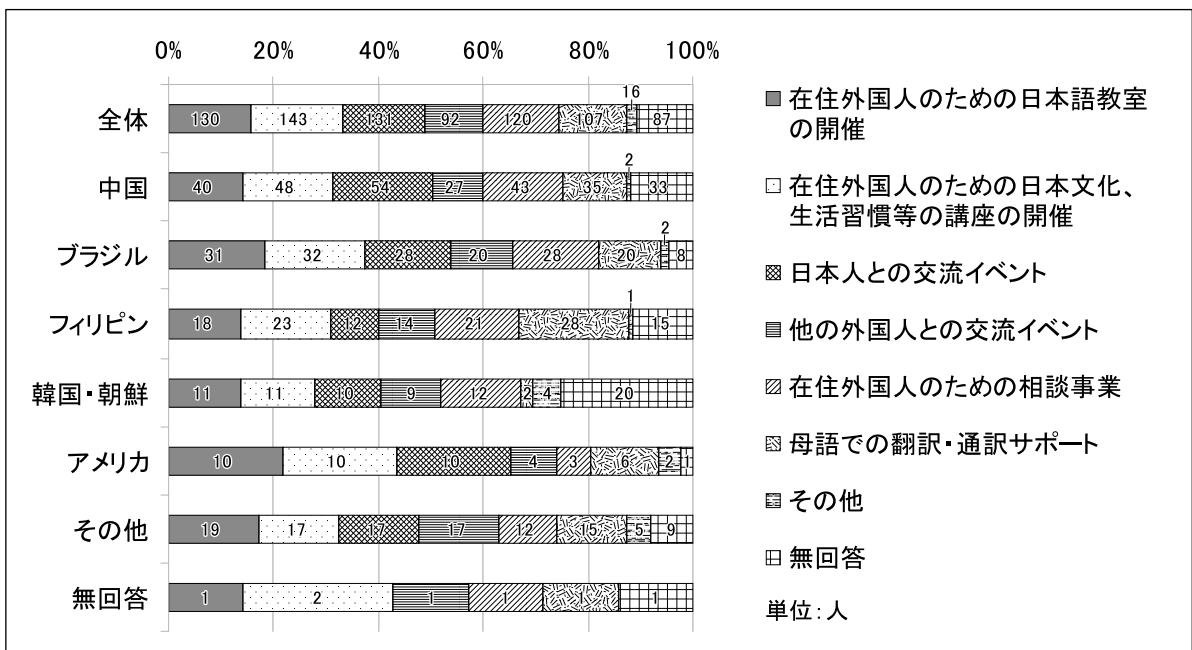
問 2 6 あなたはこれからどのようなサービスを受けたいですか。(複数回答)

今後期待されるサービスとしては、「在住外国人のための日本文化、生活習慣等の講座の開催」が最も多く 143 人であった。次いで、「日本人との交流イベント」が 131 人、「在住外国人のための日本語教室の開催」が 130 人、「在住外国人のための相談事業」が 120 人であった。

国籍別に見ると、中国では「日本人との交流イベント」、フィリピンでは「母語での翻訳・通訳サポート」の希望が高い傾向にある。



<国籍別>

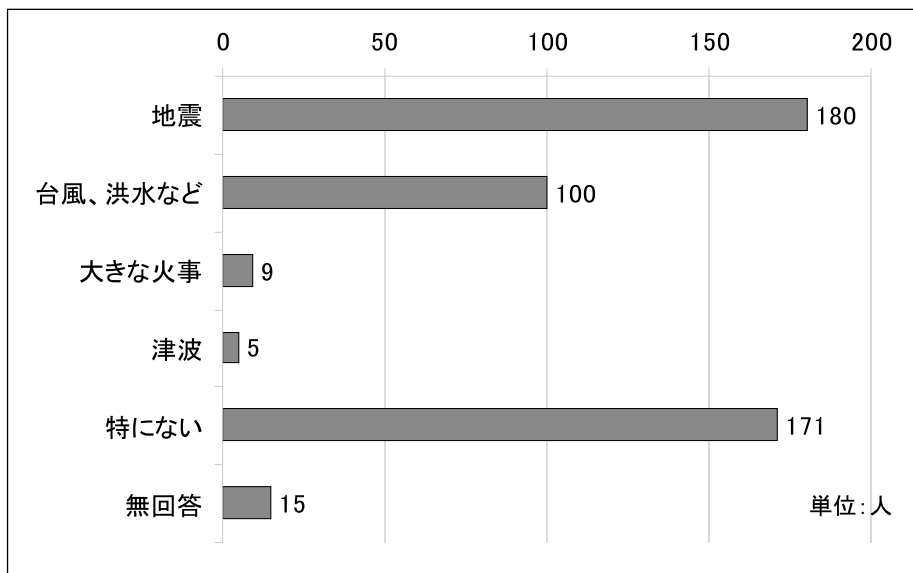


(9) 防災について

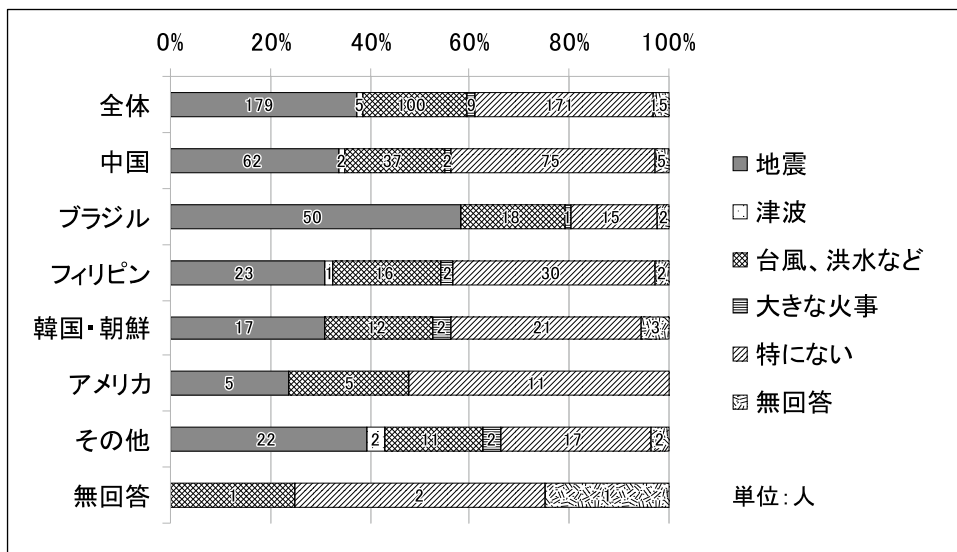
① 災害の経験

問27 あなたは災害を経験したことがありますか。(日本での経験も合わせて複数回答)

「地震」が180人、「台風、洪水など」が100人だったが、「特にない」も171人にのぼった。国籍別に見ると、災害の経験が最も多いのはブラジルで約8割。それに対し、中国、フィリピン、韓国・朝鮮、アメリカでは「特にない」が大多数を占めた。



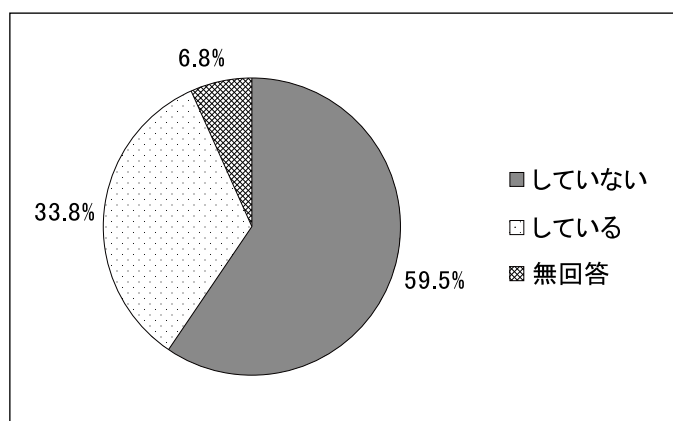
<国籍別>



②災害への備えをしているか

問28 あなたは災害への備えをしていますか。(単一回答)

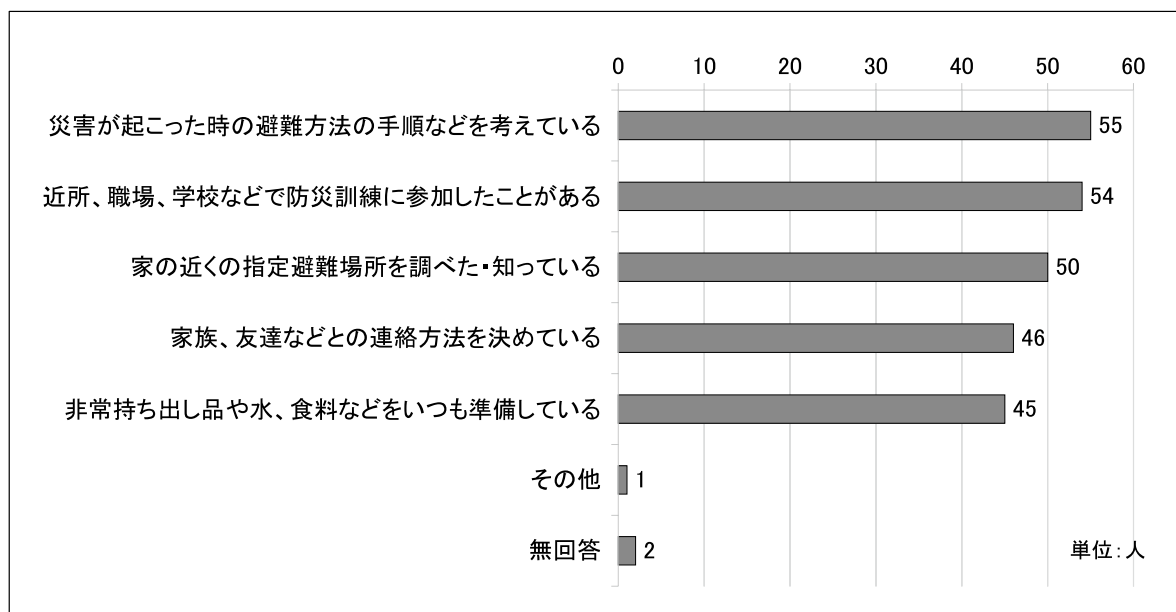
「していない」の方が多く 59.5%、「している」が 33.8%であった。



③災害への備えの内容

問29 あなたは災害への備えとしてどのようなことをしていますか。(複数回答)

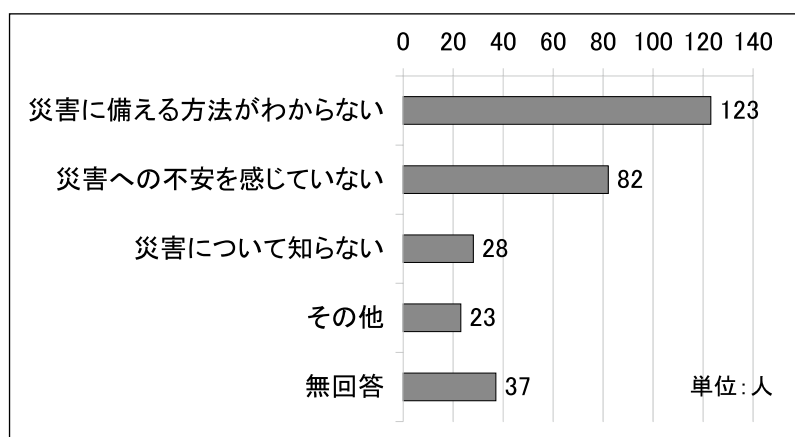
災害への備えの内容としては、「災害が起こった時の避難方法の手順などを考えている」が 55 人、「近所、職場、学校などで防災訓練に参加したことがある」が 54 人であった。避難場所、家族や友人との連絡方法の確認、非常持ち出し品などの準備を行っているとの回答も多かった。



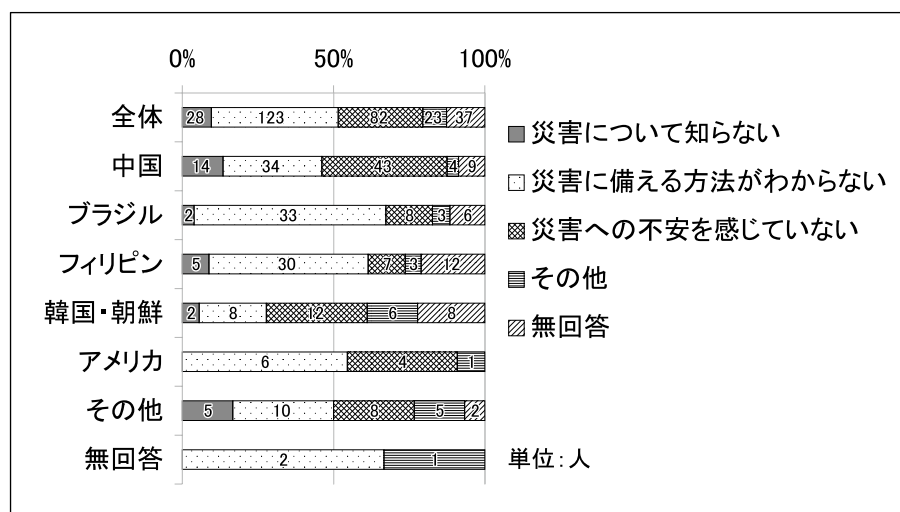
④備えをしていない理由

問30 問28で「災害への備えをしていない」とお答えの方にお聞きします。
あなたが災害への備えをしていないのはなぜですか。(複数回答)

理由としては、「災害に備える方法がわからない」が123人で最も多かった。「災害への不安を感じていない」も82人の一方、「災害について知らない」も28人だった。国籍別に見ると、中国では「災害への不安を感じていない」が最も多く、ブラジル、フィリピン、アメリカでは「災害に備える方法がわからない」が最も多い結果となった。



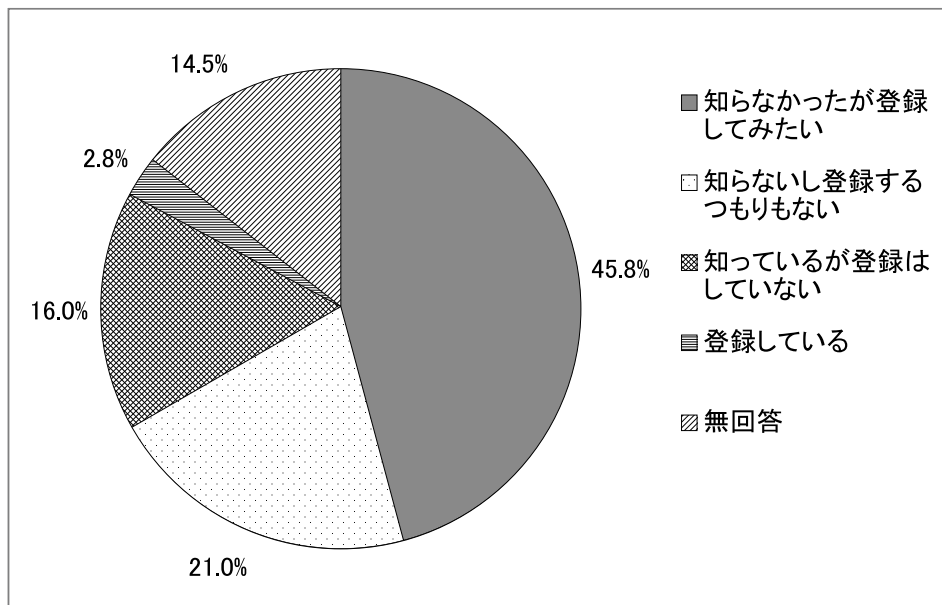
<国籍別>



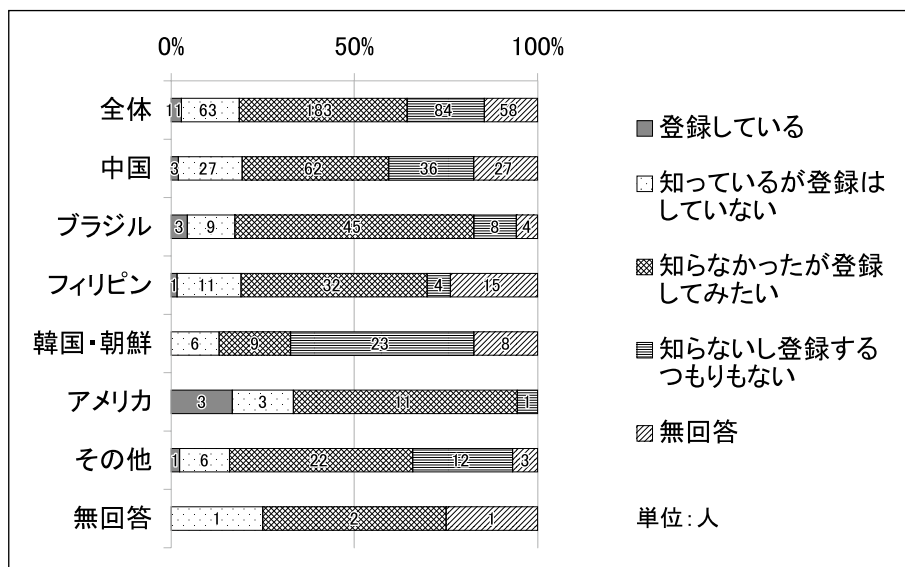
⑤多言語メールマガジン

問31 あなたは、地震や津波などの情報を多言語（英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語）で携帯電話やパソコンのメールで受け取るサービスを知っていますか。（単一回答）

メールマガジンの認知については、「知らなかったが登録してみたい」が45.8%で最も多かった。国籍別に見ると、韓国・朝鮮以外は総じて「知らなかったが登録してみたい」が最も多かった。



<国籍別>



資料 I

集計結果表 前回との比較

問 1 回答者の性別について

性 別	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
男	119	205
	29.8%	27.8%
女	265	521
	66.4%	70.7%
無回答	15	11
	3.8%	1.5%

※前回調査票配布数2,587名

※上段：人数
下段：構成比

問 2 回答者の年齢について

年 代	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
20歳代	125	371
	31.3%	50.3%
30歳代	115	231
	28.8%	31.3%
40歳代	95	60
	23.8%	8.1%
50歳代	25	20
	6.3%	2.7%
60歳代	10	24
	2.5%	3.3%
70歳以上	14	23
	3.5%	3.1%
無回答	15	8
	3.8%	1.1%

問 3 回答者の国籍について

国 籍	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
中国	155	355
	38.8%	48.2%
韓国または朝鮮	46	99
	11.5%	13.4%
ブラジル	69	70
	17.3%	9.5%
フィリピン	63	73
	15.8%	9.9%
アメリカ	18	40
	4.5%	5.4%
その他	44	96
	11.0%	13.0%
無回答	4	4
	1.0%	0.5%

問 4 これまでの滞在期間について

期 間	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
1～5ヶ月	26	107
	6.5%	14.5%
6～12ヶ月	28	101
	7.0%	13.7%
1年～3年	97	299
	24.3%	40.6%
3年～5年	42	47
	10.5%	6.4%
5年～10年	73	176
	18.3%	23.9%
10年以上	117	23
	29.3%	3.1%
無回答	16	7
	4.0%	0.9%

*前回調査は5年以上の数値

問 5 今後の滞在予定について

期 間	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
1～5ヶ月	18	50
	4.5%	6.8%
6～12ヶ月	15	85
	3.8%	11.5%
1年～3年	78	239
	19.5%	32.4%
3年～5年	21	49
	5.3%	6.6%
5年以上	28	23
	7%	3.1%
住み続ける	151	200
	37.8%	27.1%
考えていない	69	75
	17.3%	10.2%
無回答	19	16
	4.8%	2.2%

問6 A 日本語について (聞く)

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
テレビのニュース、ドラマを聞きとれる。	134	128
	33.6%	17.4%
相手の言うことが大体聞きとれる。	91	119
	22.8%	16.1%
相手がゆっくり話せば聞きとれる。	108	232
	27.1%	31.5%
単語だけ聞きとれる。	47	128
	11.8%	17.4%
ほとんど聞きとれない。	11	59
	2.8%	8.0%
無回答	8	71
	2.0%	9.6%

問6 B 日本語について (話す)

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
自分の意見を問題なく話せる。	94	93
	23.6%	12.6%
自分の言いたいことが大体話せる。	133	168
	33.3%	22.8%
簡単な日常会話ができる。	116	224
	29.1%	30.4%
決まったあいさつ、単語なら言うことができる。	44	142
	11.0%	19.3%
ほとんど話せない。	4	39
	1.0%	5.3%
無回答	8	71
	2.0%	9.6%

問6 C 日本語について (読む)

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	339	737
	100.0%	100.0%
新聞や雑誌が読める。	92	73
	23.1%	9.9%
漢字交じりの文章が大体読める。	51	118
	12.8%	16.0%
簡単な漢字まじりの言葉が読める。	117	216
	29.3%	29.3%
ひらがな又はカタカナなら読める。	108	179
	27.1%	24.3%
ほとんど読めない。	19	80
	4.8%	10.9%
無回答	12	71
	3.0%	9.6%

問7 日本語を学んでいるかどうかについて

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
学んでいる	210	455
	52.6%	61.7%
学んでいない	183	206
	45.9%	28.0%
無回答	6	76
	1.5%	10.3%

[新規項目]

問8 A 日本語学習の目的について (複数回答)

区 分	今回
	2012年
合 計	495
生活に必要な情報を得るため	119
仕事をするのに必要だから (良い仕事に就くため)	121
日本人の友人とのコミュニケーションのため	94
職場の人とのコミュニケーションのため	99
家族や親せきとのコミュニケーションのため	56
無回答	6

問8 B 日本語学習方法について (複数回答)

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	347	705
		100.0%
独学で	159	269
		38.2%
無料の日本語教室で	31	115
		16.3%
有料の日本語教室で	14	29
		4.1%
家族から教わっている。	43	41
		5.8%
職場で教わっている。	73	213
		30.2%
その他	22	31
		4.4%
無回答	5	7
		1.0%

問8C 日本語教材について（複数回答）

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	311	638
		100.0%
日本語で書かれた日本語の教科書	112	272
		42.6%
日本語以外で書かれた日本語の教科書	79	210
		32.9%
CD, DVD等（今回）	19	85
テープ、ビデオ等（前回）		
		13.3%
インターネットなど	53	—
その他	34	54
		8.5%
無回答	14	17
		2.7%

[新規項目]

問10 学ぶ時間がない・教室に通えない理由

区 分	今回
	2012年
合 計	71
	100.0%
仕事や家事で時間がない	55
	77.5%
日本語教室が近くにない	4
	5.6%
日本語教室の時間が合わない	8
	11.3%
その他	3
	4.2%
無回答	1
	1.4%

問12 困りごとの相談先について（複数回答）

相談先	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	772	1373
		100.0%
日本人の友人・知人	163	263
		19.2%
日本人以外の友人・知人	113	218
		15.9%
家族、親戚	230	352
		25.6%
職場の人	154	356
		25.9%
民族団体	13	31
		2.3%
公の機関（役所の窓口、領事館など）	38	32
		2.3%
(財)しまね国際センターなどの国際交流団体	7	13
		0.9%
ボランティア団体	8	15
		1.1%
相談する人がいない（相談先がわからない）	17	34
		2.5%
その他	22	22
		1.6%
無回答	7	37
		2.7%

[新規項目]

問9 日本語を学んでいない理由

区 分	今回
	2012年
合 計	185
	100.0%
学ぶ必要がない（生活でつかう日本語はできる）	72
	38.9%
学ぶ時間がない	59
	31.9%
学びたいが日本語教室がどこでいつあるか分からない	22
	11.9%
学びたいが日本語教室に通うことができない	11
	5.9%
その他	13
	7.0%
無回答	8
	4.3%

[新規項目]

問11 日本語教室への希望（複数回答）

区 分	今回
	2012年
合 計	650
言葉だけでなく日本の文化や習慣を教えてくれる	168
仕事に役立つ日本語を教えてくれる	130
土曜日、日曜日、祝日に開いてくれる	56
夜に開いてくれる	41
昼間に開いてくれる	17
親子向けの教室を開いてくれる	16
子供向けの教室を開いてくれる	3
日本語試験に合格するために指導してくれる	51
その他	22
無回答	146

問13 困っていることについて（複数回答）

内 容	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	576	2134
		100.0%
病気になったときどうすればよいか。	71	238
		11.2%
まわりの人とのつきあい方がわからない、またはうまくいかない。	75	347
		16.3%
趣味や娯楽・交流の場所、機会がない。	109	329
		15.4%
案内・表示・交通手段がわからないので外出しにくい。	25	245
		11.5%
教育、育児など子どもに関して	47	274
		12.8%
希望する住宅に入れないなど住まいに関して	20	255
		11.9%
仕事について	43	—
日本の習慣になじめない。	17	67
		3.1%
ごみの出し方が分からない。	11	—
その他	34	43
		2.0%
無回答	124	33
		1.5%

問14 病気になって困ったことについて（複数回答）

内 容	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	517	1028
		100.0%
どこの病院へ行けばよいかわからなかった。	29	93
		9.0%
病院でうまく症状を説明できなかった。	87	171
		16.6%
医師、看護婦(士)、薬剤師の説明がわからなかった。	56	128
		12.5%
病院で治療費が高かった。	53	152
		14.8%
病気になったが特に困ったことはなかった。	141	202
		19.6%
病気になったことがない。	64	219
		21.3%
その他	30	19
		1.8%
無回答	57	44
		4.3%

問15 健康保険について

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
国民健康保険に入っている	181	372
	45.4%	50.5%
職場の保険に入っている	167	223
	41.9%	30.3%
旅行保険に入っている	2	12
	0.5%	1.6%
その他	18	31
	4.5%	4.2%
入っていない	10	17
	2.5%	2.3%
わからない	4	33
	1.0%	4.5%
無回答	17	49
	4.3%	6.6%

問16 子どもの有無について

有 無	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.0%	100.0%
い る	147	124
	36.8%	16.8%
いない	240	542
	60.2%	73.5%
無回答	12	71
	3.0%	9.6%

問17 子どもの状況と人数

状況	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	215	
	284人	
家庭で	47	52
	74人	
保育所	24	46
	51人	
幼稚園	21	29
	21人	
小学校	63	53
	73人	
中学校	30	35
	33人	
高校	12	29
	14人	
その他	11	28
	18人	
無回答	7	
	0人	

問18 子どもに関する悩みについて（複数回答）

内 容	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	203	277
		100.0%
日本語が十分にできず、授業についていけない。	5	7
		2.5%
子どもがいじめられる。	4	5
		1.8%
子どもの友人ができない。	4	3
		1.1%
先生や保育士（保母・保父）と意志が通じない。	7	12
		4.3%
子どもの身体・発育について不安である。	19	38
		13.7%
子どものこれからの進学について不安である。	26	35
		12.6%
教育費、保育料が高い。	20	23
		8.3%
母国語、母国の文化が身に付かない。	21	15
		5.4%
子どもを預ける場所がない。	8	5
		1.8%
育児、教育に関して相談するところがわからない。	8	22
		7.9%
特にない。	45	65
		23.5%
その他	13	18
		6.5%
無回答	23	29
		10.5%

問19 日本人との付き合いの程度について

区 分	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	399	737
	100.1%	100.0%
お互いに家に招いたり訪問したりする。	61	125
	15.3%	17.0%
あいさつのほかに時々話もする。	146	234
	36.6%	31.8%
あいさつをする程度。	150	251
	37.6%	34.1%
特につきあいはない。	31	92
	7.8%	12.5%
無回答	11	35
	2.8%	4.7%

問20 日本人との交流希望について（複数回答）

内 容	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	731	1383
		100.0%
近所の人ともっと親しくしたい。	167	324
		23.4%
日本の習慣等をもっと教えてほしい。	146	346
		25.0%
地域の行事に参加したい。	119	191
		13.8%
お互いに文化を紹介しあいたい。	116	214
		15.5%
ボランティア活動などに参加したい。	78	154
		11.1%
交流したいとは思わない。	26	38
		2.7%
その他	21	35
		2.5%
無回答	58	81
		5.9%

[新規項目]

問21 差別・人権侵害の経験

区分	今回
	2012年
合 計	399
	100.0%
ある	123
	30.8%
ない	248
	62.2%
無回答	28
	7.0%

[新規項目]

問2 1A 差別・人権侵害の内容 (複数回答)

内 容	今回
	2012年
合 計	223
福祉、年金、税金などの行政制度のしくみ自体	23
公務員等の対応や言葉	26
職場での待遇や上司や同僚などの言葉や態度	49
民間企業等での対応や言葉	21
地域社会での役割分担や、近所の人などの態度	20
家庭内での家事、子育てなどの役割分担や、家族の態度や言葉	5
友人、親戚などの態度や言葉	7
テレビや新聞の報道のあり方による侵害	24
社会や地域に残るしきたりや習慣	14
インターネットへの書き込みなどによる侵害	9
その他	23
無回答	2

[新規項目]

問2 1B 差別・人権侵害への対応 (複数回答)

内 容	今回
	2012年
合 計	172
相手に抗議した	23
家族や親戚に相談した	31
職場の人や友人に相談した	23
地域の人に相談した	2
法務局や人権擁護委員に相談した	0
県や市町村の相談窓口や行政担当者に相談した	3
弁護士に相談した	2
警察に相談・通報した	3
民間団体などに相談した	3
だまっpegまんした	67
その他	10
無回答	5

問2 2 必要な情報について (複数回答)

内 容	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	856	1621
		100.0%
医療、病院、福祉	99	294
		18.1%
ゴミ出しなど生活のルール、生活習慣	41	217
		13.4%
行政サービス、手続き	60	193
		11.9%
地域のイベント、観光	83	204
		12.6%
交通機関、手段	52	131
		8.1%
ボランティア団体の紹介	40	99
		6.1%
教育、育児、学校	50	93
		5.7%
住宅	26	62
		3.8%
防災・災害に備えるための情報	88	149
		9.2%
就職や仕事	89	—
		—
買い物や商店	47	—
		—
日本語教室	82	—
		—
その他	20	32
		2.0%
無回答	79	147
		9.1%

問2 3 A 情報の入手方法の希望 (複数回答)

方 法	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	739	2275
		100.0%
県や市町村の広報紙	152	460
		20.2%
ポスター、リーフレット、ちらし	101	315
		13.8%
県や市町村のホームページ	79	316
		13.9%
テレフォンサービス、FAXサービス	—	398
		17.5%
ボランティア団体を通して	37	179
		7.9%
テレビ	98	261
		11.5%
ラジオ	14	27
		1.2%
新聞、雑誌	69	163
		7.2%
メールマガジン	37	—
		—
Facebook, mixi, twitterなど	51	—
		—
その他	20	25
		1.1%
無回答	81	131
		5.8%

問 2 3 B 情報を得やすい場所について（複数回答）

場 所	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	645	1120
		100.0%
県や市町村の窓口に行っ たとき。	143	210
		18.8%
入国管理局に手続きなど で行ったとき。	52	105
		9.4%
公の施設（図書館、公民館な ど）に行ったとき。	101	179
		16.0%
職場で	145	335
		29.9%
日本語教室で	49	100
		8.9%
（財）しまね国際セン ター	41	—
その他	20	48
		4.3%
無回答	94	143
		12.8%

[新規項目]

問 2 4 インターネットの利用

	今回
	2012年
合 計	400
	100.0%
よく使う	170
	42.5%
ときどき使う	86
	21.5%
使わない	116
	29.0%
無回答	28
	7.0%

[新規項目]

問 2 5 インターネットの利用方法（複数回答）

	今回
	2012年
合 計	285
パソコン	232
携帯電話	49
その他	2
無回答	2

[新規項目]

問 2 7 災害の経験（複数回答）

内 容	今回
	2012年
合 計	480
地震	180
津波	5
台風、洪水など	100
大きな火事	9
特にない	171
無回答	15

問 2 6 希望するサービスについて（複数回答）

内 容	今回	前回
	2012年	2005年
合 計	826	1251
		100.0%
在住外国人のための日本 語教室の開催	130	265
		21.2%
在住外国人のための日本文化、 生活習慣等の講座の開催	143	252
		20.1%
日本人との交流イベント	131	223
		17.8%
他の外国人との交流イベ ント	92	160
		12.8%
在住外国人のための相談 事業	120	155
		12.4%
母語での翻訳・通訳サ ポート	107	155
		12.4%
その他	16	21
		1.7%
無回答	87	175
		14.0%

[新規項目]

問 2 8 災害への備えの有無

	今回
	2012年
合 計	400
	100.1%
している	135
	33.8%
していない	238
	59.5%
無回答	27
	6.8%

[新規項目]

問 2 9 災害への備えの内容 (複数回答)

内 容	今回
	2012年
合 計	253
近所、職場、学校などで 防災訓練に参加したこと	54
家の近くの指定避難場所 を調べた・知っている	50
家族、友達などとの連絡 方法を決めている	46
災害が起こった時の避難 方法の手順などを考えて	55
非常持ち出し品や水、食 料などをいつも準備して	45
その他	1
無回答	2

[新規項目]

問 3 0 災害への備えをしていない理由 (複数回答)

内 容	今回
	2012年
合 計	293
災害について知らない	28
災害に備える方法がわか らない	123
災害への不安を感じてい ない	82
その他	23
無回答	37

[新規項目]

問 3 1 携帯向け多言語メルマガ

	今回
	2012年
合 計	400
	100.1%
登録している	11
	2.8%
知っているが登録はして いない	64
	16.0%
知らなかったが登録して みたい	183
	45.8%
知らないし登録するつも りもない	84
	21.0%
無回答	58
	14.5%

資料Ⅱ

集計結果表 クロス集計

問1×問3 性別と国籍

	男	女	無回答	合計
全体	119	265	15	399
中国	32	121	2	155
ブラジル	47	22		69
フィリピン	1	61	1	63
韓国・朝鮮	17	29		46
アメリカ	7	11		18
その他	15	21	8	44
無回答			4	4

問2×問3 年齢と国籍

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	無回答	合計
全体	125	115	95	25	10	14	15	399
中国	71	41	34	5		2	2	155
ブラジル	16	20	24	7	2			69
フィリピン	12	26	22	1		1	1	63
韓国・朝鮮	5	10	7	8	6	10		46
アメリカ	12	2	2	1		1		18
その他	9	16	6	3	2	0	8	44
無回答							4	4

問3×問4 国籍と滞在期間

	1～5ヶ月	6～12ヶ月	1年～3年	3年～5年	5年～10年	10年以上	無回答	合計
全体	26	28	97	42	73	117	16	399
中国	16	17	66	14	23	17	2	155
ブラジル		4	5	16	12	32		69
フィリピン		2	10	5	17	27	2	63
韓国・朝鮮	2	2	2	1	8	31		46
アメリカ	5		5	4	3	1		18
その他	3	3	9	2	10	9	8	44
無回答							4	4

問3×問5 国籍と今後の滞在予定

	1～5ヶ月	6～12ヶ月	1～3年	3年～5年	5年以上	住み続ける	考えていない	無回答	合計
全体	18	15	78	21	28	151	69	19	399
中国	15	9	50	7	2	49	18	5	155
ブラジル		1	11	7	8	12	30		69
フィリピン			4		6	37	13	3	63
韓国・朝鮮		2	1		2	38	3		46
アメリカ		2	4	3	6	2	1		18
その他	3	1	8	4	4	13	4	7	44
無回答								4	4

問3×問6A 国籍と日本語を聞く能力

	テレビのニュース、ドラマを聞きとれる。	相手の言うことが大体聞きとれる。	相手がゆっくり話せば聞きとれる。	単語だけ聞きとれる。	ほとんど聞きとれない。	無回答	合計
全体	134	91	108	47	11	8	399
中国	42	35	51	17	8	2	155
ブラジル	19	12	18	19	1		69
フィリピン	16	21	23	1		2	63
韓国・朝鮮	36	4	3			3	46
アメリカ	6	6	2	4			18
その他	15	11	10	6	2	0	44
無回答		2	1			1	4

問3×問6B 国籍と日本語を話す能力

	自分の意見を問題なく話せる。	自分の言いたいことが大体話せる。	簡単な日常会話ができる。	決まったあいさつ、単語なら言うことができる。	ほとんど話せない。	無回答	合計
全体	94	133	116	44	4	8	399
中国	29	56	51	17	1	1	155
ブラジル	11	22	18	16	2		69
フィリピン	13	21	25	2		2	63
韓国・朝鮮	32	8	3			3	46
アメリカ	2	7	6	3			18
その他	7	18	12	6	0	1	44
無回答		1	1		1	1	4

問3×問6C 国籍と日本語を読む能力

	新聞や雑誌が読める	漢字まじりの文章が大体読める	簡単な漢字まじりの言葉が読める	ひらがな又はカタカナなら読める	ほとんど読めない	無回答	合計
全体	92	51	117	108	19	12	399
中国	40	29	55	24	4	3	155
ブラジル	6	2	29	24	8		69
フィリピン	2	4	14	41		2	63
韓国・朝鮮	33	2	4	3		4	46
アメリカ	3	5	5	3	2		18
その他	7	9	9	13	4	2	44
無回答	1		1		1	1	4

問3×問7 国籍と日本語学習

	学んでいる	学んでいない	無回答	合計
全体	210	183	6	399
中国	103	50	2	155
ブラジル	22	47		69
フィリピン	39	22	2	63
韓国・朝鮮	12	32	2	46
アメリカ	12	6		18
その他	21	23		44
無回答	1	3		4

問3×問8B 国籍と学習方法

	独学で	無料の日本語教室で	有料の日本語教室で	家族から教わっている。	職場で教わっている。	その他	無回答	合計
全体	159	31	14	43	73	22	5	347
中国	83	9	3	11	56	5		167
ブラジル	16	6	3	3	1	5		34
フィリピン	30	6	3	24	10	2	1	76
韓国・朝鮮	5	1	1	1		2	4	14
アメリカ	12	4			3	5		24
その他	12	5	4	4	3	3	0	31
無回答	1							1

問3×問9 国籍と学んでいない理由

	学ぶ必要がない (生活でつかう日本語はできる)	学ぶ時間がない	学びたいが日本語教室がどこでいつあるか分からない	学びたいが日本語教室に通うことができない	その他	無回答	合計
全体	72	59	22	11	13	8	185
中国	17	15	8	2	5	3	50
ブラジル	8	27	5	2	4	2	48
フィリピン	10	2	5	3		2	22
韓国・朝鮮	27	2	1	2	1		33
アメリカ	2	3	1				6
その他	7	10	1	2	2	1	23
無回答	1		1		1		3

問3×問11 国籍と日本語教室に望むこと

	全体	中国	ブラジル	フィリピン	韓国・朝鮮	アメリカ	その他	無回答
言葉だけでなく日本の文化や習慣を教えてくれる	168	64	41	18	12	10	21	2
仕事に役立つ日本語を教えてくれる	130	58	23	18	4	9	18	
土曜日、日曜日、祝日に開いてくれる	56	26	4	10	5	5	6	
夜に開いてくれる	41	15	4	2	2	9	9	
昼間に開いてくれる	17	3	3		3	2	5	1
親子向けの教室を開いてくれる	16	7	1	4	1		3	
子供向けの教室を開いてくれる	3	2		1			0	
日本語試験に合格するために指導してくれる	51	24	5	3	3	9	7	
その他	22	8	5	3	1	3	2	
無回答	146	50	20	31	30	2	11	2
合計	650	257	106	90	61	49	82	5

問4×問12 滞在期間と困りごとの相談先

	1～5ヶ月	6～12ヶ月	1年～3年	3年～5年	5年～10年	10年以上	無回答
日本人の友人・知人	7	7	25	26	35	56	7
日本人以外の友人・知人	11	9	29	11	22	28	3
家族、親戚	13	16	51	19	50	74	7
職場の人	14	12	46	17	20	39	6
民族団体		1	2	2	1	7	
公の機関（役所の窓口、ハローワーク／職業紹介所、領事館など）		2	5	8	6	16	1
（財）しまね国際センター			2	1	2	1	1
ボランティア団体	1		1	2	1	2	1
相談する人がいない（相談先がわからない）			6	3	3	4	1
その他	3	2	6	4	2	5	
無回答			1	2		3	1

問4×問13 滞在期間と困りごと

	1～5ヶ月	6～12ヶ月	1年～3年	3年～5年	5年～10年	10年以上	無回答
病気になったときどうすればよいか。	11	3	18	4	15	19	1
日常生活や職場で、まわりの人とのつきあいがわからない、またはうまくいかない。	8	6	28	8	11	11	3
趣味や娯楽・交流の場所、機会がない。	11	10	32	10	15	24	7
案内・表示・交通手段がわからないので外出しにくい。	4		10	2	4	5	
出産、育児、教育など子どもに関して			8	10	13	15	1
希望する住宅に入れないなど住まいに関して	2	1	1	3	6	6	1
仕事について	4	1	10	6	7	13	2
日本の習慣になじめない。	1	1	8	3	2	2	
ごみの出し方が分からない。	1		3	1	4	2	
その他		3	6	4	8	12	1
無回答	4	11	21	12	21	48	7

問4×問14 滞在期間と病気になって困ったこと

	どこの病院へ行けばよいか わからなかった	病院でうまく症状を説明でき なかった	医師、看護師、薬剤師の 説明がわからなかった	病院で治療費が高かった	病気になったが特に困った ことはなかった	病気になったことがない	その他	無回答
1～5ヶ月	2	9	3	2	1	13		2
6～12ヶ月		6	3	1	13	9		2
1年～3年	8	23	17	15	38	23	3	3
3年～5年	2	12	9	8	11	6	7	6
5年～10年	5	18	10	7	30	7	10	9
10年以上	8	17	11	18	42	6	9	32
無回答	4	2	3	2	6		1	3

問3と問16 国籍と子どもの有無

	いる	いない	無回答	合計
全体	147	240	12	399
中国	56	94	5	155
ブラジル	19	49	1	69
フィリピン	37	25	1	63
韓国・朝鮮	16	27	3	46
アメリカ	2	16		18
その他	17	26	1	44
無回答		3	1	4

問3×問18 国籍と子どもについての困りごと

	全体	中国	ブラジル	フィリピン	韓国・朝鮮	アメリカ	その他	無回答
日本語が十分にできず、授業についていけない	5	4	1					
子どもがいじめられる	4	2	1	1				
子どもの友人ができない	4	3	1					
先生や保育士（保母・保父）と意思が通じない	7	3	1	3				
子どもの身体・発育について不安がある	19	14		5				
子どものこれからの進学について不安がある	23	6	4	12	1			
教育費、保育料が高い	20	5	7	7	1			
母国語、母国の文化が身に付かない	19	12	3	2	2			
子どもを預ける場所がない	6	3	2	1				
育児、教育に関して相談するところがわからない	7	2	2	2	1			
特になし	39	18	4	10	5	2		
その他	9	5	1		3			
無回答	21	9		7	5			
合計	183	86	27	50	18	2		

問3と問19 国籍と日本人とのつきあいの程度

	お互いに家に招いたり訪問したりする	あいさつのほかに時々話もする	あいさつをする程度	特につきあいはない	無回答	合計
全体	61	146	150	31	11	399
中国	19	67	58	10	1	155
ブラジル	3	18	41	6	1	69
フィリピン	12	20	27	2	2	63
韓国・朝鮮	19	12	6	4	5	46
アメリカ	4	6	2	6		18
その他	4	22	14	3	1	44
無回答		1	2		1	4

問3×問20 国籍と日本人との交流希望

	近所の人ともっと親しくしたい	日本の習慣等をもっと教えてほしい	地域の行事に参加したい	お互いに文化を紹介しあいたい	ボランティア活動などに参加したい	付き合いたいとは思わない	その他	無回答	合計
全体	167	146	119	116	78	26	21	58	731
中国	62	72	49	52	34	10	8	16	303
ブラジル	31	30	21	28	13	6	1	8	138
フィリピン	25	13	17	15	6	4	3	10	93
韓国・朝鮮	17	6	6	4	8	2	5	18	66
アメリカ	13	9	10	8	9	1	1		51
その他	17	14	15	9	7	3	3	5	73
無回答	2	2	1		1			1	7

問3×問2 1 国籍と差別・人権侵害の経験

	ある	ない	無回答	合計
全体	123	248	28	399
中国	35	108	12	155
ブラジル	29	38	2	69
フィリピン	16	38	9	63
韓国・朝鮮	24	19	3	46
アメリカ	4	14		18
その他	11	31	2	44
無回答	4			4

問3×問2 2 国籍と必要な情報

	全体	中国	ブラジル	フィリピン	韓国・朝鮮	アメリカ	その他	無回答
医療、病院、福祉	99	20	27	27	7	8	9	1
ゴミ出しなど生活のルール、生活習慣	41	12	14	7	1	2	5	
行政サービス、手続き	60	13	10	17	9	2	8	1
地域のイベント、観光	83	26	22	10	4	11	10	
交通機関、手段	52	14	13	16		5	4	
ボランティア団体の紹介	40	9	6	8	2	7	8	
教育、育児、学校	50	13	5	16	6	4	6	
住宅	26	8	8	6	2		2	
防災、災害に備えるための情報	88	22	25	24	3	5	8	1
就職や仕事	89	32	14	23	6	1	12	1
買い物や商店	47	27	5	8	1	1	5	
日本語教室	82	22	23	14	5	6	11	1
その他	20	5	5		4		6	
無回答	79	39	9	7	18	1	5	
合計	856	262	186	183	68	53	99	5

問3×問2 3A 国籍と情報の入手方法の希望

	全体	中国	ブラジル	フィリピン	韓国・朝鮮	アメリカ	その他	無回答
県や市町村の情報誌	152	46	27	29	20	9	17	4
ポスター、リーフレット、ちらし	101	36	22	18	7	3	13	2
県や市町村のホームページ	79	19	21	7	14	5	13	
ボランティア団体を通して	37	18	5	7	1	1	4	1
テレビ	98	47	12	18	9	2	10	
ラジオ	14	9		2	1		2	
新聞、雑誌	69	32	7	7	12	2	9	
メールマガジン	37	10	7	3	1	11	5	
Facebook、mixi、twitterなど	51	5	7	17	1	9	12	
その他	20	4	5	3	2	1	5	
無回答	81	38	11	11	16		5	
合計	739	264	124	122	84	43	95	7

問3×問26 国籍と希望する行政サービス

	在住外国人のための日本語教室の開催	在住外国人のための日本文化、生活習慣等の講座の開催	日本人との交流イベント	他の外国人との交流イベント	在住外国人のための相談事業	母語での翻訳・通訳サポート	その他	無回答	合計
全体	130	143	131	92	120	107	16	87	826
中国	40	48	54	27	43	35	2	33	282
ブラジル	31	32	28	20	28	20	2	8	169
フィリピン	18	23	12	14	21	28	1	15	132
韓国・朝鮮	11	11	10	9	12	2	4	20	79
アメリカ	10	10	10	4	3	6	2	1	46
その他	19	17	17	17	12	15	5	9	111
無回答	1	2		1	1	1		1	7

問3×問27 国籍と災害の経験

	地震	津波	台風、洪水など	大きな火事	特にない	無回答	合計
全体	179	5	100	9	171	15	479
中国	62	2	37	2	75	5	183
ブラジル	50		18	1	15	2	86
フィリピン	23	1	16	2	30	2	74
韓国・朝鮮	17		12	2	21	3	55
アメリカ	5		5		11		21
その他	22	2	11	2	17	2	56
無回答			1		2	1	4

問3×問30 国籍と災害への備えをしていない理由

	災害について知らない	災害に備える方法がわからない	災害への不安を感じていない	その他	無回答	合計
全体	28	123	82	23	37	293
中国	14	34	43	4	9	104
ブラジル	2	33	8	3	6	52
フィリピン	5	30	7	3	12	57
韓国・朝鮮	2	8	12	6	8	36
アメリカ		6	4	1		11
その他	5	10	8	5	2	30
無回答		2		1		3

問3×問31 国籍と多言語メルマガ

	登録している	知っているが登録はしていない	知らなかったが登録してみたい	知らないし登録するつもりもない	無回答	合計
全体	11	63	183	84	58	399
中国	3	27	62	36	27	155
ブラジル	3	9	45	8	4	69
フィリピン	1	11	32	4	15	63
韓国・朝鮮		6	9	23	8	46
アメリカ	3	3	11	1		18
その他	1	6	22	12	3	44
無回答		1	2		1	4

資料Ⅲ 自由意見 (抜粋)

<アンケートについて>

・このアンケートは素晴らしいアイデアだと思う。滞在している外国人は時々特別な支援が必要なので、これを送ってくれてありがとうございます。たまにつらい時もあるけれども、私たちは島根県での生活が大好きです。(アメリカ・30代・女性)

・特別永住権を持つ日本で生まれ育った人にはこの調査はそぐわないのではないのでしょうか。そのへんの理解から努めてほしいと思います。(では、そういう人はどういった調査を望んでいるのか)(韓国・朝鮮・50代・男性)

<日本語>

・もっとはやく、もっと効率的に日本語を勉強するために、週末に日本語の教師に教えてもらう機会が欲しい。(バングラデシュ・30代・男性)

・いい仕事を見つけるのに困っている。工事現場でガードマンをやっているのだが、いい仕事ではない。きつくて給料は低い。仕事を変えたいけれども、日本人みたいに流暢に日本語がしゃべれないので、簡単に見つからない。ハローワークに行っても何もできないという。日本語がうまくできるまで仕事が見つからないままだろうか。誰でも仕事は必要だから、ある国に引っ越して、その国の言葉を一生懸命学ぼうとしない人はいない。外国人は頑張っているけど、島根県みたいところで、流暢な日本語がしゃべれないと仕事が見つからないかもしれない。できれば、助けてほしい。お金を払わなくてもいいところで、日本語を勉強したい。ありがとうございます。(インド・20代・男性)

・自分の意見は、出雲市で毎週末、1回1、2時間でもいいから日本語教室を開いてほしいです。日本語を勉強したいので、あったら参加する。この依頼を叶えてくれることを希望しています。お願いします。神の祝福がありますように。(フィリピン・40代・女性)

・日本語を勉強するために、個人授業の情報がほしい。(ケニア・30代・女性)

・日本語を勉強したい。もっと日本人と交流したい、コミュニケーションを取りたいと思います。外国の留学生向けの日本語教室があれば助かります。日本人と交流できるイベントに参加したいと思います。(中国・20代・女性)

・日本語教室をぜひ各市町村で開催して欲しいです。(ベトナム・30代・女性)

・今までのところ、夫に愛されて、いい家族も持って幸せだ。今は、赤ちゃんの世話で手いっぱい。仕事はしてない。専業主婦で、赤ちゃんのお母さんをやっている。いつ

か日本を旅したい。

問題がある人を手伝いたいが、今はできない。漢字さえ読めないくらいの日本語しかできないからだ。ほとんど一人だけで勉強しているが、たまに義母や夫に教えてもらっている。もっと勉強するのを助けてもらえたらと思う。日本にいる間、どうか誰かの役に立ちたい。それが出来たら、私の人生には意味があると思う。

それでは、ありがとう！政府も頑張ってください！神の祝福がありますように！（フィリピン・20代・女性）

・日本語や生活習慣の勉強をしたいです。

日本での経験を増やして、情報を得る。そうすれば、日本の生活習慣や文化の違いなどをほかの人達に教えることができます。（ブラジル・20代・女性）

<生活>

・特定の場所に必ず大切な情報の英訳があったほうが良いと思う。（例えば、駅、郵便局、病院、ショッピングセンターなど）ありがとうございます。（バングラデシュ・30代・女性）

・このアンケートで政府が私たち外国人の力になろうとしていると、少なくとも、島根県にいる外国人を気にしていると感じられた。

しかし、外国人は大体日本語が分からないので、日本人が外国人にあまり声をかけない、交流もあまりないのだ。特に田舎のほうで。

でも、私は来日して、数か月しか経っていないので、これから良くなるのでしょう。（アメリカ・20代・女性）

・島根県で遊べるところが少なく、インターンや研修生（または外国人）が勉強していること以外に周りのイベントや事業に参加ができたら嬉しい。ほとんど勉強に集中しているので、そういう機会があれば、帰属感も感じるし、リラックスもできると思う。（フィリピン・30代・女性）

・英語で大切な情報があれば、もっと便利になる。例えば、路線、時刻表、銀行での取引や銀行口座の情報、出入国管理に関する質問など。（インドネシア・20代・女性）

・例えば、電車、飛行機、バスなどに乗る間、非常事態に備えて、日本語以外の言語（たとえば英語）で情報があれば良いと思う。

電車に乗っていて、地滑りが起こったことがある。みんな何が起こったのかや非常時の手順を知っていたが、私は全然分からなかった。さらに誰も教えてくれなかったので心配だった。（フィリピン・70代・女性）

・益田市のバスには番号がなく、漢字で目的地だけを表示しているから、漢字が分から

ない、益田市に滞在している外国人には乗りたいバスに乗ることがほとんど不可能だ。だから、あまりバスに乗らない。(アメリカ・20代・女性)

・辺鄙なところですから、日本語教室があまりなくて、日本人との交流も少ない。私は島根県の益田市に住んでいます。かなり辺鄙なところだと思います。家での子育てと仕事以外にほとんど他の人とのコミュニケーションがありません。友達も少なく、話し相手がいません。寂しいと感じます。たぶん、国の文化が違うので、人と人の交流する仕方も違うかもしれません。この問題について私自身から変えられないと思いますので、少しずつ慣れるように頑張らなければいけません。(中国・30代・女性)

・私はここ島根に住み始めたばかりですが、病気になってしまったことがあります。お願いしたいのは、病院やクリニックの名前、電話番号、住所と営業時間がローマ字で書いてある冊子や本をもらうか作ってもらうことです。外国人向け(あるいはフィリピン人向け)の通訳サービスのある病院やクリニックではどこでもこういう案内をしてもらいたいです。というのは、私たちはときどき先生の説明さえも理解できないからです。親切に意見を聞いてもらってありがとうございました。(フィリピン・30代・女性)

・浜田の中国人で時間のあるとき、集まって一緒に話したり遊んだり、日本でのストレスを解消して明日からの生活を頑張っていけたらと思います。

今の日本の生活は面白くありません。遊び場所と話す場所がありません。

日本人の文化はまだ分からないことがいっぱいです。生活と仕事の困りごとが多くて本当に誰か助けてくれれば嬉しいです。(中国・30代・女性)

・島根県に住んでいる若者として難しいことは、私たち若い外国人は若い日本人と出会うイベントや場所があまりなくて、友達を簡単に作れないことだ。市町村が若い人が集まるライブや美術展を企画してくれたら嬉しい。

ごみ処理でも困っている。分別の説明が英語で書いてあったら、助かる。わざわざ市役所に行くより、登録している外国人の自宅に郵便で送ってくれた方が便利でしょう。

最後に日本の家に住むことについての講習や情報誌が英語であれば大変助かる。特に家の掃除について。どうやって畳や障子を掃除するのか外国人は分からないからだ。それから洗濯や入浴の習慣も母国と違うから、情報があれば助かると思う。掃除に関する単語リストとか、お勧めの商品のリストがあれば、すごく便利だと思う。英語で夏に涼しく過ごす方法や冬に暖かく過ごす方法の情報があれば、嬉しい。(アメリカ・20代・女性)

<差別>

・日本に12年住んでいるが、外国人向けの文化講座より、日本人向けの国際理解講座の方が重要であり、将来の日本のためになると思います。

そもそも、日本人は差別についての認識が薄く「指を指したり」、「人の顔を見て笑っ

たり」、「ジロジロ見たりする」ことが差別であると理解すべきです。

この問題が解決しない限り、日本が諸外国から本質的に理解されることもなく、伝統文化も衰退するでしょう。(イギリス・30代・女性)

・現在、求職中ですが、なかなか仕事が見つからず、とても困っている。潜在的な差別があるのではないかと、どうしても疑ってしまう。少し、厳しい表現で申し訳ないですが、そもそもこのアンケートや、外国人支援事業に対して、どれだけ本気で取り組んでいるのか、疑いたくなる。(韓国・朝鮮・30代・男性)

・こどものためにお金が必要になっても銀行が相談にのってくれない。銀行は差別している。ローンを組んだりしたいけどぜんぜん相手してくれない。10年住んでいるのに少しは相手してほしい。(フィリピン・30代・女性)

<行政からの情報やサービス>

・アンケートに書いたが、子供の教育、学校の生活で困っている。唯一の問題は給食の制度だ。メニューが1つしかないから、食べられないものが入っていたら、自宅から他の物を持っていくことになっている。私はこのことで困っている。

肉やアルコールが入っているものがメニューに出たら、食べられない子どものために別のメニューを用意するよう、お願いしたい。

教育委員会と相談したかったが、こういう解決は無理だという。

とにかく、何かができるのだったら、連絡をお願いします。(電話番号、メールアドレス) ありがとうございます。(ヨルダン・30代・男性)

・人権、差別問題、日本の労働基準関係法令、パワー・ハラスメントに関する法律相談所、弁護士相談、無料法律相談など。例えば、自分がなにもしてないのに、訴えられた時。誰かに不当な仕打ちを受けた時どうしたらいいですか？誰に相談したらいいですか？手伝ってくれたら、ありがたいと思います。

問30については、災害訓練を受けられる場所がわからないため、訓練に参加していません。職場では、災害訓練は日本人だけのためです。(ブラジル・20代・男性)

・私は日本に来てそろそろ4年になります。

今まで一番気になることは、どうして日本の国民が国から色々な税金を取られるかということです。自分の家に住んでいるのに家の税金を払わないといけないこと。

税金が高すぎて生活が苦しいです。(中国・30代・女性)

・私は日本人と結婚して15ヶ月になります。隠岐の島に住んでいます。

いろいろ分からないことが沢山あるので、インフォメーションが欲しいです。例えば、運転免許証、ビザ、パスポート、国籍、その他いろいろ知りたいことがあります。こういった情報をパンフレットにして欲しいです。(フィリピン・20代・女性)

・ブラジルの人は日本語の勉強に興味があります。日本語教室の情報提供が欲しいです。日本の運転免許証を取得したいです。運転免許センターでは多言語の説明情報が配置されていますが、ポルトガル語版は無いです。できるだけ、政府が早めに配置してくれたらありがたいと思います。(ブラジル・20代・女性)

・確定申告の時、インターネットで申請ができるということで市役所へ行きましたが「外国人はできない」と言われました。

これは差別ですね。どうして外国人はインターネット申請ができないのでしょうか、教えて欲しいです。

また、水道料金が高いです。

ほかにも銀行通帳の切り替えも外国人は機械ではできません。どうしてですか？教えてください。

年金も払い、永住ビザなのに行政からの説明が少ないです。説明、便りが欲しいです。(フランス・40代・男性)

・日本で生まれ育ったのでこのアンケートに実際には該当しないかと思えます。

でも国籍としては外国人なので不便なことがなくはありません。数年前から確定申告がインターネットからできメリットもあるのでやりたいと思いましたが、「住基登録カード」がないためできないとのことでした。税金は同じように払うのに、便利なシステムには初めから対象外というのはがっかりです。

永住者なのに日本を出た後、帰国時に再入国許可をとっておかないといけない点も、当然かとは思いますが不便です。何より手続きの印紙代が高いです。

街の中の案内やごみ袋にまでも外国語表示が増えている点は、私には不要ですが良いことだと思います。(韓国・朝鮮・30代・女性)

・ごみのカレンダーはポルトガル語か、せめて英語で書いて欲しい。またブラジル人向けの重要なお知らせは、ポルトガル語か、私たちが翻訳できる言葉で書いてほしい。(ブラジル・30代・男性)

<手続き>

・日本国籍を取得しようと書類を揃えています但し分かりやすいマニュアルを作ってもらえると助かります。

パスポートの切り替えに大阪まで行かなくてはなりません。郵送で切り替えができないのでしょうか。(フィリピン・40代・女性)

・翻訳をしてくれるサイト、連絡先、機関があるのかを知りたい。できれば早くしてくれる所。

日本語の基本的なことを知っているのと、何とかありますが、書類に関する理解が難しいです。どこで探せばいいのか、どのように利用できるか、意味も分かりません。

ありがとうございます！（ブラジル・40代・女性）

・長年、島根県に住んでいますが未だに家族を呼べる方法がとても難しいです。
私もこの地域で一生懸命頑張っているのになかなか帰ることができず、たまには自分の家族も呼びたいな、と思います。簡単な方法があればとても助かります。（フィリピン・40代・女性）

・在日韓国人なので公団で様々な手続きをしなくてはいけないのですが、広島へ行かなければならないので、せめて山陰で手続きできるようにしてもらいたいです。（韓国・朝鮮・30代・男性）

<その他意見・要望>

・正社員になりたいと思います。異国で日本人より尊敬され、差別されないようにになりたいと思います。中国人としても同様に他の人を尊敬するわけだと思います。（中国・40代・女性）

・私の周りのことがあまり分からない。住んでいる島に他の外国人が少ない。英語での情報誌が欲しい。日本語教室が近くになかったら、どうやって勉強すればいいでしょう？

それから、今や子供たちが大きくなって、学校をどうすればいいか分からない。都市の学校に通わせるにはとてもお金がかかる。（フィリピン・40代・女性）

・日本人の友達をもっとたくさん作りたいと思います。日本語の練習をしたい、日本語能力をアップしたいと思います。実現するためにどうすればいいでしょうか。日本の法律について勉強したいと思います。特に、仕事、契約に関する法律です。ありがとうございます。（中国・20代・男性）

・病院へ付き添ってくれる通訳の方がいるとよい。

住んでいる所の近くで、仕事が休みの時、無料講座に通いたい。

日本人と友達になりたいのですが、理解力が低く、コミュニケーションが難しい。

ここでの生活が好きで、すべてに関して感謝しています。（ブラジル・30代・女性）

・どんな会社でもまず社員の給料のことを考えなければいけないと思います。中国人は海外でお金を稼ぐのはとても辛いです。こんなに苦労したのにお金をもらえなければ、だんだん日本で働く中国人が少なくなる可能性が高いと思います。頑張って仕事しても会社からいろんな費用を控除されます。本当に手元に残るお金が少ないです。もっと日本で仕事している中国人の気持ちを理解していただきたいと思います。（中国・20代・女性）

・仕事の環境と条件がもっとよくなってほしいと思います。

行政についてもっとわかりやすく説明してほしいと思います。例えば：出入国の手続き、留学、旅行に関する内容などで手続きがとても複雑だと思います。困った事があつたらどこに問い合わせすればいいか分かりません。パスポートが期限になることや家族が日本に来るためのビザの申請などの手続きをどのように処理すればいいか分かりません。(中国・20代・女性)

・外国人を雇用する会社がほとんどない。(外国人忌避)

外国人を雇用する会社がないため、自営業をしようとしてもそれにあたって必要な資格証や店舗を借りるときの手続き、市、または県へ登録のやり方など、そういった詳細な情報を得ることが難しい。(韓国・朝鮮・30代・男性)

・日本に来て、会社を自分の家と考えて、周りの人たちを自分の家族と考えて、誰が中国人、誰が日本人か気にしないで、誠実にみんなと付き合えば、日本での生活はそんなに難しいことではないと思います。周りの人と一緒にいる時間を惜しんで、人と人の縁を大切にし、喧嘩がないように、互いに信頼し、尊重していきたいと思います。仕事する時に、周りの人に迷惑をかけないように。もし機会があれば、一年間半後にまた日本に戻って、今の会社で働きたいと思います。(中国・30代・女性)

・他の地域に比べ、韓国人に対する抵抗感がもっとあると思います。飲み会の時に韓国入同士で韓国語で話すと、横目でにらみながら働いている店の人がいてとても驚きました。島根にはなぜこのような雰囲気が作られたのでしょうか。(韓国・朝鮮・30代・女性)

・日本での生活が大好きです。環境もきれい、人もとても親切です。でも生活の中でいろいろ困っていることが多いです。解決できない。

日本語を教えてくれるところがない、近所の人とのコミュニケーションが難しいです。仕事がない。経済問題が解決できません。

病気になったときに、はっきり症状を説明できない。通訳できる人もいません。周りに友達がいません。気分がよくない時に話せる人がいません。遊べるところがありません。心理と精神のストレスが大きいです。話したいことがいっぱいあるけど、話せない。いろいろ援助を頂きたいと思います。生活、仕事をもっと楽しくして行きたいと思います。(中国・30代・女性)

・日本人はとってもやさしい人です。でも、日本人は英語を喋れなくて、よく恥ずかしがる。だから日本で少しさびしい。それで、いつも日本語を勉強している。でも、田舎で日本語教室がない。日本人の友達に習わなければ、もっと大変です。大学生の時に日本語を勉強しなければ、もっともっと大変です。(アメリカ・20代・女性)

あなたの生活についてのアンケート調査

2011年9月

島根県

●このアンケート調査は、次の人が対象です。

・島根県で外国人登録している人 ・20歳以上の人

●目的は、皆さまの意見を聞いて、県や市町村の外国人支援事業に生かすことです。

●答えは統計として処理します。プライバシーを守り、調査の目的以外には使いません。

あなたや家族に迷惑がかかることはありません。ぜひご協力ください。

【記入のしかた】

- 1 アンケートを受け取った本人が答えてください。名前を書く必要はありません。
- 2 アンケートは、日本語と外国語の2種類が入っています。わかりやすい方で答えてください。
- 3 答えるときは、あてはまる番号に○をつけてください。「その他」のときは、() に書いてください。
- 4 最後の「自由意見」欄は、あなたが書きやすい言葉で書いてください。
- 5 答えられない質問や答えたくない質問には、無理に答えなくてもいいです。
- 6 アンケートは、同封の返信用封筒を使って、10月28日（金）までに、ポストに入れてください。（切手はいりません。）

【問い合わせ先】しまね国際センター（担当：曳野・小寺）

Tel: 0852-31-5056 Fax: 0852-31-5055

この調査は島根県内の全ての市町村と共同で行っています。

しまねけんざいじゆうがいこくじんじったいちようさ
島根県在住外国人実態調査

じぶん
ご自分のことについて

問い1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男 2. 女

問い2 あなたの年齢は次のどれですか。

1. 20～29 2. 30～39 3. 40～49 4. 50～59 5. 60～69 6. 70～

問い3 あなたの国籍は次のどれですか。(外国人登録証に書いてある国籍を教えてください)

1. 中国 2. ブラジル 3. フィリピン
4. 韓国・朝鮮 5. アメリカ 6. インドネシア
7. バングラデシュ 8. タイ 9. ベトナム
10. カナダ 11. ロシア連邦 12. イギリス
13. マレーシア
14. 上記以外の国籍 () .. 差し支えなければお書きください。
(島根県の外国人登録者数の多い順に並べてあります。)

問い4 あなたはどのくらい日本(島根)で生活していますか。

(これまでの全部の期間を合わせた期間を教えてください。)

1. 1～5カ月 2. 6～12カ月 3. 1年～3年
4. 3年～5年 5. 5年～10年 6. 10年以上

問い5 あなたはこれから、日本(島根)にどのくらい生活する予定ですか？

1. 1～5カ月 2. 6～12カ月 3. 1年～3年
4. 3年～5年 5. 5年以上 6. 住み続ける
7. 考えていない

ことば
言葉について

問6 あなたは日本語がどのくらいできますか。(A, B, C それぞれにあてはまる番号を1つだけ○)

A 聞く

1. テレビのニュース、ドラマを聞きとれる。
2. 相手の言うことが大体聞きとれる。
3. 相手がゆっくり話せば聞きとれる。
4. 単語だけ聞きとれる。
5. ほとんど聞きとれない。

B 話す

1. 自分の意見を問題なく話せる。
2. 自分の言いたいことが大体話せる。
3. 簡単な日常会話ができる。
4. 決まったあいさつ、単語なら言うことができる。
5. ほとんど話せない。

C 読む

1. 新聞や雑誌が読める。
2. 漢字まじりの文章が大体読める。
3. 簡単な漢字まじりの言葉が読める。
4. ひらがな又はカタカナなら読める。
5. ほとんど読めない。

問7 あなたは今日本語を学んでいますか。

1. 学んでいる
2. 学んでいない (問9へ進んでください。)

問8 問7で 1. 学んでいる とお答えの方にお聞きします。

A あなたは何のために日本語を学んでいますか。(いくつでも○)

1. 生活に必要な情報を得るため
2. 仕事をするのに必要だから(良い仕事に就くため)
3. 日本人の友人とのコミュニケーションのため
4. 職場の人とのコミュニケーションのため
5. 家族や親せきとのコミュニケーションのため

B どのような方法で学んでいますか。(いくつでも○)

1. 独学で
2. 無料の日本語教室で
3. 有料の日本語教室で
4. 家族から教わっている。
5. 職場で教わっている。
6. その他(具体的に;)

C どのような教材を使っていますか。(いくつでも○)

1. 日本語で書かれた日本語の教科書
2. 日本語以外で書かれた日本語の教科書
3. CD、DVD など
4. インターネットなど
5. その他(具体的に;)

問9 問7で 2. 学んでいない とお答えの方にお聞きします。

今日本語を学んでいないのはなぜですか。(○は1つだけ)

1. 学ぶ必要がない(生活でつかう日本語はできる)
2. 学ぶ時間がない
3. 学びたいが日本語教室がどこでいつあるか分からない
4. 学びたいが日本語教室に通うことができない
5. その他(具体的に;)

問10 問9で 2. 4. とお答えの方にお聞きします。

日本語を学ぶ時間がない、または日本語教室に通うことができないのはなぜですか。
(○は1つだけ)

1. 仕事や家事で時間がない
2. 日本語教室が近くにない
3. 日本語教室の時間が合わない
4. その他 (具体的に ;)

問11 あなたが今後日本語教室に望むことは何ですか？ (いくつでも○)

1. 言葉だけでなく日本の文化や習慣を教えてくれる
2. 仕事に役立つ日本語を教えてくれる
3. 土曜日、日曜日、祝日に開いてくれる
4. 夜に開いてくれる
5. 昼間に開いてくれる
6. 親子向けの教室を開いてくれる
7. 子供向けの教室を開いてくれる
8. 日本語試験に合格するために指導をしてくれる
9. その他 (具体的に ;)

日常生活について

問12 あなたは日常生活や仕事で困ったときは誰に相談しますか。(いくつでも○)

1. 日本人の友人・知人
2. 日本人以外の友人・知人
3. 家族、親戚
4. 職場の人
5. 民族団体
6. 公の機関 (役所の窓口、ハローワーク / 職業紹介所、領事館など)
7. (財)しまね国際センター
8. ボランティア団体
9. 相談する人がいない (相談先がわからない)
10. その他 (具体的に ;)

問13 現在の生活や仕事で特に困っていること、相談したいことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 病気になったときどうすればよいか。
2. 日常生活や職場で、まわりの人とのつきあい方がわからない、またはうまくいかない。
3. 趣味や娯楽・交流の場所、機会がない。
4. 案内・表示・交通手段がわからないので外出しにくい。
5. 出産、育児、教育など子どもに関して
6. 希望する住宅に入れないなど住まいに関して
7. 仕事について(具体的に;)
8. 日本の習慣になじめない。
9. ごみの出し方がわからない。
10. その他(具体的に;)

問14 病気になったとき、困ったことがありますか。それはどんなことですか。(いくつかも〇)

1. どの病院へ行けばよいかわからなかった。
2. 病院でうまく症状を説明できなかった。
3. 医師、看護師、薬剤師の説明がわからなかった。
4. 病院で治療費が高かった。
5. 病気になったが特に困ったことはなかった。
6. 病気になったことがない。
7. その他(具体的に;)

問15 健康保険に入っていますか。

1. 国民健康保険に入っている
2. 職場の保険に入っている
3. 旅行保険に入っている
4. その他()
5. 入っていない
6. わからない

問16 あなたには今、日本に18歳までのお子さんがいますか。

1. いる
2. いない(問19へ進んでください。)

問17 問16で 1. いる とお答えの方にお聞きます。お子さんの状況を聞かせてください。()の中にそれぞれ人数を記入してください。

1. 家庭で () 人
2. 保育所 () 人
3. 幼稚園 () 人
4. 小学校 () 人
5. 中学校 () 人
6. 高校 () 人
7. その他 () () 人

問18 お子さんについて困っていることがありますか。それはどういうことですか。(いくつかでも○)

1. 日本語が十分にできず、授業についていけない。
2. 子どもがいじめられる。
3. 子どもの友人ができない。
4. 先生や保育士(保母・保父)と意思が通じない。
5. 子どもの身体・発育について不安である。
6. 子どものこれからの進学について不安である。
(具体的に ;)
7. 教育費、保育料が高い。
8. 母国語、母国の文化が身に付かない。
9. 子どもを預けるところがない。
10. 育児、教育に関して相談するところがわからない。
11. 特にない。
12. その他(具体的に ;)

問19 あなたは、あなたのまわりに住んでいる日本人とどのくらい付き合いがありますか。(○は1つだけ)

1. お互いに家に招いたり訪問したりする。
2. あいさつのほかに時々話もする。
3. あいさつをする程度。
4. 特につきあいはない。

問20 あなたのまわりに住んでいる日本人とどのような付き合いをしたいですか。
(いくつでも○)

1. 近所の人ともっと親しくしたい。
2. 日本の習慣等をもっと教えてほしい。
3. 地域の行事に参加したい。
4. お互いに文化を紹介しあいたい。
5. ボランティア活動などに参加したい。
6. 付き合いたいとは思わない。
7. その他(具体的に;)

問21 日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。
(○は1つ)

1. ある
2. ない (問22へ進んで下さい。)

A どのようなことで差別や人権侵害を受けたと感じましたか。(○はいくつでも)

1. 福祉、年金、税金などの行政制度のしくみ自体
2. 公務員等の対応や言葉
3. 職場での待遇や上司や同僚などの言葉や態度
4. 民間企業等での対応や言葉
5. 地域社会での役割分担や、近所の人などの態度や言葉
6. 家庭内での家事、子育てなどの役割分担や、家族の態度や言葉
7. 友人、親戚などの態度や言葉
8. テレビや新聞の報道のあり方による侵害
9. 社会や地域に残るしきたりや慣習
10. インターネットへの書き込みなどによる侵害
11. その他(具体的に;)

B そのとき、あなたはどうしましたか。(〇はいくつでも)

1. 相手に抗議した。
2. 家族や親戚に相談した。
3. 職場の人や友人に相談した。
4. 地域の人に相談した。
5. 法務局や人権擁護委員に相談した。
6. 県や市町村の相談窓口や行政担当者に相談した。
7. 弁護士に相談した。
8. 警察に相談・通報した。
9. 民間団体などに相談した。
10. だまっがまんした。
11. その他(具体的に;)

行政からの情報やサービスについて

問22 あなたは今どのような情報が特に必要ですか。(いくつでも〇)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 医療、病院、福祉 | 2. ゴミ出しなど生活のルール、生活習慣 |
| 3. 行政サービス、手続き | 4. 地域のイベント、観光 |
| 5. 交通機関、手段 | 6. ボランティア団体の紹介 |
| 7. 教育、育児、学校 | 8. 住宅 |
| 9. 防災、災害に備えるための情報 | 10. 就職や仕事 |
| 11. 買い物や商店 | 12. 日本語教室 |
| 13. その他(具体的に;) | |

問23 問22で答えた情報に関しておたずねします。

A どのような方法で情報を得たいですか。(〇は3つまで)

1. 県や市町村の広報紙
2. ポスター、リーフレット、ちらし
3. 県や市町村のホームページ
4. ボランティア団体を通して
5. テレビ
6. ラジオ
7. 新聞、雑誌
8. メールマガジン
9. Facebook、mixi、twitter など
10. その他(具体的に;)

B どのような場所なら情報を得やすいでしょうか。(いくつでも○)

1. 県や市町村の窓口
2. 入国管理局
3. 公の施設 (図書館、公民館など)
4. 職場
5. 日本語教室
6. (財)しまね国際センター
7. その他 (具体的に;)

問24 あなたは普段情報を得るためにインターネットを使いますか。

1. よく使う
2. ときどき使う
3. 使わない (問26へ進んでください。)

問25 問24で 1.よく使う または 2.ときどき使う とお答えの方にお聞きします。

おもにどうやってインターネットを使いますか。

1. パソコン
2. 携帯電話
3. その他 (具体的に;)

問26 あなたはこれからどのようなサービスを受けたいですか。(いくつでも○)

1. 在住外国人のための日本語教室の開催
2. 在住外国人のための日本文化、生活習慣等の講座の開催
3. 日本人との交流イベント
4. 他の外国人との交流イベント
5. 在住外国人のための相談事業
6. 母語での翻訳・通訳サポート
7. その他 (具体的に;)

ぼうさい
防災について

問27 あなたは災害を経験したことがありますか。(日本での経験も合わせていくつでも○)

1. 地震
2. 津波
3. 台風、洪水など
4. 大きな火事
5. 特にない

問28 あなたは災害への備えをしていますか。(○はひとつ)

1. している
2. していない (問30へ進んでください)

問29 あなたは災害への備えとしてどのようなことをしていますか。(いくつでも○)

1. 近所、職場、学校などで防災訓練に参加したことがある
2. 家の近くの指定避難場所を調べた・知っている
3. 家族、友達などとの連絡方法を決めている
4. 災害が起こった時の避難方法の手順などを考えている
5. 非常持ち出し品や水、食料などをいつも準備している
6. その他(具体的に;)

問31へ進んでください。

問30 あなたが災害への備えをしていないのはなぜですか。(いくつでも○)

1. 災害について知らない
2. 災害に備える方法がわからない
3. 災害への不安を感じていない
4. その他(具体的に;)

問31 あなたは、地震や津波などの情報を多言語(英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語)で携帯電話やパソコンのメールで受け取るサービスを知っていますか。(○はひとつ)

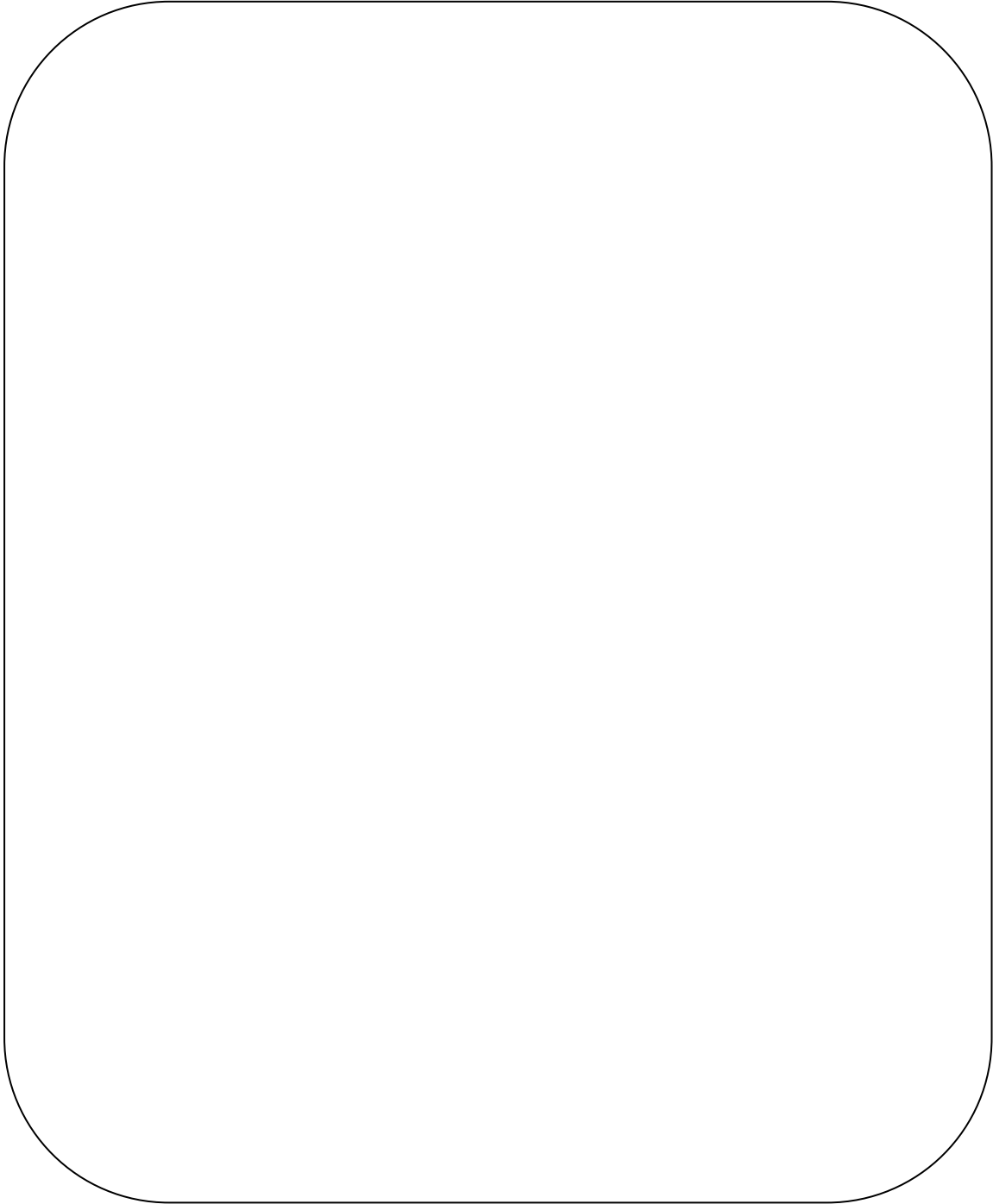
1. 登録している
2. 知っているが登録はしていない
3. 知らなかったが登録してみたい
4. 知らないし登録するつもりもない

(登録するにはこちらのウェブサイトを見てください。)

→ <http://www.sic-info.org/life/mobile/>)

じゆういけん
自由意見

問32 行政（県や市町村）にぜひ直してほしいこと、日常生活の中で困っていること、またそれ以外でも、ご意見などありましたらご自由にお書きください。



これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成 23 年度 島根県在住外国人実態調査報告書

平成 24 (2012) 年 3 月発行

島根県環境生活部文化国際課

〒690-8501 島根県松江市殿町 1

[TEL] 0852-22-6464(直通) [FAX] 0852-22-6412

[URL] <http://www.pref.shimane.lg.jp/bunkakokusai/>

[e-mail] kokusai@pref.shimane.lg.jp